

質疑応答

ジェファソンビル インディアナ州 アメリカ合衆国
1961年01月12日

ウィリアム・マリオン・ブラハム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその
僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就され
る。" 黙示録 10:7

はじめに

際立ったウィリアムブラナムのミニストリーは、マラキ4章4,5,6及びルカ書17:30と黙示録10:7と多くの聖書の預言に対する聖霊からの答えなのです。この世界規模のミニストリーはこの終わりの時に聖霊による神の御業の継続なのです。それは聖句の中にあり、イエスキリストの再臨のためにある人々を整えるために立ち上げるために必要とされていると書かれています。

あなたが祈り深くこのメッセージを読むとき、この印刷された御言葉があなたの心に刻まれるようにと祈ります。

メッセージの正しい転写、翻訳を提供できるように最善を尽くしておりますが、英語の録音がウィリアムブラナムによって語られた説教をもっともよく表しているものです。

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

質疑応答

1 …私が調べなければならないものも多いのですが、今日はコンコードダンス（聖書索引）を持って来ています。もし必要になったら、ここにいるレオか、近くに座っている誰かに渡して、少し手伝ってもらっても構いません。

それから、あそこにおられるご婦人ですが……その方のご主人はどなたですか？

ああ、そうですか。もし奥様がこちらに来てあなたと一緒に座りたいなら、どうぞそうなさってください。兄弟たちの間で話されることであっても、姉妹の前で言えないようなことは何もありませんからね。私たちはただ……ご存じのように、そういうものです。

よろしいですか？

もちろん、どうぞこちらへ来ていただいて結構ですよ。

外は暑いですか、ドクター？

まあ、それなら大丈夫ですね。ただ、あそこに一人でいると少し寂しいでしょうから。

ここで扱う内容には、特に隠すようなことは何もありません。

ただ、時々「男性」と言うことがあるのは、男性同士の間で出る質問の中には、女性がいる場では答えにくいものもあるからです。

しかし、ここにある質問はどれも、普通の教会の中で公に答えられるものばかりです。

というのも、ほとんどが牧師たちや働き人に関係すること、つまり彼らの使命や、何をすべきかといったことに関する内容だからです。

2 さて、これはテープ録音されていると思います。はっきりとは分かりませんが。

ゴード兄弟、それはどこですか？ 今、録音されていますか？

はい、分かりました。

私たちがこのようにする理由は、兄弟たちよ、何が原則なのか、どこが重要な点なのか、人の心に何かがあるのか、そして私たちがどう考えているのかを知るためです。

私たちは皆、同じことを語らなければなりません。

例えば、誰かが来てこう言うとして。

ある兄弟の教会に行くかもしれませんね。(兄弟、あなたのお名前は何でしたか? ウィラードですか。)

兄弟……ここにはウィラードが二人いますね。では、別の呼び方をしなければなりませんね。姓は何でしたか?

クレイス兄弟の教会に行くと、クレイス兄弟はあることを言います。

それからセラーズバーグからラデル兄弟のところへ行くと、ラデル兄弟はそれとは少し違うことを言います。

さらにジュニー兄弟のところへ行くと、また全く違うことになります。

そしてタバナクルへ来ると、また違うことになる。

分かりますか?

そうすると、人々は混乱してしまうのです。

3 例えば、誰かがこう言うかもしれません。

「聖霊を本当に受けなければならぬとは思わない。そんなに必要なものだとは思わない」と。

例えば、クレイス兄弟がそう言ったとして。

それからラデル兄弟のところへ行くと、「いや、それは絶対に必要なものです」と言う。

さらにジュニーのところへ行くと、「まあ、それほど大きな違いはないでしょう」と言うかもしれません。

分かりますか。

もし私たちが一致することができたなら……。

できれば、このジェファーソンビル(この地域にいる)すべての牧師たちが集まって、同じことを語れるようになればよいと思います。

4 そしてまた……多くの場合、執事や理事たちは、自分たちの務めが何であるかを知る必要があります。

今夜ここには、教会の会計係や管理をしている方も来ておられるようですから、その方々の務めについても確認することになるでしょう。

しかし、この中で扱うことの多くは、どこでも尋ねられるような質問であり、どこでも答えられるようなものです。

ごく単純な質問です。

例えば、理事の務めは何か、また……そういったことです。

もしそれが実際の務めに関することであれば、理事の務めや、彼らは何をするべきかということは、すでにこの理事会の中で決められていることだと思います。

しかし、もしかすると……(それでも)少し取り上げておいた方がよいかもしれないと思ったのです。

5 そして、その中の一つにそのような質問がありましたが、それはとても良い質問だと思います。

主が許してくださり、そこまで進めば、後ほどそれに答えたいと思います。

それはこういう質問です。

「ある危機的な状況が起こったとき、執事は何をするべきか。彼の務めは何か。」

つまり、ある危機が起きたとき、執事はどのように行動するべきなのか、ということです。

あるいは、理事は何をするべきか。

牧師は何をするべきか。

そういった類いの質問です。

私たちは普段の通常の流れについては分かっています。

しかし、もしその通常の流れとは違うことが起きたら、そのとき彼らはどうすればよいのでしょうか。

そういう時に、私たちはどこに立てばよいのかを知っておく必要があります。

それは、軍隊の訓練のようなものです。

それぞれが自分の持ち場を知っているのです。

このような集まりですから、ここに半夜でも留まって話すことはできるでしょう。

それは分かっています。

しかし、そこまでする必要はないと思います。

質問には答えていきます。

さて、ここにいる皆さん一人一人に……。

6 さて、ここには名前は書かれていません。

いくつかには名前が書かれていますが、名前は読み上げないことにします。

というのも……質問そのものを読むだけでよいからです。

名前が書かれているものは、ここに二つほどあるだけです。

ちよつと待ってください……あ、もう一つ見つけたかもしれません。

そうですね。インゲルマン先生です。

南棟の426号室におられるので、私はそこへ訪ねて行くことになっていました。

それは……今日私たちがいたジョージタウンの、あの年配のお医者さんが長い間意識を失っていたあと回復し、そして癒された時のことでした。

さて、これで全部そろっていると思います。

名前を間違えたわけではありません。彼はただ木材を粉々に解体しているだけです。主は美しい木を育て、それを切り倒して家を作ってくださいます。そんなの見たことないから 医者に電話しなげや。

テイラー兄弟、あなたはまだドアに忠実で、仲間に席を与えています。私はあなたのことをこのように考えています。“私は悪人たちと一緒に天幕に住むよりも、主の家の玄関マットになりたいです。” そうだね。確かに。

ヒッカーソン兄弟、あなたはちょうど邪魔を始めて、上がってきて、近づいてきました。あなたのことが欲しかったんです。… あなたは邪魔をして、近づいてきました。私はあなたの誠実さと、あなたが主イエスのために行っているすべてのことを確かに尊敬しています。神は常にあなたを祝福し、あなたを真の執事、兄弟—私はあなたがそうであると信じています、あなたの服従の家、そしてあなたがこれまでと同じようにすべてのもの。

202 フレッド兄弟、あなたはカナダから来て、私たちと一緒にあまり長くいません。私たちはあなたがもうカナダ人だとは思いません。私たちは、あなたが管財人として私たちと一緒にいる巡礼者であり、見知らぬ人であると感じています。あなたとウッド兄弟、そしてロバーソン兄弟とその残りのメンバーとともにあなたのオフィスにうまく奉仕しているあなた。イーガン兄弟、彼は今夜ここにいません。そしてロバーソン兄弟。ロバーソン兄弟、あなたは、この捜査の対象となったこの税務事件において、他の人々とともに私にとって本当に助けてくれました。

た。まあ、きっと... [“私の教会で。”] おお? [“火傷。”] そうだ バーンズ兄弟。そうだね。[コールドウェル兄弟が物語を語ります。] おお? はい。ああ、バーサ、そうだね。ああ、それは素晴らしいですね。

199 あそこにいるルーク兄弟。彼は今、牧師、あるいは伝道者になったと思います。そうか? それとも牧師をしているのですか? [ルーク兄弟は言います、“エバンジェリスト。”] エバンジェリスト。称賛したいわ ルーク兄弟。あなたが主のために行っている素晴らしい仕事について聞いたことがあります。あなたはインディアナポリスに行った、あるいはインディアナポリスに行く予定で、奉仕し、キリストに魂を勝ち取ったと聞きました。

神様があなたと共にありますように、ルーク兄弟。きっと会えて嬉しいよ。私はあなたがこの古いトラクターに乗って、ここを走り回り、庭に肥料を与えているのを見ました。さて、主のために何かをしようとしているところを見てください。神があなたを宣教に呼び出してくれて嬉しいです。兄弟よ、あなたの前に彼を抱きしめてください。神のご加護がありますように。何も妥協しないでください; しかし、あなたができる最も甘い精神でそれをしてください。あなたのメッセージは常に聖霊の甘さで味付けされるようにしてください。

200 そしてストリックカー兄弟。... [ストリックカー兄弟は言います、“私たちは皆さん全員の祈りを望んでいます。私たちは今、ノースバーノンで教会を始めようとしています。”] ああ、理解していただければ幸いです。私たちはあなたのために祈ります。[“今のところ非常に順調です。”] そうだね。

ビリー、いつ牧師を始めるの?

博士。ゴードとメルシエ博士がここにいます。..私たちはお互いをそう呼んでいます。そして、ゴード兄弟は本当に称号に値する地位に到達しました。彼は今、砲弾を装填することができます。そして、レオ兄弟、私たちは彼をそのように手放して、彼を「ドクター」という称号を持たせることができると信じています。

そうですね、ブランナム博士、あそこでは、彼女をしっかりと治療して、電気をしっかりと燃やしてください。そして、言うておきますが、特別な会議があるときはいつでも、取締役会と話し合っ、特別な仕事をしなければならないときに、そのことについて少し追加料金を与えられないかどうかを確認します[ブランナム兄弟は笑います]。掃除や運び込みがたくさんあり、それがあなたを幸せにしてくれます。

201 博士。木材。私は彼に電話しました “先生、” なぜだろうと思います。彼の

それでは、最初に私が目を通しておいた質問から始めましょう。

その前に、少しの間、皆さん立っていただけますか。

7 天の父なる神よ、

私たちはここに集まっています。あなたを愛し、あなたを信じ、そして自分たちの人生と奉仕をあなたの御用のためにささげた、クリスチャンの男たちの集まりとしてここにいます。

ここには牧師たちがいます。若い人もいれば、中年の人もいます。

彼らには教会があり、神の前に責任を負っています。

また、ここには執事たちもいます。

それぞれの教会で、その務めにおいて責任を負っています。

理事たちもいます。

彼らにも責任があります。

牧師、伝道者、その他さまざまな働きがありますが、主よ、私たちは皆あなたに対して責任を負っています。

それゆえに私たちはここに集まっています。

聖書の中で私たちがしなければならないと言われているように、皆が同じことを語るようになるためです。

父よ、このような集まりの中で、もしかすると私たちの兄弟たちの中に、あるいは私たち自身の中に、いくつかの事柄について少し意見の違いがあるかもしれないと思います。

また、ただ本当にそれがどのような真理なのかを知りたいと願って質問している人もいます。

そして私たちは知っています。

私たち一人一人は、それだけでは十分ではないということ。

もし私がここにいる兄弟たちの誰かに、この場所に来てこれらの質問に答えてくださいと頼んだとしても、

おそらく彼らは私と同じくらい、あるいはそれ以上に、答えるのにふさわしいかもしれません。

しかし、私たちは共にあなたの啓示に頼っています。

あなたが御言葉を通して、そしてあなたの御霊によって、私たちに示して下さることを願っています。

それによって、私たちがすべての質問に対する答えを持つことができ、

私たちの心がその答えによって満たされ、

そしてここを去るとき、今よりもさらにあなたの奉仕のために備えられ、自分の務めを果たすために整えられていると感じることができるようになります。

父よ、それが私たちがここにいる目的です。

どうかそれをかなえてください。

父よ、私たちがあなたを待ち望む間、これらの質問に答えてください。

私たちの誰の心の中にも疑いや混乱が残ることがないようにしてください。

一つ一つの質問が完全に答えられ、

そして御霊によって満足が与えられ、

御霊の臨在のゆえに、皆が一致することができるようにしてください。

私たちはこれを、イエスの御名によって祈ります。

アーメン。

8 まず最初に、一つの聖書の言葉を引用したいと思います。

預言者イザヤがこう言っています。

「さあ、来たれ。共に論じようではないか、と主は言われる。」

今夜私たちがここにいるのも、そのためだと思います。

互いに話し合い、物事をよく考え、整理していくためです。

どこかであなたの会合に会えることを願っています、兄弟；何らかの影響を与え、あなたを後押しするためにどこかで何か言いたいことがあるかもしれません。私はいつも、あなたやここにいるストリッカー兄弟、そして伝道者たちに対して、誰に対しても良い言葉を持っています。

コリント兄弟です。いつか専任の牧師として働くことになると思います。

勇敢な人々、勇敢な人々、真の信仰を持つ人々よ、神はあなた方全員と共におられますように

197 そして、執事、理事、兄弟たちよ。あなたはそうだと思います。…

この兄さん、名前が思いつきません。あなたは [兄弟は言います、“コールドウエル兄弟。”] コールドウエル。あなたはただの。… あなたは長老の一人か何かですよ、それともただの。…? [“大臣。”] 大臣? [“私は大臣です。私は神の教会に属していました。私は完全な福音を宣べ伝えて彼らと一緒にいることができませんでした。私は主イエスの名においてバプテスマを宣べ伝え、彼らと一緒にいることができませんでした。私は彼らが発行する最高位の宣教免許を持っていましたが、あなたがそれらの素晴らしいメッセージを説いているのを聞いてから、ちょうど彼らを引き渡したばかりです。私は彼らを引き渡して組織から出てきました。今、私は皆さんの一人になりたいです。”]

ありがとう、兄弟。私たちのフェロウシップへようこそ。そして私たちの資格情報は上記のものです。私たちの人生は私たちの資格を作ります。それが私たちの資格情報です。“もし私が父の業を行わないなら、私を信じないでください、” 見てください。そうだね。それが私たちの資格情報です。そしてハワード・キャドルがよく言っていたように、“私たちには愛以外に律法はなく、聖書以外に本はなく、キリスト以外に信条はありません。” そうだね。“愛以外の律法はありません。..キリスト以外の信条はありません。..聖書以外の本はありません。”

198 そしてコールドウエル兄弟、私たちはあなたがいられて嬉しいです。あなたは素晴らしい組織から生まれました。アンダーソン神教会だと思います。[コールドウエル兄弟は言います、“クリーブランド。”] あるいはクリーブランド教会、ペンテコステ派神教会。[“そして私はここで牧師をしていました。..?…”] ああ、そう。ああ、そう。私はそこに行ったことがあります。私はかつてネビル兄弟、あるいはウッド兄弟と一緒にそこにいたと思います。

私たちはあなたの教会に行った人から犬か猟犬を飼いました。そして私は階段に立って話すようになりました、そして彼らはあなたのことを話してしま

鎧をめくってみたいと思います。

そして、兄弟たち、私の鎧も引き上げる必要があることを覚えていますか。だから、神様が私のために、神様が私を助けてくださるよう、そして私の鎧を少しきつく締めて、私が…物事をあまり緩めないようにと祈ってください。そして、私が生きている人生ややっていることは、もっと謙虚な精神で、もっと熱心にやっていますように。そして神は私に、これまで以上にそれを行う心を与えてください。皆さんにも同じことを祈ります。神のご加護がありますように。

194 私は長い間あなたをここに抱きしめてきました、そして今5分から11分です。

そして今、ネビル兄弟。…さて、分かったのですが、あそこはわずか900マイルほどしかありません。月曜日の朝まで出発しません。でも、日曜学校のために日曜日にここにいたいんです。私はあなたのゲストとしてあなたの説教を聞きに来ます、ほら、日曜日、ほら。でも…まあ、兄弟。..はい、兄弟。ネビル兄弟、その理由はこれです、兄弟。私はあなたを愛しています、そしてあなたはいつもとても思いやりを持って説教壇を提供してくれました、まるで私があなたにとって上級長老であるかのように、あるいは何かのように。

でも、私はそんな風を感じたことはありません、ネビル兄弟。私たちは兄弟だと感じてきました。

195 ラデル兄弟とジュニー兄弟、そして、ああ、兄弟たち全員、そして皆さん、私たちはただの兄弟です。でも、その理由は、私が今ちょっと声が枯れてしまったからで、6週間ずっと戦い続けているんです。そして、もしかしたら始めただけなんです。…もし今夜の会議の後で、会議を始める前に金曜日、土曜日、日曜日を休むことができるとしたら、と思いました。

そしてジュニー兄弟、私が戻ってくるとすぐに、一度入ってきたら、またあなたに会いに来なければなりません、出てきたいのです。昨日、あなたの小さな教会の前を通りかかったと思います。妻は言いました。“そうだと思います。…” グレネレンパークのすぐそばの線路沿いにありますか？私はそこに出てきて、セラーズバーグの人々と話したいと思います。大丈夫。

196 ラデル兄弟、あなたの心を祝福してください。出て行きたいんだ。君には素晴らしい人たちがいるよ。あなたは今夜そこに座って、まるで老人がそれを受け入れているかのように聞いていました。

あそこにいるビーラー兄弟は私たちの伝道者の兄弟の一人です。いつか

それで、これから始めていきますが……。

ここにいくつかのことを、番号などに従って書き留めてあります。

それから、ウッド兄弟が……

この封筒を持ってきてくれましたが、その中に質問が入っています。

そして、ここにいる愛する兄弟たちに、ぜひ知っておいていただきたいのですが、

これからお答えすることは、私の知る限りにおいて、また私が理解している限りにおいて、最善だと思う形で答えるものです。

9 そして、これらの答えは絶対に誤りがないものではありません。

誤りのないものは聖書です。

そして私が知る限りでは、これらの答えは聖書に沿ったものになっていると思います。

それでご理解いただけると幸いです。

この録音は保存されますので、もし誰かが欲しいと思えば、聞くことができますでしょう。

しかし、もう一度言いますが、誤りがないのは聖書であって、私の答えではありません。

ですから、そのことは皆さん理解してくださっていると思います。

もし私の答えが誤りのないものではないなら、

いつでも私に質問する権利が皆さんにはあります。

たとえそれが自分の質問でなくてもかまいません。

誰かほかの人の質問でもよいのです。

もしかすると、これまで考えたこともなかった質問かもしれません。

しかし、私たちは互いに助け合うためにここにいるのです。

私たちはここに集まっています。

なぜなら、今は終わりの時代であり、時代は悪くなっているからです。

ですから、私たちは訓練され、教えられる必要があるのです。

10 ストリッカー兄弟は兵士でした。

あそこにいるゴード兄弟も兵士でした。

そして、おそらくここにいるラデル兄弟も兵士でした。

ビーラー兄弟もそうですし、軍隊生活を経験した方々が何人もおられます。

皆で座って話し合い、実際に戦場へ出て行く前に戦いについて考えます。

敵がどのような戦い方をするのか、考え得る限りの戦術を知っておくので

す。

そうすれば、敵の土俵においても対抗することができます。

私が以前ボクシングをしていた頃も同じでした。

相手がどんな選手なのかを徹底的に調べました。

どんなパンチを使うのか。

アッパーカットなのか、左ジャブなのか、右手で打ち下ろすタイプなのか。

右利きなのか左利きなのか。

どれほど力があるのか。

足の使い方はどうか。

目の使い方はどうか。

どのコーナーから出てくるのか。

そして、考え得る限りの戦い方を調べるのです。

トレーナーたちは、その相手の試合を以前に見て研究します。

191 “では、兄弟の何人かが同意したらどうなるでしょうか” 彼は言いました、“そして彼らの中にはもう彼と交わりたくない人もいますか？彼を牧師のように連れてきてください、ほら、それは女性の中の男になり始めています。。私の言いたいことはわかりますが、牧師の中には彼を教会に招かない人もいます。皆さんは何をしていますか？彼を組織から追い出すのですか？”

“いいえ。” 言った、“私たちは彼を放っておいて、彼のために祈るだけです。” 言った、“私たちはまだそれを失ったことはありません。彼らはいつも戻ってきます、どういうわけか。”

彼は言いました、“まあ、” 言いました、“さて、もし…” 言った、“彼らの中には彼を望んでいると言う人もいれば、彼を望んでいない人もいるとしたらどうしますか？さて、それはどうですか？”

言った、“まあ、彼を欲しがる者は彼を連れて行ってください；彼を欲しがらない者は、そうする必要はありません。”

だから、それが良い方法だと思います、兄弟たち？そうすれば私たちは兄弟になります。

192 さて、兄弟たち、これらのことが答えか何かに向けて何らかの小さなショーを与えてくれたこと、今夜ここでの私たちの会合が私たちに何らかの利益をもたらしたことを願っています。私はしばらくここを離れ、西部での会議に行くつもりです。あなたの祈りを謙虚に切望します。

ここでの私の答えのいくつかは、おそらくその多く、あるいはどれも正しくなかったかもしれません。知らんよ。しかし、それを説明するために、私自身の考え方を蓄積するのが最善でしょう。おそらく、特に最後のものはついにそこに入ってきたので、調べる時間がありませんでした。そして私はそうしなかった。..彼らは.. つまり、それらは私たちがここで毎日、教会で毎日通過する聖書でした。おそらく、それは私たちが本当に何か素晴らしいことに取り組みなければならないようになるかもしれない、非常に大変なことだろうと思っていましたが、それはむしろ教会の問題に似ています。

193 そんな抱きかかえてくれて嬉しいよ。無秩序も不満も混乱もありません。質問は何も議論されず、“それは間違っています、これは間違っています、私たちはそれを持ちません。” と言いました 兄弟たちが自分たちの支配力を強化するために何かを知りたかっただけです、それだけです。それは..強化して、鎧を少しきつく締めて、さらに切り込みを入れます。こういう時にもっとたくさん会えて、

いる私たちの一人であると公言しています。

さて、もし彼がどこか別の場所から出てくるなら、なぜ私たちはそれについて何かをしなければなりません。しかし、そのような人―妻に愛し合おうとしたり、娘を侮辱しようとしたり、あるいは、他のそのようなことをしようとしたり、妻の周りで不道徳なことをしたり、息子たちを連れ出して変態にしたり、あるいは何か―に関しては、それらのことを取り上げ、その仲間を仲間から破門すべきです。そして、私たちはそうすべきではないので、それとの交わりを持つことは許されません。私たちはそうではありません。もし誰かが不相応に食べるなら、その人に対して主の血と体に対して罪を犯すことになります。

190 でも、私はただ…ある人が言うように、“まあ、今、彼はこれ、あれです。” 彼のために祈ってください。

スウェーデンのストックホルムで、偉大な神の人、ルイ・ペトルス兄弟のことを私は決して忘れません。私たちはアメリカに戻るわずか数時間前にテーブルに座っていました。そこで素晴らしい会議ができました。そして彼は言いました。…ゴードン・リンゼイは言いました。“この偉大な団体の監督は誰ですか？” ほら、アッセンブリーズ・オブ・ゴッドが何百マイルも打ち負かされているんだ。言った、“監督は誰ですか？”

そして、レヴィ・ペトルスは…紳士的な人だ、と彼は言いました、“イエス。”

彼は言いました、「“あなたの長老は誰ですか？”」

彼は言った、“イエス。”

彼は言いました、“私はそれが正しいことを知っています。” “私たちはアッセンブリーズ オブ ゴッドについても同じことを信じています。” と言いました。彼は言いました、“そうです。しかし、” は言いました、“たとえば、兄弟が規則を破ったとします、” は言いました、“誰が彼を排除する権限を持っているのでしょうか？”

言った、“私たちは彼を外に出しません。”

“さて、” は言いました、“あなたは何をしますか？”

言った、“私たちは彼のために祈ります。” それはとても甘いと思いました。それは私にはクリスチャンのように聞こえました。“私たちは彼のために祈ります。” 誰も彼を追い出さない。彼らは彼のために祈ります。

そして、その選手と同じような戦い方をする人を私の相手として練習に入れるのです。

そうして、相手がどのように戦うかを前もって知るのです。

今夜、私たちがここにいるのも、それと同じことです。

私たちは敵の打ち方を知っています。

敵の戦術も知っています。

そして今夜、私たちは聖書によってそれを覆うためにここにいるのです。

敵が動けないようにするためです。

なぜなら、敵はあらゆるところにいるからです。

11 ロバーソン兄弟、私はそこで彼に会おうと思っていました。彼は兵士とは何かをきつと知っているはずだ。彼は確かにそれを楽しんだ！ここには兵士が何人いますか？ほら、それは軍隊の兵士だったの？ここを見てください、兵士たち、あなたたちのグループを見てください。よし。さて、それが何であるかはご存知でしょう。そして、それがあなたが研究していることです(ロイ兄弟、ビーラー兄弟、そして退役軍人などですよ)、敵を研究することです。彼は何をするつもりですか？彼の動きは何ですか？そして、彼に会う方法を知ってください。それが私たちがここにいる目的であり、敵の動きを研究し、敵に会う方法、敵を克服する方法を知ることです。

12 そして覚えておいてください、兄弟たち。

このことを言わせてください。

この小さな教会は、賜物の働きの流れの中で始まっています。

教会の中に賜物が現れ始めているのです。

しかし、たとえ賜物があろうとなかろうと……

もし賜物がまったく現れなかったとしても、こう言いましょう。

賜物はいつも敵に打ち勝つとは限りません。

しかし、御言葉は敵に打ち勝つのです。

御言葉は、どこでも敵に立ち向かうことができます。

イエスが地上におられたとき、それを証明されました。

イエスは、肉体をとって現された神でした。

しかし、敵に打ち勝つために、ご自分のすばらしい賜物を用いることはありませんでした。

マタイによる福音書を見ると……

確かマタイの第二章か第三章だったと思いますが……。

いや、第二章ではなく、敵と向き合われたときのことで。

そのとき主は、御言葉によって敵に立ち向かわれました。

「こう書いてある。」

すると敵も、

「こう書いてある。」

と言いました。

するとイエスは、

「また、こうも書いてある。」

と言われました。

そのようにして、ついに敵に打ち勝たれたのです。

今夜、私たちがここにいるのも同じ理由です。

神が私たちに与えてくださった材料——御言葉——によって、

敵に立ち向かうためなのです。

13 さて、ここに 4 つの質問があります。それは 1 枚の紙に書かれており、1、2、3、4、5、6、8、10 と番号を付けました。そして、これを乗り越えたらすぐに、そこにあるものに飛び込みます。言う：

質問：“ブラナム兄弟、もしこれらの質問が規則から外れているなら、

今すぐこれを処分したほうがいいですよ、ほら” 私は言いました、「“ 負担がかかるからです”。とにかく、私は少し叙階されたばかりなので、それは私にとって負担になるので、今すぐ取り除いたほうがいいかもしれません。”

ですから、もし私がバプテスト教会に留まり、バプテストの教義を教え、バプテストの信仰を受け入れることができなかつたら… 教会だからという理由だけでやったとしたら、私は間違っています、ほら。何かを隠しています。そして、もし私が自分に正直であれば、バプテストの人々(牧師かそれを説明してくれる人)のところに行って、彼らに人生の言葉を求めます。もし彼が聖書のどこが正しいのかを正しく示し、私の気持ちを満たしてくれるなら、私は彼らが話すのと同じようにそれを話し、見て、バプテストになるでしょう。

188 それが私が無所属である理由です。それが私が組織に属していない理由です。なぜなら私は組織を信じていないからです。そして、それは組織にとって非聖書的だと私は信じています。したがって、私はいかなる組織にも所属できず、そうすることで正当であると感じることはできません。したがって、私は人々を受け入れて会員にするなどしません。なぜなら、私たちは会員になるために生まれてきたと信じているからです。私たちは生ける神の教会に生まれました、見てください。

私たちは人々の名前を本から削除したり破門したりすることはありません。なぜなら、それは私たちの義務ではないと信じているからです。破門するのは神だと信じています、ほら。しかし、もし何か悪いことをしている兄弟がいるとしたら、教会はそう信じています。。

189 たとえば、ネヴィル兄弟、ジュニア兄弟、あるいは兄弟…ここにいる兄弟、執事や理事の一人、あるいは他の誰かが何か悪いことをしているのを見つけたら、教会が団結してこの兄弟のために祈るべきだと私は信じています。それでも彼が立ち直れないなら、カップルを一緒に行かせて、和解するために兄弟のところに行きましょう。そして、もし彼がそれを受け取らなかつたら、教会の前でそれを伝えてください。そして、もし彼らがそれを受け取らなかつたら、それは教会全体の時間です、ほら、それは牧師、長老、その他すべてがそれを行うための時間です。私は、執事委員会には誰かを教会から追い出す権利があるとは信じていませんし、理事委員会にも牧師にもそうする権利があるとは信じていません。

もし誰かが排斥されたら、それは不道德な生活か何かのせいで、彼は健康ではなかつたと思います—ここにやって来て、私たちの女の子を汚したり、女性を侮辱したり、そのようなことをするような男性のように、そして今でもここに

質問に答えてもらえますか？”ほら？

彼は言いました。“あなたの質問に答えます。”言った、“そこにいるのはあなたの義務です。”

私は言いました、“そうです、先生。そうだね。私はこの教会が行うあらゆることを予期することになっています。私は地元の長老の一人として職務に就いています。”そして彼は言いました.. 私は言いました、“コリント人への手紙第一 14 章か 15 章でパウロが「あなたの女性たちは教会で沈黙を保ってください。話すことは許されていません」と言った理由を説明していただけませんか”

186 そして彼は言いました、“確かに、なぜ!”彼は言いました、“もし.. 私はそれに答えることができます。”彼は言いました、“ほら、それが何だったのか、”言いました、“ポールは言いました。。女性たちは皆、隅に座って、他の時と同じように飛び出していました。彼は言いました、「彼らにそんなことをさせないでください」、ほら。”

そして私は言いました、“それからテモテ二世を私に説明してください、そこでパウロは言いました、また一同じ書記官、同じ使徒一は言いました、「私は女性に教えたり権威を奪ったりすることを許しません、ほら、従順であること」。なぜなら、アダムが最初に形成され、次にイブが形成され、アダムは騙されたのではなく、女性が騙されたからです。」彼女は騙されてる。さて、彼女は何か悪いことをしたいとは言いませんが、実際には騙されています。彼女は教師になるべきではない。”

彼は言いました。“それはあなたの個人的な意見ですか?”

私は言いました、“それが私の見方に対する聖書の意見です。聖書にはそう書いてありました。”

彼は言いました。“若者よ、そのことで免許を剥奪されるかもしれない。”

私は言いました、“私は彼らの手間を省きます。差し上げますよ、デイビス博士。”私は言いました、“あなたを無視しないでください..”しかし、彼はそれをしませんでした。彼はそれを手放し、そのままにしておきました。それから彼は私に、それで私と公開討論をするつもりだと言いました。そして私は言いました、“わかりました、いつでも。”しかし、彼はそんなことはしませんでした。

187 それで、少し後、主が私に話しかけ、主の天使が来たとき、彼はそれをからかっただけです。そして私は彼にこう言いました、「“そうですね、デイビス博士、

無視してください。そうすれば、それが主の手ではなかったことがわかるので、私はそれについて悪く思わないでしょう。”質問その 1: “ブラナム兄弟、あなたの話を聞きました..それは戻ってくるはずです.. 私はあなたが宣教に戻るべきだと言っているのを聞きました、そして私は自分自身でそれを考えました;しかし、それについて神からの明確な言葉を待っていました。現在まで来ていません。さて、終わりが近づいていることはわかっている、主イエスが私に語られるのをまだ待つべきでしょうか?それとも、あなたがこの日の神の代弁者であることを私は知っているので、神は喜んで私に何を言うべきかを教えてくれるでしょうか?”

さて、兄弟、私はここにそれに対する答えを書き留めました。神様がこの兄弟を呼ぶなんて…。人生における呼びかけ、今、それをテキストとして受け止めて、一晚中説教できる素晴らしいことが 1 つあります。ほら—その 1 つは呼びかけです。“あなたの使命と選挙を確信してください、”見て。私たちは、呼ばれているかどうかだけ疑問に思いたくありません。呼ばれなければ敗北するぞ。私たちは戦いを戦っています、ほら。そして、兄弟よ、もしあなたが自分の召命は神からのものであり、あなたは神から仕事をしよう召されていると確信しているなら。

さて、そこには敵があなたに仕掛けることができる素晴らしいトリックがあります。彼は、あなたが呼ばれたときに、あなたが呼ばれていないと思わせることができます。それから彼は右折して、あなたが呼ばれていないと思わせます;または、あなたが呼ばれていないときにあなたが呼ばれていると思わせます;どちらにしても、その逆です。そして、あなたはそれを見なければなりません。

14 さて、その方法は次のとおりです。まずは調べてみてください。…これはアドバイスです。これに関して私が言えるのはアドバイスだけです、ほら。しかし、あなたの召命が神から来ていることを確認し、あなたの動機と目的を確認してください。さて、私がそれが何を意味するのかご存知でしょう。説教の動機は何ですか?ただ…?あなたが持っているものよりも簡単な仕事だったと思いますか?それなら忘れたほうがいいよ。電話じゃなかった。

神の呼びかけは燃えるので、昼も夜も休むことはできません。どうしても逃げられない。それはただ絶えずあなたに向かって研削しているだけです。

15 そしてもし説教しなければならないとしたら。…あなたはこう言うでしょう、さて、もう 1 つの目標です、“私は、自分の仕事において、伝道者や牧師として成功し、十分な定給があり、家に入ることができたら、そう信じています。等々、そして生きていくなら、それは良いことだと私は信じています。今やっていることよ

りずっと簡単です。そして本当にそうなると思います。…” さて、ほら、あなたの目的はそもそも間違っています。それは正しくないんです、ほら。その点ではあなたは間違っています。

すると、あなたはこう言うでしょう。“まあ、それは私が..人々の間でもっと人気があると思うからかもしれません。” ほら、大失敗の準備ができていることがわかるでしょう。本当に、ほら。

しかし、もしあなたの目的がそれであるなら“ソーダクラッカーを食べたり、枝の水を飲んだりしなければならぬかどうかは気にしません、とにかく福音を宣べ伝えます。” 何かがあなただけを引き裂いているだけです、“私は福音を宣べ伝えるか死ぬかのどちらかです!” ほら? そうすれば、あなたはどこかに行くでしょう、なぜならそれは神があなただけを扱っているからです。神はあなたにご自身を知らせています、なぜならそれは.. 神はあなたを休ませてくれません。

そして通常、神と呼ばれる人は決してそれをしたくありません。そんなこと考えたことある? どんな男でも…

16 つい最近、ある大変敬虔な兄弟たちからこう尋ねられました。

「ブラナム兄弟、私たちは今この道に入り、主を見いだし、聖霊を受けました。

それで、私たちの務めのために、賜物を求めるべきでしょうか。」

私はこう答えました。

「決してそうしてはいけません。」

そのようなことを人に勧めてはいけません。

なぜなら、普通そういうことをしたがる人というのは、実際にはそれができない人だからです。

むしろ、それから逃げようとしている人を神は用いられるのです。

「いやあ、兄弟、召しがあることは分かるのですが……

うーん……正直言って、そんなことをするのは気が進みません。」

そういう人こそ、神が用いられるのです。

るように召してくださったことは知っています。”] 確かに。ポールは行ってテントを作りましたね? 必要がないように自分の手で作業しました。。まさにそれです。確かに。[“そこが私の居場所です。”] ほら? そうだ ほら。ジョン・ウェスレーは言いました。“世界は私の教区です。” それで、あなたの説教壇はまだ開いています、兄弟。伝道者たちは全世界に行きます。そうじゃないか? “全世界に行きなさい。” つまり、あなたの説教壇は全世界なのです。はい 先生。

185 質問。

質問: “それは裁定ですか、rulin…。執事や管財人は教会の教義に従わなければならないという判決なのでしょうか?(はい。そうです。) 彼らが自分の個人的な意見や啓示を理由に教えを追加したり削除したりすることは合法ですか?”

いいえ 先生。いいえ。執事や管財人は教会の教義と完全に調和している必要があります。彼らは教会の聖書の解釈に完全に従うべきです。そうしないと、まさにそのことに反対することになるからです。彼らは自分自身を傷つけています、ほら。戦ってるんですね。…

言い換えれば、私が家族を愛していると言って、彼らに毒を与えようとするようなものです。ほら 同じこと。ほら、そんなことはできないよ、あなた。…

就任時の管財人または執事、または特定の教会団体を代表する教会の役員、教会を代表する教会の役員を参照してください。

それが私が初めてバプテスト教会から出た理由です。私はちょうどそこに少し入ったところだったので、彼らは私に女性説教者を叙階するように頼みました。まあ、実際にはそこに留まることはできませんでした。私は言いました、“私はそれを拒否します。”

そして牧師は私をけいれんさせました。“これは何ですか? あなたは年長者です!”

私は言いました、“博士。デイビス、バプテストの信仰と私が叙階されたすべてのことに敬意を表して、女性を叙階することがバプテスト教会の教義にあるとは知りませんでした。それは一つ省略されたものでした。”

そして彼は言いました。“それがこの教会の教義です。”

私は言いました、“先生、今夜は許してもらえますか、それともいくつかの

182 覚えておいてください、あなたの信徒は時々物事を説明したり、何かをしようとしたりします。やらないように指示するのが最善です。そして、誰かが何かを知りたい場合は、それをするように指示された人のいずれかに来てもらいましょう。

言ってください、まあ、今、誰かが言うように、“ねえ、彼らは私に言います、あなたはあなたの教会で永遠の安全を信じています。”

さあ、見たほうがいいよ。おそらくあなたはこれまでよりも大きな混乱に陥り、彼の状況はこれまで以上に悪化するでしょう。言ってください、“何を言いますか。来て牧師に聞いてくれれば。…彼と話しに行ってください、ほら。それは本当です。私たちの牧師がそれを信じていることは知っています。私もそう信じていますが、サポートすることはできません。…私は説教者ではありません。ただ信じているだけです。私が知っているのはそれだけです。私がそれを信じるのは、彼が聖書からそれを非常に説明しているのを聞いたので、私にとってそれは疑いの余地がなかったからです。”

しかし、そのことについては信徒に牧師に話させたほうがいいでしょう。そして牧師も、その答え方を知っていることを確認してください。だから、それを本当に上手に勉強してください。なぜなら、多くの場合、彼らはあなたをそれに縛り付けるからです。

183 [兄弟が言う、“ブランナム兄弟?"] すみません。[“できれば...(不明瞭な言葉)。しかし、私は自分の使命を知っており、自分の選挙を確実なものにしてきました。”] ああ。[“あなたは今、説教者なら説教壇を持つべきだと言いました。”] はい 先生。そうだね。[“私は説教者ではありません。私は伝道者です。”] はい 先生。[“しかし、みんなの説教壇は私のものです。”] そうだね。[“でも今は肉体労働で働いています。大変な仕事ではありませんが、私は働いており、説教壇はありません。そして、私が取り組んでいるこの仕事の期間は主の御心の中にあると信じています。彼は私に、御言葉と御霊の証しを通してそうするように言いました。そして、後で説教壇が開かれると信じています。”] 確かに、そうです。[“そうですか?”] そうだね。

184 兄弟よ、ここに戻って古い教会の台帳を持ってきてください。私がこの教会を17年間牧師として務め、毎日説教し、毎日説教し、毎日働いていたことが分かるでしょう。[兄弟が言う、“あなたが働いているなら、それはあなたが呼ばれる良い兆候です。”] うん。ポールはそうしましたね? ポールはテントを作りました。[“あなたが言ったように、私は説教者なので、落胆する傾向があります。説教壇を持つべきです。私は落胆しがちですが、神が私に一シーズンの仕事を得

見てください、彼はそれから逃げようとしているのです。

しかし、それをどうしてもやりたがる人は、

気がつけばすぐに高慢になってしまいます。

まるでこう言うようなものです。

「神よ、もし私に山を動かす力を与えてくださるなら、私はあなたのために大きなことをします。山を動かさせてください。」

しかし、そういう人はできないのです。

神のために山を動かすどころか、自分自身の心を正しい態度に動かすことさえできないのです。

17 例えばパウロのことを考えてみてください。

パウロがその召しから逃れることができたと思いますか。

いいえ、兄弟たち、できませんでした。

それは昼も夜も彼の心に迫り続けていたのです。

ついには彼は自分の教会を離れ、すべてを後にして……

確かアジアだったと思いますが、そこへ行きました。

そして三年間そこにとどまり、聖書を学びました。

それが本当に正しいことなのか、確かめるためでした。

つまり、神が本当に自分を召しておられるのかを確かめるためです。

ですから、兄弟よ、もし神があなたを召しておられて、

それがあなたの心に絶えず迫ってくるのであれば、私はこう言うでしょう。

「すべての重荷と、容易にまわりつく罪とを捨てなさい。」

分かりますか。

しかし、それがあなたの心に迫っていないのであれば、

そのことをあまり気にする必要はないでしょう。

ただ、それが自然にその時を迎えるのを待てばよいのです。

18 さて、この兄弟がここでこう言っています。

質問:

「ブラナム兄弟、あなたはどう思いますか。神があなたに語って、私に伝えるようにされることがあるのでしょうか。」

私はこう思います。

神はその人に直接語られるでしょう。

なぜなら、神は……

私たちは神が語れないほど大きな存在ではないからです。

神は私たちにもちゃんと語ってくださいます。

そうです、神は語られるのです。

もし神が私に語られたとして、

それをあなたに伝えたとしましょう。

するとその兄弟はこう言うかもしれません。

「まあ、ブラナム兄弟にそう語られたのですか。ハレルヤ!」

しかし、見てください。

あなたに召しを与えるのはブラナム兄弟ではありません。

主イエスがあなたを召されるのです。

そして、もし主イエスがあなたを召されるのであれば、

主ご自身が語られるでしょう。

私があなたの耳に向かって話すことはできます。

しかし、キリストがあなたを奉仕へ召されるときは、

キリストの名においてバプテスマを受けたら、聖霊を受けるだろうと言います。さて、主よ、私はそれをしました。私はそれをしました、主よ。やったわ。待つてるぞ主よ。約束しただろ。'”

ほら、それが方法だから、彼を励まし続けてください。彼を御言葉どおりに保ちましょう。もしそれが来るとしたら、それは来るでしょう。

181 質問: “説教者や、信仰を持たないクリスチャンは大丈夫ですか…(いいえ。) 説教者、あるいはキリスト教徒は、永遠の安全を信じていない人は大丈夫でしょうか?”

さて、見てみましょう。“やっている”を想像します。… あなたも私と同じようにそれを読んでみてはいかがでしょう。読んでみる。[兄弟が質問を読みます。“説教者、またはキリスト教徒は、永遠の安全を信じていない人は大丈夫ですか?”]

私にはその権利があるかもしれないと思いました。さて、まあ、私は…

“永遠の安全を信じない説教者は大丈夫ですか?”

説教者が永遠の安全について何も知らなかったら、私はそうしていたと思います。しかし、もし彼がそれを知っていて、それが真実であることを知っていて、それを説教しないなら、彼は自分自身—そうです—やクリスチャンを恥じる必要があります。さて、クリスチャン、さて、私はそれをあまり理解していないクリスチャンに言いたいのですが。。

質問: [兄弟が尋ねます。“それは公然とした教義ではありませんね、ブラナム兄弟、それは一度も説教したことのない人々に説教されるべきことなのではないですか…?”]

いやいや。さて、それが私が到達しようとしていたことです。うん。

さて、先週の日曜日に私が言ったことを覚えていますか?あなたが説教者なら、説教壇を用意してください。そうでない場合は、説教を生きてください。ほら、それがそのための最良の方法です—説教を生きてください。あなたが説教者なら、説教壇を手に入れて、見て、説教しに行きましょう。そうでない場合は、説教を生きてください。あなたの人生を説教壇にしましょう、ほら。それはとても大事だと思いますね?なぜなら、多くの場合、私たちはそれを知るからです。。そして、兄弟たちよ、あなたの教会ではそうしてください。

そして、私の同僚であるネビル兄弟が私のそばに立っていて、男が祭壇に駆け上がりました。私は言いました、“ネヴィル兄弟、彼のところへ行ってください。”そしてネビル兄弟は彼のところへ行きました。それが私が行かなかった理由です。

さて、もしここに仲間がいなかったら、あるいはその男のところ他に何もいなかったら、私は降りて聖体拝領を止め、下ってその魂が救われるのを見たでしょう。しかし、派遣する人がいたということは、私が聖体拝領をしていた職務から私を引き離したことになるでしょう。

180 質問: “聖霊を求め、聖書を守り続ける人に対処する上で、パーソナルワーカーとして何ができるでしょうか?”

よし。ただ彼に御言葉を引用し続けることが最善の方法です。御言葉には光があります。ただ言ってください、“兄弟、イエスはそれを約束されました。覚えておいてください、それは神の約束です。”

彼を揺さぶったり、押ししたり、動かしたりしないでください。ただ、そうしようとししないでください。彼にそれを渡そうとししないでください、なぜならあなたにはそれができないからです、ほら。神は彼にそれを与えるでしょう。約束を引用し続けるだけです、ほら。約束を引用しながらそこに立ち続けてください。“天国の神よ、私は兄のために祈ります。あなたの約束は、彼に聖霊を与えることです。”

じゃあ彼を励まそうとしているなら。…彼はこう言っています。“ああ、兄弟、牧師、兄弟(彼の周りに誰がいても)、私は聖霊が欲しいのです。”

“兄弟、それは約束です。神は約束をした。彼が約束したと信じますか? さあ、疑わないでください。もしあなたがその約束を信じるなら、聖霊は今にもあなたのところに来るでしょう。期待して。あなたが得たすべてを神に明け渡し、「主よ、私はあなたの約束を守ります」と言ってください”

さあ、引用を続けてください。さあ、あなたの主題を作り、ほら、彼に引用を続けさせてください。今すぐ言ってください、“あなたは神に言います。さて、悔い改めましたか?”

“はい。”

“さあ、こう言いなさい。「主よ、私が悔い改めるなら、あなたは私を許すだけだと言いました。」あなたは、もし私が悔い改めて、罪の赦しのためにイエス・

それはあなたの心の中で起こるのです。

そこにそのことがしっかりと根を下ろさなければなりません。

そして、そうなれば、もうそれから逃れることはできません。

さて、次の質問ですが……。

もしこのことについて何か疑問があるなら、

つまり、人の召しは神から来て、心の中にあるものでなければならない、ということについてですが……

それから、もう一人の兄弟が……

ああ、この質問を書いたのが誰か分かりました。

そうです、誰が書いたか分かっています。

本当に尊い、親愛なる、恵み深い兄弟で、私はこの方に神の召しがあると本当に信じています。

しかし私は……

その人が私の言葉によってそれをするようになってほしくないのです。

それが、私が先ほどあのように答えた理由です。

つまり、私が

「ええ、〇〇兄弟は奉仕に入るべきです」

と言ったから、そうする、という形にはしてほしくないのです。

19 もしあなたが、

「ブラナム兄弟が、私にそれをすべきだと言ったのです」

と言うとしましょう。

しかし、もしブラナム兄弟に何か起こったらどうでしょうか。

もし私が事故で死んだり、亡くなったり、あるいはいなくなったりしたらどうなるでしょう。

そうすると、その時点であなたの召しも終わってしまうことになります。

しかし、もしイエスがあなたを召されたのであれば、兄弟よ、

永遠が続く限り、その召しはあなたの中で鳴り続けるのです。

そうすれば、あなたは自分がどこに立っているのかを知ることができます。

さて、次の質問ですが……

あるいは、こういう内容です。

「今が終わりの日であることを知っていて……」

私は、この兄弟のその言葉を本当にありがたく思います。

この兄弟が、私たちが終わりの日にいることを理解しているということ、私は本当にうれしく思います。

そして、キリストのために何かをしたいと願っている、

その心の真実さを、私はとても尊く思います。

20 次の質問です。

質問:

「さて、もし尊い主が、私に主のために何か小さな働きをさせてくださるなら、以前私がいくら誤って教えてしまった地域に（それを私は申し訳なく思っています）（彼はそれを括弧の中に書いています）戻って、真理を伝えるべきでしょうか。彼らのことがずっと心にかかっているのです。」

いいえ、兄弟。

私は、あなたが同じ地域に戻る必要があるとは思いません。

そして愛する兄弟よ、主があなたを召されたとき、あなたが以前いた地域に、以前と同じ形で戻るとは限らないと私は思います。

おそらくあなたは、その時にはその時で、いくつかのことを教えたり、あるいは語ったりしたでしょう。けれども今では、それらについて以前とは違った見方をしているかもしれません。そうでしょう。以前とは違って見えていることがあるかもしれません。

176 質問：“聖体拝領の礼拝で、一人の男性が祭壇に祈りに来ました。ブランハム兄弟は、聖体拝領の要素が管理されている間、その要素を支持していました。彼は、祭壇にいる男と一緒に祈るために彼らを離れることはできないと言いました。説明してください。”

私は同僚、ネビル兄弟を送りました。それが起こった夜のことを覚えています。私は聖体拝領のテーブルに留まることになっています、ほら、たとえ…ここを見ろ。さて、それに入る時間はありません。もちろん、ここに座って尋ねた人もいます。それがこれです、兄弟。聖体拝領を受けたとき、それはイエス・キリストの体の表現です。常に警戒すべきです。

177 ほら、エリヤがゲハジに言ったとき、“私の杖を持って行きなさい（彼はその杖を祝福していました）、”彼は言いました、“あなたの道に行きなさい。そして、誰かが話したら、口答えしないでください。誰かがあなたに敬礼するなら、敬礼を返さないでください。さあ、その杖を赤ちゃんの上に置いてください。”そうか？“そのスタッフと一緒にいてください！”そして、それが私がやっていたことです。

さて、もしここに副牧師が立っていなかったら…私は説教を乗り越えました。だった頃の覚えています。そして、もしネビル兄弟がここに立っていなかったら、あるいは祭壇にいるあの男を助ける人がいなかったら。私は説教を終えたばかりだったので、聖体拝領のテーブルに立っていました。そして彼らが聖体拝領の準備をしている間に…そして私はすでに聖体拝領をしていました。ネヴィル兄弟がちょうどそばにいて、私は聖体拝領の奉仕をしていました。さて、ネビル兄弟がそこに立っていました。

178 もし彼らが祭壇に来て、ネビル兄弟がまだ説教中で、説教していたらどうなるのでしょうか？もし彼が説教中に会議から立ち上がって祭壇に行っていたら、私はその男と一緒に祭壇に行っていたら。私は兄が…聖霊の油注ぎを受けているのを見たでしょう。彼は奉仕していた。彼は大臣でした…彼は職務に就いていました、職務に就いている大臣でした。

そして、彼らに異言を話させたり、職務上の大臣を中断させたり、いかなる形であれ決してさせてはなりません。しかし、聖霊が誰かに語りかけ、彼らが救われるために祭壇に走ったとしても、牧師は職務を続けましょう。牧師、執事、同僚一同僚や他の牧師がいる場合—にすぐにその人を連れて行ってもらい、職務中に牧師を悩ませないでください。

179 そして私は職務の列に並んで机の後ろに立って聖体拝領をしていました。

174 質問: “ポールはこう言いました。…パウロは「最高の贈り物を熱心に欲しがりなさい。それでも、もっと素晴らしい方法をあなたに見せてください」と言いました。優れた方法とは何かを説明してください。”

愛よ、コリント人への手紙第一 13 章、参照。“切望する。…” さあ、コリント人への手紙第一 13 章をそこに載せてください、兄弟。コリント人への手紙第一、第 13 章、そして最後の 3 節か 4 節を読んでください。コリント人への手紙第一 13 章、最後。..この章の最後の 3 節について。[兄弟がコリント人への手紙第一 13:11-13 を読んでいます。]

子供の頃、私は子供の頃に話し、子供の頃に理解し、子供の頃に考えました。しかし、男性になると、子供っぽいものを片付けました。

今のところ、私たちはガラスを通して暗く見えています。しかし、その後、対面します。今では部分的に知っています。しかし、そのとき、私は知られているように、私も知るでしょう。

And now abideth faith, hope, charity, these three; but the greatest of these is charity.そして今、信仰、希望、慈善、これら3つを維持します。

慈善活動。

175 質問: “求められずに教会に居場所を持つことが弱点である兄弟は、どのように非難されるべきでしょうか?”

ああ、私の!まあ、彼と一緒に苦しんでください、そう思います。

“求められずに教会で起こることが弱点である兄弟は、どのように非難されるべきでしょうか(非難されるべきではありません)?”

たとえば、彼が執事になりたかった場合は、を参照してください。そして彼はそうするように頼まれていませんが、とにかく執事になりたいと思っています。まあ、もし人がそのような人だったら、とにかくどこかに少し弱いものがあることがわかります。それで私は彼と恋をしていました。

そしてもちろん、本当に知らない限り、そのようなことは決してしたくありません。できる限り優秀な人材を取締役に参加させてください。兄弟よ、そこには何も入らないでくれよ。まずはその男をテストしてください。執事には牧師よりも多くの責任があります。彼には責任がないはずだ、執事はそうだ、ほら。

さて、主があなたを召されたなら、もしそれが本当にあなたにとって確かなものなら、主はあなたをどこへでも遣わすことができになります。分かりますか。

あなたは、特定の地域に行かなければならないということはないのです。

あなたがその地域にいたとき、あなたは誠実でした。

私はこの質問を書いた兄弟を知っています。

私が言うように、この兄弟は、心からの誠実さをもって、真に純粋なクリスチャンとして、自分の知っている限りの最善を尽くしたのです。

そして、それこそが神が求めておられるすべてなのです。

ですから、もし神があなたをその地域に再び呼ばれるなら、私はまた戻って行くでしょう。

しかしもしそうでないなら、神があなたを遣わすところへ行けばよいと私は思います。

何か質問がありますか。

21 三番目です。

質問:

「人はどのようにして、自分がキリストの体の中で持っている正しい位置を知ることができるのでしょうか。」

それは良い質問ですね。とても良い質問です。

今夜ここにいる私たち多くの者の間でも出てきそうな種類の質問です。

「どうすれば自分の正しい位置を知ることができるのか。」

さて、この兄弟が聞きたいのは、おそらくこういう意味でしょう。

「キリストの中で、自分はどんな位置にいるのか。」

キリストの体のどの部分として、自分はどんな役割を果たすのか。」

では兄弟、私の知る限りで一番よい答えをするなら、こう言います。

あなたのキリストにおける位置は、聖霊によってあなたに示されます。

そして、それが本当に聖霊なのかどうかを知りたいなら、

あなたがしていることを、主が祝福しておられるかどうかを見なさい。

もし主がそれを祝福しておられるなら、

それは聖霊によるものです。

しかし、もし祝福されないなら……。

22 少し前に、ある人が私にこう言いました。

「主が私を説教者として召されたのです。」

そこで私は言いました。

「それなら、説教しなさい。」

そうでしょう。

実際のところ、こういうことはよくあるのですが……

サタンは、もし誰かをそのような行動に走らせて、それを通して人を欺くことができるなら、それこそまさに彼の望むことなのです。

そうなると、世の中の人々はみな、その一点を指さしてしまいます。

ある人は、自分には異言とその解き明かしの賜物があると思い、

またある人は、神の癒しの賜物があると思い、

また他にもいろいろな賜物があると思う人がいます。

しかし、時にはそのようなことについて思い違いをしている場合もあります。

そして逆に、実際には持っているのに、自分にはないと思っている人もいます。

ですから、これはとても微妙で難しいことなのです。

23 ですから兄弟たち、いつもこうしてください。

(自分の)責任を自分で果たすべきでしょうか、それとも果たすべきではないでしょうか?しかし、彼女が自分のニーズを満たした後、地元の教会が彼女ができる限り宣教活動を助けるのは聖書ですか?”

うん。右。慈善活動は家庭から始まります。私たちはここで自分自身のニーズに応えます。なぜなら、私たちは…ここは神の教会、あるいはこれからも…あなたの小さな教会、神の教会を持っているからです。さて、牧師にお金を払うことさえできないなら、歌の本などを手に入れることさえできないなら、それを別の場所に送るべきではありません。しかし、教会の費用と借金をすべて返済し、すべてを解決して準備を整えて、先に進んだ後、向こうで少し助けを必要としているもう一人の兄弟を助けてください。少しは…

もしあなたが教会の支払いをしているなら、人々が宣教に寄付したいと感じたら、宣教の捧げ物のためにどこかに少額の資金も用意しておくべきだと思います。なぜなら、多く人は故郷の教会などに寄付しないのに宣教に寄付するからです。したがって、ミッションに渡さなければ、別のことに使うこととなります。それで、小さなミッションボックスを用意して、私は..それが私たちがやろうとしている方法です。

173 質問: “ルカ 1:17、ヨハネがエリアスの霊によって来られたことを説明してください。”

そうですね、エリアスの霊によってルカ 1 章 17 節が伝えられたところだと思います。

[兄弟が尋ねます、“輪廻転生者はそこで教義を得るのでしょうか?”] すみません?[輪廻転生を信じる人々はそこから理論を始めるのでしょうか?“] そうだったに違いない。[“ほら、彼らは彼が戻ってきたと信じている。..“] はい。[“…彼は別の体に戻ります。“] はい。ほら、霊は決して死なないというのは本当です。それは本当です。神はご自分の人を連れて行きますが、御霊は決して連れて行かれませんが。[“上手ければ、立派な男に戻ってくると言われています。悪いことをしたら、犬に乗って戻ってくるかもしれません。“] ええ、彼らは持っています。。うん。

さて、インドと同じように、私たちがこのように会ったのは男性のグループでした。そして彼らは床をモップで拭いたり、小さなアリか何かを踏んだりすることさえありました。それは親戚か何かかもしれません。ほら、彼らはそんなことはしないだろう。でも、ほら、それは異教だよ、ほら。それは異教的だ。それは本当です。

そして、東から西にやってくる天の偉大な油そそがれたキリストが来られるとき、これらの小さな光は消えます。

170 しかし、彼は今地上にいないでしょう、メシアは千年紀が始まるまで地上にいないでしょう、ほら、なぜなら教会は... 私たちは空中で主に会うために一緒に巻き込まれています。彼は決して地上に来ません。彼は花嫁を捕まえて追い払います。

彼ははしごを手に入れます、ご存知のように、たとえば。レオ、その男が家の横にはしごを置いたあの劇は何でしたか？ロミオとジュリエット。そうだ、はしごを上げて花嫁を盗んだんだ。今、彼はちょうどヤコブのはしごを下りてきて、「“Psst、恋人、ここにきてください”」と言っています ほら、私たちは彼に会いに行きます。

171 質問: [兄弟が尋ねます、“ブランナム兄弟、それではこれで正しいでしょうか？これらの人々は洗礼者ヨハネのところに来て、彼を救世主と呼びたいと考えました。そして、ユダヤ人がメシアは神だと考えているとあなたが言ったのを一度聞きました。”] 何て言う？[“これらの人々は、洗礼者ヨハネが救世主、キリストであると考えて、彼のところに来たのです。ある時、あなたがユダヤ人のためにメシアは神になるだろうと言ったのを聞きました。”] はい 先生。そうです、“ラビ。”

[兄弟は言います、“さて、ヨハネは彼らを叱責し、自分はそうではない、キリストが来られると言いました。”] そうだね。[“しかし、弟子たちがイエスを「主」と呼んだというのは本当ではないでしょうか？そしてイエスはそれに同意して、「あなたは私を」主“と呼んでいます、そして私はそうです”]”]と言いました うん。[“ヨハネ13章で、イエスは(不明瞭な言葉)を洗われました。”] そう、彼はそれを認めるだろう。[“主として、そうです、彼はそれを認めました。”] 彼はそれを認めた。[“彼はそれを受け入れました。”] ああ。しかし、イエスは主です。主であるかと尋ねられたとき、イエスはこう言われました。“はい、先生。私はあなたの主であり主人です。あなたは私をそう呼んで、よく言います、私もそうです。”しかし [“しかし、そう言うような存在は他にありません...”]...そう言えるかもしれません。いいえ。

まるで... もし誰かが私が神だと言ったとしたら、それは間違いだと主イエスの名において言わせてください!ほら?私は恵みによって救われた罪人であり、神からのメッセージを持っています。

172 質問: “地元の教会は、他の土地での外国のニーズに応える前に、地元の

自分が何かをすべきだと感じたときには、まずそれが聖書的かどうかを確かめなさい。

つまり、そのことが聖書の中にあるかどうかを見なさい。

ただ一か所に書かれているだけではなく、聖書全体を通して見て本当に聖書的かどうかを確かめるのです。

そしてそれが、あなたの立場や召しに関わることです。

たとえば、あなたが伝道者であるとか、牧師であるとか、教師であるとか、預言者であるとか——神があなたをどのような働きに召しておられるのか、ということです。

あるいは、異言の賜物、解き明かしの賜物、あるいは教会の中にある九つの霊的賜物のどれかを持っている場合、または教会の四つの職務のどれかに召されている場合でも同じです。

どんな立場であれ、まず神があなたを召されたのかどうかを確かめなさい。

そして普通、私自身がそれを見るときの方法ですが(これは私自身のやり方ですが)、

私はその人の性質や人柄を見ます。そして、その人がどんな賜物を持っていると言っているのかを見ます。

分かりますか。

神は、ご自分が造られたその人の性質に従って働かれるのです。

神は、ご自分が造られたその器に応じて働かれるのです。

24 もし、その人が落ち着きがなく、軽々しく振る舞っているような人でありながら、

「主が私を牧師として召されたのです」

と言うなら——

しかし、牧師はそんな軽々しい人では務まりません。

牧師というものは、しっかりとしていて、安定している人でなければならないのです。

また、

「神が私を教師に召された」

と言う人がいるとします。

その人が御言葉をどのように解き明かしているかを見てみなさい。

もし、御言葉を解き明かすたびに、あれこれと混乱させてしまい、すべてをごちゃごちゃにしてしまうなら、そこで分かるでしょう。

しかし結局のところ、こういうことです。

あなたの立場というものは、普通、それが実際にできるかどうかによって分かるものなのです。

25 さて、神が私を伝道者(エバンジェリスト)として召されたとき、

私は牧師になりたいと思っていました。

ここに留まって、家の近くで働くのがちょうどよいと思っていたのです。

しかし主は私を召されました。

それでついに、ここにいた人々が皆集まりました。

今夜ここにはもう一人も残っていませんが……その人たちは皆、泣きながらあの スプリング・ストリート1717番地 に行ったのです。

そして、こちらにおられる ホーキンス夫人 が私に会ってこう言いました。

(あの大恐慌の時代で、近所の誰かが豆を一鍋煮ると、皆で集まってそれを食べていたような頃でした。)

彼女は泣きながら言いました。

「もしあなたがタバナクル(幕屋)を建ててくれるなら、

私は自分の子どもたちの食卓のお金を削ってでも支えます。」

説教者や物事を見ます。”彼は言いました、「あなたは彼らとは違います、そしてあなたが教育を受けていないことは知っています。」そして、あなたが心理学者ではないことはわかっています。なぜなら、心理学ではそのようなことはしないからです。”

私は言いました、“それは本当です、博士。”

彼と話す必要はない、なぜなら彼は知らないからだ…彼と一緒に一塁に行くことはできなかったんだ、ほら、彼は何をすればいいのか分からないから。でも、それだけです、わかりますか。

168 私は私から離れたところに住んでいる有色人種の女性を知っており、彼女は私が知っている別の男性のために働いています。そして、この男性の妻が彼女に電話して言いました、「“その女性は絶対にあなたを神として崇拝するでしょう、なぜなら彼女は癌で死にかけていたからです。”そしてあなたはその女性に手を置いて、彼女は…”と言いました 彼女が働いているこの女性、彼女の夫、そしてこの特定の医師(私が話していた医師ではなく、別の医師)と一緒にゴルフなどをしていますが、彼は彼女を諦めていました。そしてそれは彼の友人の家政婦で、彼女を死ぬまで諦めていましたが、彼女は完全に癒されました。そして医師は癌の痕跡さえ見つけることができませんでした。そして、ほら、彼女はこう言うでしょう。

169 さて、彼らは、私が彼らが言っている、あるいは私たちがそれを受け入れていると思うような観点からそれを意味しているわけではありません。彼らは、神が私たちとともにいて、私たちの中にいて、私たちを通して働いておられると信じていることを意味します。個人が神であるということではありません。さて、彼らはジョンがただの男であることを知りました。

そしてイエスもただの人でした。イエスはただの男でした。彼は女性から生まれたばかりで、死ななければなりませんでした。そうか?彼は男でした一食べたり飲んだり、空腹になったり、泣いたり、喉が渴いたり、その他すべてが必要でした。あなたと同じように人間であり、私と同じように人間です。しかし、神の霊は計り知れないほど満ちて神の中にありました。彼は全能の権力者だった。

エリヤはその御霊の一部にすぎませんでした—おそらく兄弟たちより少し上に油を注がれたかもしれませんが、彼は御霊の一部にすぎませんでした。しかし、人々はメシアを探していました。そして彼らは兄弟たちの上にこの部分を見て、「“ああ、これは彼に違いない!”」と言いました しかし、イエスが輝き始めると、ヨハネの小さな光は消えていきました。

は彼が本当にそうだと思っていたんだ、ほら。

彼は言いました、“いいえ。”

“そうじゃないですか…?あなたは誰ですか?”

彼は言いました。“私は荒野で泣いている人の声です。”

そして聖書には、人々は期待にさらされていると書いてありました…あれは誰だった?彼の聞き手、聞き手、追従者、兄弟たち、見てください。さて、彼らは彼を傷つたくありませんでした。彼らは彼を傷つけようとしていたわけではありません。しかし、ほら、彼らは実際に心の中で彼が救世主だと思っていました。

さて、歴史はあらゆる機会に繰り返されなければなりません。私たちはそれを知っています。繰り返さなければなりません。

166 マタイ 3 章であなたがそこを引き継いだように、預言者について語られた「“それが成就するために、私はエジプトから息子と呼びました」と書かれていました” さて、そうではありませんでした。。それは御子イエスについて語っていましたが、参照を実行してください。それは息子のジェイコブでもありました。ほら?それはすべて複合的な意味を持っています。

ですから、もしそのものが立ち上がらなかったとしても、私はまだ立ち上がるのは未来だと言いたいと思います。なぜなら、このメッセージは神から来ており、それがキリストの予行であることを私は知っているからです。そしてそれはエリヤの御霊と力です。なぜなら、それは子供たちの心を回復するためだからです。すべてがそれを正確に証明しています。ですから、絶対的に信じている真の人々、そして兄弟や友人の下で、そのようなものになることは必ず形作られるのです。

167 さて、ここ町に医者 came。私の友人の医者(彼が誰なのかは言いません)が私の周りに手を置いてこう言ったことがあります。“ビリー、あなたに言うのは簡単でしょう、あなたは神の最後の日の救世主です。” ほら?

私は言いました、“ドク、そんなことしないで。”

彼は言いました。“まあ、ビリー、君がやっているようなことを言ったり、やったりした経験のある人は世界中に誰もいないと思うよ。” それは彼をとても助けてくれました、ほら。彼は言いました。“私はこれらの教会に行つて、これらの

しかし、私の召しは伝道者だったのです。

あの朝――

もし今夜ここであの礎石(コーナーストーン)を開けて見る事ができたなら、そこに私の聖書の一枚のページが入っているのを見るでしょう。そこには、主が私に伝道者になるように言われたことが書かれています。

そして私は牧師としては成功しませんでした。

これから先も、牧師にはならないでしょう。

なぜなら、私には牧師に必要な忍耐や資質が備わっていないからです。

ですから、もし私が牧師をしようとしたなら、

それはちょうど 牧師が伝道者になろうとするのと同じくらい、的外れなことになってしまうでしょう。

分かりますか。

主がどのようにあなたを召されているかを見ることで、

あなたがキリストの体の中でどの位置にいるのかが分かるのです。

何か質問がありますか。

26 質問:

「聖霊に満たされた人は、皆いつかは異言を語るようになるのでしょうか。」

これが最初の質問です。

「すべての聖霊に満たされた人が……」という質問ですね。

ここでは一つの質問の中にいくつか含まれているようです。これは私のところでは第四の質問として分けてありますが、まずこの点から答えましょう。

「聖霊に満たされた人は、皆いつか異言を語るのでしょうか。」

パウロが『私はあなたがたの誰よりも多く異言を語る』と言っている箇所を見つけました。」

それでは、第四の質問です。

「聖霊を受けるとき、すべての人が異言を語るのでしょうか。」

いや、こう書いてありますね。

「すべての聖霊に満たされた人が、いつかは異言を語るのでしょうか。」

さて兄弟たち、これは深い質問です。

おそらく、このことについては後でいくつか意見が返ってくるかもしれませんが。

聖霊というものには、いくつかの働きがあります。

そして聖霊の一つの働きが「義とされること(義化)」です。

それは、あなたが最初に……

つまり、神があなたを呼ばれなければ、あなたは決して来ることはできないということです。

分かりますか。

あなた自身の中には、何もできるものはありません。

「父が引き寄せてくださらなければ、だれもわたしのところに来ることはできない。」

その通りでしょう。

ですから、義化という働きも聖霊によるものなのです。

27 以前、私があるルーテル派の神学部長に、あのとうもろこし畑の話で説明したのを聞いたことがありますか。

ほら、とうもろこしのようなものです。

ある人が畑に出て行って、とうもろこしの種を植えました。

次の朝、彼が畑に行ってみると……

まだ何も出ていませんでした。

そして兵士たちも同様に彼に要求して言った、「それで私たちはどうしましょうか?」そして彼は彼らに言った、「誰にも暴力を振るわず、偽りの告発もしないでください。そしてあなたの賃金に満足してください。」

そして、民が期待し、すべての人が心の中でヨハネがキリストであるかどうかについて思索したように、

ヨハネは答えて言った、「私は確かに水であなたにバプテスマを授けます。しかし、私よりも強い者が来ます。そして、その靴のラチェットを緩める価値はありません。彼は聖霊と火であなたにバプテスマを授けるでしょう。」

よし。何だったんだ?人々はメシアが現れることを大いに期待していましたが、ある人が荒野から出てきて遠征し、荒野に戻るとこの偉大な油そそがれた奉仕を見たとき、彼自身の信奉者である多くの人々はこう言いました。“彼はメシアです。”彼らはそれを期待していましたが、ほら。

そして、これが来臨を予感させる神の真のメッセージ、洗礼者ヨハネの真のメッセージであるならば、同じこと、エリヤのメッセージと同じように、同じように考えなければなりません、ほら。これで、その質問への答えは正確だと思います。ほら?同じように考えなければなりません、ほら。

164 質問: [兄弟が尋ねます。“そのような紛争に巻き込まれる人を助けるために、私たちに何か責任があることはありますか?あるいは、何ができるでしょうか?”] 何も無いはずがない。あなたにできることは何もありません。[“墮落した心。…それが墮落した心へと発展する可能性はあるのでしょうか?”] まあ、もしこうなったら、それは非難される人の心に浮かぶでしょう。もしその男が、それが語られているように、自分が救世主であることを目撃するなら、私たちは彼が偽りのキリストであることを知っているでしょう、ほら。

ほら、その男自身が自分の地位を維持している限り、わかります。。彼らがジョンに言ったように。ジョンはそうしなかった。…彼が彼らについて何も言っていることについては何も書かれていません。彼らはヨハネを信じていた人々、素敵なクリスチャン、あるいは信者でした。

165 彼らは言いました。“この人は本当に神の預言者です、疑いの余地はありません。”彼らは言いました、“あなたはその預言者ではありませんか?”

彼は言いました、“いいえ。”

彼は言いました、“なぜ、あなたは救世主ではないのですか?” ほら、彼ら

彼は言いました、“そうですね、彼はただ世界を止めただけです。彼はヨシユアの無知を見た。”

私は言いました、“では、あなたも知性によって同じことをします。”

[ある兄弟が言います。“太陽がどれくらい止まったかを科学的に証明できると思います。”] はい、私もそれを聞きました。はい、彼らは主張しています。以前、ここで占星術師がそれについて、彼らがそれを証明できると言っているのを聞きました。そして同時に、大気圏で何かが起こり、天国で何かが起こった場所が見え、その時に紅海が開かれたなどしたのです。彼らはそれをすべて証明しました。そうですね、言っておきますが、あの時、どこか別の場所から星たちがそのようなことをしました。しかし、それは私たちにとって深すぎます。

162 さて、このメッセージがそうであることを証明するには、このメッセージをこの点で検討する必要がある理由です。さて、兄弟たち、私たちはその人が神にはなれないことを知っています。人間—それでも彼は神です。あなた方一人一人が神です。あなたは神になるために造られたのです。でも、あなたがこの人生に在る間はそうではありません、ほら。イエスは私たちと同じ人間でしたが、神はイエスの中にいました。神の満ち足りたものは神の中にありました。私たちはある程度御霊を持っています。

しかし、この光が来たということ、そしてそれが真の光であるならば、洗礼者ヨハネが向こうの川で語ったように、彼が伝えたメッセージを伝えることになるのです。..そして、見てください、どうしてそれが他のものになるのでしょうか？私を見てください、見てください—グラマースクール教育さえ受けていません。神が私に物事は起こるだろうと言ったとき、そのどれも失敗しませんでした。彼らのうち誰も失敗したことはありません。彼が何をしたか見てください。ほら、彼はそれさえ持っています。。

そして私は何年も前に兄弟たちに話しましたが(私たちの中で誰が一番年上になるかはわかりません)、これらのこと、この光を見ること、それが何色であるか、その他すべてについて話しました。今、写真はそれが真実であることを示しています。これらすべての異なることが真実であることが証明されています。そうか？そうですね、もしそれが本当で、それが光なら...

163 さて、4つくらいから始めましょう [テープ上の空白部分]...その35番目の詩の上、つまり... 14節から始めましょう、兄弟。誰が開けてる？よし。そこから聖ルカの第3章の第14節から始めましょう。[兄弟がルカ3:14-16を読む。]

しばらくして、二枚の小さな葉が土から出ているのを見つけました。

それで彼は言いました。

「神に感謝します。私のとうもろこし畑ができた！」

そこで私は尋ねました。

「彼は本当にとうもろこし畑を持っていたのでしょうか。」

するとそのルーテル派の神学部長は言いました。

「可能性としては、そうです。」

私は言いました。

「その通りです。可能性としては、持っていたのです。」

そして私は言いました。

「それがあなた方ルーテル派です。」

やがて芽が伸びていき、

とうもろこしは穂(タッセル)を出します。

それがメソジストです。

とうもろこしの第二段階は穂なのです。

(農家の兄弟たち、これで合っていますよね。)

すると、その穂が葉を見下ろしてこう言います。

「ふん!私は穂だ。お前はただの葉っぱじゃないか!

もうお前なんか必要ない。」

しかしその穂から花粉が落ちて、

また葉のところへ戻ってくるのです。

穂は葉がなければならぬのです。

そしてそこから、ついに**実(穂先の実)**ができるのです。

それがペンテコステです。

最初にあったもの——賜物の回復、

つまり最初の状態へ戻ることです。

そしてその実が出てくると、こう言うのです。

「私はもう穂はいらない。

葉も必要ない。」

28 しかし結局のところ、

どうもろこしの葉の中にあった同じ命が、穂(タッセル)を生み出したのです。

そして、葉と穂の中にあったその同じ命が、実(穀粒)を生み出したのです。

では、聖霊が異言を語らせるということは何でしょうか。

それは、義化がさらに進んだ段階なのです。

では、ペンテコステ派の教会とは何でしょうか。

それは、さらに進んだルーテル派なのです。

しかし、ここでこういう質問が出てきます。

「それなら私は、ただそのままそこにとどまっていればよいのでしょうか。」

いいえ。違います。

どうもろこしは成熟するのです。

最初は穀粒(種)から始まります。

つまり、御言葉という種から始まるのです。

その種は、義化を生み出します。

そして義化の中にとどまりなさい。そうすれば聖化が生まれます。

に戻ることになっていました。

159 しかし、彼が再び来たら、すぐに引き返して(世界が滅ぼされる前に、主の偉大で恐ろしい日に気づきましたか。..)、子供たちの心を父親一夕方星、当時は明けの明星でした。アーメン。

正しく理解できればいいのですが、明けの明星と明けの明星が同じ星だからです。私たちは西にいて、東を見えています。彼らは東にいて、西を見えています。全く同じ星だ。私の言いたいことがわかりますか？それはあなたがどこにいるかによって異なります、ほら、それが東の星か西の星か。私の言いたいことがわかりますか？よし。

160 さて、人は父親の信仰を子供たちにもたらします。今回は子供たちの信仰が父親に戻ります。あなたは歩き回って、また戻ってきました。私の言っている意味が分からないのですか？いつも同じ星だ。同じこと、同じメッセージ、また同じことが返ってきました。渡されてる。

そして、自分がどちらに進むのかをどうやって知ることができますか？世界が走っていないことを実際に知る時が来ると私は信じています。私はそれを心から信じています。彼らがそれをどれだけ科学的に証明しているか、あるいはそれ以上のことは信じていません。彼らは取り戻さなければならないことを科学的に証明してきました。神は世界が止まったと言いました...太陽。つまり、世界ではなく太陽が止まったということです。ほら、太陽。実は太陽を信じていません。…太陽が彼らが言うようなことをすると信じられません。私は月が移動することを知っていますし、太陽も走ると信じています。

しかし、彼らの中にはこう言う人もいます。“イエスはヨシュアの無知を見て、「イエスは…を止めた」と言われました。” さて、彼は言いました、“彼は世界を止めました。”

私は言いました、“それからあなたは、もし世界が止まるとしたら、宇宙を彗星のように撃ち抜くだろうと言いました。” 私は言いました、“それから、その後何が起こったのですか？”

161 私はここで高校の聖書教師であるティース氏と話していました。彼が私に言ったとき、それが誰だったかはご存知でしょう。私は言いました、“聖書に書いてあることは、世界が止まったということだと思います—つまり、太陽が止まったのです。ヨシュアは太陽に言いました、「じっとしていなさい！」そして彼女はそこに立っていました。”

156 さて、彼はアルファとオメガ、始まりと終わり、碧玉とサルディウス石として見るようになっていました。私の言いたいことがわかりますか？さて、キリストの到来が近づいており、歴史の繰り返しがあるならば、エリヤは終わりの日に説教するはずだったというメッセージが近づいています。。明けの明星がそこへの到来を告げるのと同じように、夕の星は新しい日、別の日の到来を告げます。これは太陽の到来です；そしてそれは、私たちが経験した太陽の到来と、新しい太陽の到来—新しい時代、新しい時代が来るのを告げます。

さあ聞いて。そして、もしヨハネがメッセージを発してキリストの最初の到来を告げ、エリヤが終わりの日に来たら、預言者はこう言いました“夕方には光になるでしょう”つまり、夕方には光があるでしょう。

157 夕方の光、私たちが得た最大の夕方の光は夕方の星—私たちが得た最大の光です。そうすると、この他の星と同じメッセージを伝える必要があるでしょう。太陽を告げる、太陽について語る。さて、今は夕方の時間です。夕方の明かりがここにあります。この時代は消え去った。私の言いたいことがわかりますか？この日は過ぎ去り、また一日が来るという知らせが届くでしょう。

だって、ほら、それは実は.. もし誰かが西にいて、その星を振り返ったら、それは東にあるでしょう。そして、ご存知のとおり、“私たちは彼の星を東で見ってきましたが、実際には彼らは..彼らは東でその星に向かって西を向いていました。そうか？賢者たちは西にいました..東にいて、西の星を振り返っていました。私の言いたいことがわかりますか？しかし、それは西にある星よりも東の星でした。

158 ほら、私たちが言うように。… 私はいつもこう言います、“下は上です。” どうしてわかるけど、それが正しいことなの？私たちは永遠に立っているのです、南極は上、北極は下かもしれません。分かりません、ほら。上への道は下です、ほら。これは残しておきます。この後、私たちは永遠に入ります。それは永遠の到来を告げています—まったく別の日、別の時間です。

今、私たちは夕方の時間です。私たちはそれを信じています。私たちは主の来臨が近づいていると信じています。よし。もしそうなら、夕方の明かりがあるはずですが。そして、マラキ書 4 章によれば、夕方の光は子供たちの心を父親たち、つまり始まりに戻すはずでした。

しかし、彼が初めて来たとき、彼は父親の心を子供たちに向けていました。その子供たちは彼が彼の周りに集めた子供たちでした。彼は子供たち、つまり父親たち(古い、古い、正統派の父親たち)の心を、ここで予告していたこの光

さらに聖化の中にとどまりなさい。そうすれば聖霊を受けるのです。

29 さて、聖霊を受けたとき、それは何をやるのでしょうか。

それは何でしょうか……

まだ質問が残っていますね。

それでは——

異言を語るとは何でしょうか。

異言を語るというのは、

あなたを義化し、聖化した聖霊のバプテスマが、さらに満ちあふれた状態のことにすぎません。

つまり、完全に満たされている状態なのです。

実は、私はこの質問を扱いたいと思っていました。

神はご存じですが、この人がこの質問をするとは、私は全く知りませんでした。

それに答えることになるとは思っていなかったのです。

さて……この部屋は少し暑すぎますか。

もし暑すぎるなら、あのドアを開けてください。

もし眠くなりそうなら、少し空気を入れた方がいいでしょう。

なぜなら、これはしっかり理解してもらいたいことだからです。

少し暑いと、眠くなってしまうかもしれませんからね。

30 では、ここに注意してください。

義化、聖化、そして聖霊のバプテスマ。

よく見てください。ここにその流れがあります。

ちょっと例えで説明してみましよう。

私はここにいます。

私は罪人で、こちらの方向に歩いています。

ところが、ある時、何かが私に語りかけます。

そして私を引き返させることができるのは、神以外に誰もいません。

その通りでしょう。

それで私は向きを変えます。

この向きを変えることが、義化です。

そうでしょう。

そして私が向かって行く目標は、キリストの姿です。

さて、私はある場所まで来ます。

そこでは、私は少し安心していただけるようになります。

分かりますか。

私はすでに義とされています。

そして次の段階に進みます。

そこでは私は神に語りかけることができるようになります。

なぜなら……

私はまだ自分のことを恥ずかしく思っているからです。

まだ煙草を吸っている。

まだ嘘をついてしまう。

こそこそと良くないことをしてしまう。

いつも上がったたり下がったり、上がったたり下がったりしているのです。

しかし私は願います。

れらは両方とも同じサイズの星であり、同じ種類の星です。さあ、2と2を組み合わせれば、それがわかります。ほら、そこにいるよ。だからそうではありません。星はメシアではありません；彼はただメシアを反映しているだけです。

153 さて、星はそれ自体の光を反射しません。星は太陽の光を反射します。そうか？[兄弟が言う、“いいえ。”] えっ？[“ある意味。月はそうします；星は自分自身の光を反射します。”] そう、月です。… そう、月が光を反射するという意味でした。うん。さて、もし星がその光を反射するなら、その光は何らかの氷河であるため、神から来ているに違いありません。そうじゃないですか？[兄弟は言います、“太陽。”] えっ？太陽から離れた、それ自体の太陽。[“太陽は私たちの太陽よりも遠くにあります。”] うん。そして彼らは、それらの太陽は大きな太陽から来ていると言われました。太陽がこれらのミサイルを投げ飛ばしましたが、それらは太陽のように小さな燃えるミサイルです。つまり、彼らは私たちにとってアマチュアの太陽なのです。そうか？アマチュアライト。[“それらのほとんどは私たちの太陽よりも大きいです。”] つまり、私たちにとって、私たちにとって、ほら。ここでは私たち自身について話しています。よし。

154 さて、もし彼らが私たちにとって太陽、あるいは光を与える者であれば、彼らは主な与える者の一部です、見てください。大きな太陽は私たちに大きな光、完璧な光を与えてくれます。私たちが見ることができる小さな太陽、または小さな星… 体内では、それらは輝く太陽をはるかに超えている可能性があります。しかし、彼らが私たちに反射するのは小さな光です。しかし、彼らは光の証言をしているだけです。そうか？そして、大きな太陽が昇ると、小さな太陽は消えます。そうか？彼らは私たちにとって太陽ではありません；彼らは太陽のような反射板です。私の言いたいことがわかりますか？

さて、朝に最も大きく、太陽の到来を告げるものです。太陽の沈下と太陽の到来は明けの明星と宵の明星です。そうか？2つの最大の星、東の星と西の星。

155 さて、それがどこにあるかわかりますか？エリヤは東の星の到来を告げる使者であり、西の星の使者、あるいはこの日が過ぎた後の新しい日の到来であると予言されました。今、それが何であるかわかりますか？

東、“それは光となるでしょう。” ほら、太陽が地球に告げられる直前に、明けの明星は太陽がやってくるのを目撃しました。そうか？ほら、それが明けの明星を生み出すのです。そうですね、明けの明星と宵の明星は同じ種類の星で、いたるところに小さな星があります。私の言っている意味が分からないのですか？使者たちは？

彼の靴を緩める資格はありません!”

しかし、イエスが彼について言われたときはどうでしょうか？彼は言いました、“誰に会いに行きましたか？” うん。“葦が風で揺れているのを見に行きましたか？それとも何を見に行ったのですか？上質な衣服と贅沢品などを身に着けた男？” 言った、“彼らは王の宮殿にいます。でも預言者に会いに行ったの？私はイエスと言います、そして預言者以上のものです。” 彼は単なる預言者以上の存在でした。彼は契約の使者でした。そうだったんだ。彼は単なる預言者以上の存在でした。彼は言いました、「“今日に至るまで、彼ほど偉大な女性から生まれた男性はいない” ほら」。

そうだったんだ ほら。彼は契約の使者でした。紹介してこう言ったのは彼です。“これが彼です。” 他の預言者たちは皆彼について話しましたが、ヨハネは言いました“これは彼です” ほら。

151 さあ 見て。さあ 注目。賢者たちは星を追った。もっとマイナーな方法で取り戻すつもりです、ほら。賢者たちは星を追って尋ねました、“彼はユダヤ人の王としてどこで生まれましたか？” 歌は聞いたことあるだろ。“私たちは東で神の星を見て、神を崇拜するようになりました。” それを聞いたことがあるでしょう、聖書で読んでください。よし：

西へ進み、まだ進み、

私たちをあなたの完璧な光に導いてください。

星は光を反射しているだけだったので、星は完璧な光へと導いていました。先日、ここでこれを公開しました。日曜日、それを見るために何人がここにいましたか？ほら、それについて説教を終えたところです。星に映るシェキナの栄光、そしてそれを映す星。ここには主の天使が壇上に立っており、シェキナの栄光からそれを反映していました。まったく同じことです。そこではまさに正しかった。ここから本物を見て、外を見ると、それがこのように側面に反射されているのがわかります。

152 さて、これに注意してください。今、その星は東に昇りました。そうか？素晴らしいスターでした。よし。そして、イエスの来臨の時の実際の地上の星は誰だったのでしょうか？まあ、ジョン。彼らをその完璧な光に導いたのは彼でした。そうか？それはイエスが初めて現れたときの東でした。そして今、夕星に来るまで水平を横切る小さな星がたくさんあります。

そして夕方には夕星が輝きます。朝は明けの明星が輝きます。そして、そ

主がこれらすべてをきよめてくださるように。

そうすれば、本当に主のもとへ近づいて、主と語り合うことができるようになるからです。

さて、ここが聖化の段階です。

では、聖化は何をしたのでしょうか。

私をまっすぐに整えたのです。

31 そして私は、さらに進んで聖霊のところへ行きます。

そしてここに入ると、私はバプテスマによって聖霊の中に入ります。

その通りでしょう。

では、聖霊は何をするのでしょうか。

それは私に力を与えます。

説教する力、

歌う力、

異言を語る力、

異言を解き明かす力。

力に満ちているのです。

なぜなら、聖霊とは神の力だからです。

私を振り向かせたのも、神の力でした。

私を聖化したのも、神の力でした。

そして今、私を満たしているのも神の力なのです。

32 さて、あるとき、私はここに立って何かを話そうとしています。

すると神の力がとても強く私の上に臨むので、もう普通に話すことができなくなるのです。

分かりますか。

そして私はどもるように話し始めます。

たとえば、「兄弟たち」と言おうとして、こんなふうになってしまうのです。

ここで、こういう例えで説明してみましよう。

兄弟たち、しっかり分かってもらえるように話しますね。

「こんにちは、兄弟たち。」

ほら、まだ私は罪の意識を持っています。

「ええと……皆さんと一緒にいられて本当にうれしいです。

あなたがたの一人でいられることが本当にうれしいのです。」

さて、しばらくするとどうなるでしょう。

あなたがたは私を見えています。

そして、私はまだいろいろなことをしている、

まだこの世の汚れを残していることも知っています。

しかし、そのうちきよめられるのです。

何かが起こります。

私は聖化されるのです。

そうすると、あなたがたの顔をまっすぐ見ることができるようになります。

私はあなたがたの一人です。

「さあ兄弟たち!ハレルヤ!

この聖霊の群れの中にいられることを神に感謝します。

あなたがた聖なる兄弟たちの中にいることをうれしく思います。」

なぜでしょうか。

148 ここでイラストをもらいました。イラストがあればもっと良くなると思います。このドアを少しだけ部分的に閉めてみましょう。これがイエスであり、それがイエスです。さて、これをここに置きます、ゲツセマネ、そしてこれをあちこちに置きます。さて、それはできません。。私は教会の前でこれをさえ言いませんでした。さて、覚えておいてください、知恵を求めていた人々を“私たちをあなたの完全な光に導くために”どのような光、星が導いたのでしょくか?

さて、ここで少し説明して、一つお話ししたいと思います。ウィリーがそこでやったことを思い切って、それが正しいと言おう。正しいとだけ言っておきましょう。

そんなこと言えないよ、兄弟たち。それはぬいぐるみのシャツです。それは、私はしません。… たとえ信じたとしても、私はそれを言わないでしょう、ほら。他の誰かが言う、それが彼らだ。

149 しかし、ここで、私が何人かの少年たちに、起こったことのいくつかについて証言してくれるかどうか尋ねたのと同じように。私は説教壇に立って、会議で起こったことについて証言するのが好きではありません。マネージャーか他の人にそうさせ、他の人に証言させましょう。そんなことしたくない。

[兄弟が言う、“彼らもヨハネのところに来て、「あなたはキリストですか?」と言いました”] はい、それだけです、私が到達しようとしているのはそれです。[“あなたはあの預言者ですか?”] 彼はそれを否定した。[“どちらも言いませんでした。彼は言います、「私は荒野で泣いている一人です。」”] “荒野で泣く人の声。” 彼は自分自身を位置的に配置しました。

[別の兄弟は言います、“彼らは彼に彼がその預言者かどうか尋ねました; 彼は「私はそうではありません」と言いました”] うん。今。… というのは、預言者はモーセが語った預言者だったからです。ほら、それが預言者だよ、ほら。しかし、彼は自分が誰であるかを知っていました、ほら。しかし、彼は今、こう言いました。。彼は彼らに言いました、ほら、そして彼は言いました、“私は一人の声です..” それが彼だった。彼は自分が何者であるかを言いました、ほら。でも彼は。…

150 どうぞ。[兄弟は言います、“それからキリストがヨハネに従ってやって来たとき、彼らはキリストのところに来て言いました、「私たちはエリヤがメシアの前に来ると信じるように教えられてきました。」 彼は言いました。「もしそれを受け取ることができるなら、それは彼です。」”] それが彼だった。そうだね。そうだね。そしてジョンは言い続けました、「“私は何者でもない!” 私は何者でもない!私は

星の下に置いたので、私はそれを無視したのです、なぜなら私はそうは思わないからです。。さて、私はできる限り正直に話します。私はそのメッセンジャーとは何の関係もないと思います、ほら。そうだね。おそらく、私はこの教会の一部に派遣され、この先駆者が来たときに彼が来るであろう場所にそのメッセージを構築するのを手伝うことになると思っています。

しかし、私は、ありのままの私であり、今日のメッセージを持っていると信じています。これが日の目だと信じています。そして、それはその時が来ることを指していると私は信じています。彼がそこで言ったメッセージ、“あなたが持っているメッセージは..”だと思っています さて、そこに昇った星に気づいたら..

146 作らせてください。… ここで自分の時間をつまんでいるのはわかっていますが、他にも素晴らしい質問があります。欲しくない。… 今は10時過ぎなので..あなたが家に帰りたいたいと思っているのはわかっています、ほら。でもここで聞いて。何かお見せしましょう。少しだけ余分に時間をくれませんか？よし よし。

さあ 見て。さて、一つ言わせてください。さて、兄弟たちよ、これを自分たちの間で守ってください、見てください。さあ、これを自分の間に留めておいてください。君は私の牧師だし、そういう人たちだから、このことははっきりさせなければならぬ。そして、私はこれをやらなければならない。そして、あなたは私と一緒にこのメッセージに取り組んでいる兄弟です、ほら。

147 さて、男性としての私自身に関して言えば、私はあなたと同じであり、あなたよりも悪いです。皆さんの多くはキリスト教の背景や物事を持っています。“私はあなたたちの中で(かつて言われたように)罪人の中で最も長いです。” 不信者であり疑い深い私は、人生の中で最も最低な人間だったと思います。

しかし、私は子供の頃から神がいることを常に知っており、自分の人生に何かが起こったことを知っていました。そしてそれは疑いの余地がありません、兄弟。しかし、こう言わせてください。メッセージが届き、使者が来るでしょう。男になるなら、誰かが私を追ってくると思います、ほら。そうなるよ。… しかし、私が説いているこのメッセージは今日の真のメッセージであり、最後のメッセージです。

私が何をしているのかわかりますか、兄弟たち？私はあなたたちを私と同じ立場に置いています。なぜなら、あなたたちも私と同じくらいそれに夢中になっているからです。あなた方は同じメッセージの使者です。

もう誰も私を責めることができないからです。

私はきよめられたのです。

しかし今度は、神が私を働きの中へ入れようとしておられます。

そうです、その通りです。

「ブラナム兄弟、あなたは義とされたのですか。」

「はい。

あなたがたの顔をまともに見ることもできなかつた頃を覚えています。

しかし兄弟よ、今はあなたがたの顔を見て話すことができます。」

33 ほら、ここにその流れがあります。

さて、これは何でしょう。

これから説明します。

ここはきよめられ、奉仕のために取り分けられた状態です。

そしてこちらは、実際に奉仕の中へ入ることです。

私たちは皆知っていますが、

「聖化(sanctify)」という言葉はギリシャ語で、しかも合成語です。

その意味は、

「きよめられ、そして奉仕のために取り分けられること」です。

器は祭壇によってきよめられ、

祭壇によって聖別され、

奉仕のために取り分けられました。

しかし、奉仕に入るということは、満たされて実際に用いられることなのです。

それで私はこちらへ進み、

今、奉仕の中へ入るのです。

私を振り向かせたのも神でした。

神はこう言われました。

「わたしの声を聞きなさい。

聞きなさい。

聞きなさい。」

分かりますか。

そしてここでは――

(ブランナム兄弟が異言を語る様子を例に示す)

ほら、こんなふうです。

あなたはあまりにも満たされてしまうのです。

そうです、それです。

それが異言を語るということなのです。

34 そして今、私はこう信じています。

異言を語ることが聖霊の証拠だとは、私は信じていません。

そうではありません。

なぜなら私は、

魔女や呪術師、蛇を扱う人たち、悪霊に属する人々、その他いろいろな者たちが異言を語るのを見てきたからです。

ですから、異言を語ったからといって、

それが聖霊を受けているという絶対的な神のしるしではありません。

しかし覚えておいてください。

聖霊は確かに異言を語らせます。

てください。もし彼らがこう言うなら、“まあ、それは神のもので、わかりました、” メッセージがあります、ほら。置いてから、ちょっと待ってください。そして、最初にわかることは、聖霊が彼の上を動いて、彼が語るということです。それから通訳者は少し待って、聖霊が何を言うか見てみましょう。ここで彼はそのメッセージを発信します。そして彼はそれを書き留めるでしょう、ほら。そしてそれを3コースでしましょう。

143 質問：“ブランナム兄弟、私たちはあなたが神からこの教会時代に遣わされた使者であることを知っています。イエスに続いたのとまったく同じしるしを私たちはあなたに従っているのを見ます。そして私たちは..なぜあなたを最もよく知っている人があなたをメシアだと思えるのかを理解しています。神との関係とキリストとの関係の違いを説明していただけませんか？”

そうですね、兄弟たち、それは本当です、ほら、でも待ちましょう。ほんの一瞬だけ、それについてここに書き留めました。多くの場合、誤解されています。でも、今では、その人では時々... 皆さんの中には、ルカの第3章と第15節と一緒に読んでほしいと思います。あなたがそうしている間、私はあなたにこう言っているかもしれませんが.. 手に入れたら、それは.. ルカ3です。それは.. 入っているかもしれませんが.. ちょっと..... ドアを閉めるつもりはない、なぜならそこには誰もいないからだ。兄弟たち、これをあなたに伝えさせてください。聞いたことがあるでしょう。周りがある。でも、言っておきますが、そうならなければなりません。そうなるはずだ。そうでなければ、私は自分のメッセージを悔い改めるでしょう。

144 聞いてください、兄弟たち、私はキリストの前であなたに、あなたが平和のこの部分を守ることを懇願しますが、もしあなたが霊的であれば、あなたは理解するでしょう。彼が川の上で最初に何を言ったか知りませんか？彼が何を言ったか覚えていないのですか？“洗礼者ヨハネがキリストの初臨を予感させるために遣わされたように、あなたのメッセージは...” それはキリストの再臨を予感させるメッセージです。主の天使はそう言ったのです。

さて、今気づいてください。さて、“洗礼者ヨハネとして...” さて、皆さんもそれを聞いたことがあるでしょう。あなたはそれを本で読み、人々がそこに立ってそれを聞き、その他すべてを聞いたとき、その天使自身がそのメッセージを語ったのを聞きました。“洗礼者ヨハネがキリストの最初の来臨を予感させるために遣わされたように、あなたもこのメッセージとともに遣わされます..キリストの再臨を予感させるでしょう。” さて、メッセージは...

145 さて、お気づきかと思いますが、私は... 小さなウィリーが私の名前をあの

いるということになります。

140 ですから、牧師が立ち止まって敬虔に頭を下げたとしても、何も言わないでください、ほら。何も言わないでください；牧師にさせてください。でも、あなたは牧師を見守っています。もし彼があなたにそのように合図したら、あなたはそれをやめるべきです、そしてクリスチャンの愛を持って歩いて行きなさい、たとえば、“私の兄、妹（それが何であれ）、私はあなたが秩序を乱していると信じています、なぜならあなたは預言者を邪魔しているからです、わかります。彼は神からのメッセージを持っています。彼がメッセージを伝えたら、少し後でそれについて見てみましょう。” ほら、それが彼の邪魔なら。

しかし、もし誰かが外出していて、牧師が敬意を持って立ち止まって1分待つだけなら、おそらくすぐに始めるでしょう。そして、もし気づいたら、そのような解釈の 90 パーセントは常に聖書か何かを引用しているだけであり、それはおそらく行の両端の肉です。私が何を言いたいのか分かりますよね。よし。

141 質問：“複数の人が通訳なしで異言を話すことは許可されていますか？”

いいえ。彼らは一人ずつ来るはずですが、ほら。1 人が話し、解釈を与えます。を参照してください。そして、他の人が話したら、その解釈。そうしないと、通訳者は自分が何をしているのか分からないからです。なぜなら、ここには一度に 2 つまたは 3 つのメッセージが彼を攻撃しているからです。そしてそれは彼にとって混乱を招くでしょう、そして神は混乱の作者ではありません、わかりますか。ですから、ある人が話し、別の人が解釈しましょう。そして…… 3 つのメッセージを与えますが、各メッセージを解釈させます。

142 そうすれば。… ラデル兄弟が話し、ネビル兄弟が解釈をしたら、フレッド兄弟はただ平和を保つだけです。ほら、その解釈を聞いてください。まず、最初に裁かれること、そもそもそれが神のものであるかどうかを確認することで。よし。

さて、ラデル兄弟が話し、ビーラー兄弟が話し、ネビル兄弟が話すと、哀れな通訳者は 3 つのメッセージを並べています。彼は何をすべきか知っているのでしょうか？ほら？彼を放っておいて。メッセージを伝えてから、平和を保ってください。ただ待ってください。彼のそばに座っている次の人に何かが明らかにされ、彼に平安を保たせてください。ただじっと座って、見て、それから解釈を聞かせてください。

そして、そうなったら、それを書き留めて、識別者が何を言っているかを見

しかし同時に、悪魔もそれを真似することができるのです。

では、聖霊を受けている証拠とは何でしょうか。

それは、あなたがどのような生活をしているかです。

「その実によって彼らを知る」とある通りです。

そして御霊の実とは、

(聖書のどこにも書かれていませんが)異言ではありません。

御霊の実は、

愛

喜び

信仰

忍耐(寛容)

善

柔和

優しさ

忍耐深さ

です。

分かりますか。

それが実です。

木を見て、どんな木かを判断するのは、

そこに実っている実によってです。

それと同じです。

人々はあなたがた――

説教者、執事、役員、伝道者を見ている。

たとえこの通りで一日中異言を語っていたとしても、

人々はそれだけではあなたを信じないでしょう。

しかし、あなたが語っていることを実際に生きて見せ、

柔和さを示し、

そして心の中の苦い根がすべて取り除かれているなら、

そのとき人々は、

「この人には何かがある」

と気づくのです。

35 さて、異言を語ることに付いてですが――

私はこう信じています。

聖霊に満たされた人が、神の祭壇の下に身を置いているなら、いつか異言を語ることはあるでしょう。

しかし私は、神のことをほとんど何も知らない人たちが異言を語るのも見てきました。

彼らは神についてまったく知らないのに、

それでも異言を語っているのです。

分かりますか。

どんな賜物でも、まねをすることはできるのです。

しかし、御霊の実は、その人の内側にどんな霊がいるかを示します。

あなたはイエス・キリストの命を生きることによって証しするのです。

なぜなら――

もしりんごの木の中に桃の木の樹液が入っていたら、

私は言いました、“メッセージはまだありました。私は祭壇に、かき集めるように呼びかけていました。ネットを捨てた。今引っ張ってる。有刺鉄線とか、それを乱すようなものをそこに投げ出さないでください。” 私は言いました、“私はまだ網を引いていました。” そして私は言いました、“彼女は魂の持ち込みを妨害しました。” 電話をかけて罪人を呼び寄せなければ、説教したり、その他のことをしたりしても何の役に立つでしょうか？”

そして彼は言いました、“そうですね、彼女のメッセージはあなたのメッセージよりも遅かったです。”。彼女のものはプラットフォームからすぐに降りてきました。。彼女のものは神から直接与えられたものでした。”

私は言いました、“もし誰かが自分を霊的または預言者だと思っているなら、私の言うことが主の戒めであることを認めさせてください。” しかし、もし彼が無知なら、ただ無知にさせてください。私たちにはそのような習慣はありませんし、神の教会にもありません”パウロの言葉を引用しています。

私は言いました、“いいえ、先生、新鮮なものは何もありません！イエスは、「すべての人の言葉は嘘であり、私の言葉は真実であるようにしましょう」と言われました パウロは言いました。「天からの天使が、ここにあるもの以外のものを持って来ても、呪われよ。」” 私は言いました、“ミスター、あなたは完全にラインから外れています。”

私は言いました、“どんな教会を持っていますか？きつと大きな混乱だと思えます。彼らにそんなことをさせたら、どうやって祭壇に電話をかけるのですか？彼女には奉仕活動がある。彼らは皆、奉仕活動を受けました。しかし、あなたには奉仕のための時間があります、ほら、それはあなたに与えられています。”

139 だから そうだ。いいえ。そして今、もしそれが私たちの教会で、異言を話すここ教会の兄弟や姉妹たちによって、このように、今、教会の後の執事たち、理事会は彼らと一緒に会うべきだと思います、そしてこう言います、“数分間だけテープであなたに言及させてください。ほら？あなたはただ..または牧師です...” 言ってください、“きつと牧師はあなたと話したいと思っていますと思えます。ちょっとこの書齋で会ってくれませんか、兄弟？” そこに入って、彼に本当に優しく話しかけてください。そして言う…

しかし、もし彼らがすべて秩序を乱し、あなたの牧師を邪魔したら、見てください。もし牧師の邪魔をしているなら、長老たちは牧師のところへ歩いて行ってこう言うべきです。“ちょっと待ってください。” そして、牧師があなたに彼らを止めるよう合図したら、彼はそこで精神を捉え、彼らが会議の精神を打ち破って

たい人は何人いますか？”そして私は会議を早めました、ほら。

そしてその夜、トラックを始動させたとき、私は包囲されました。そして、ここには鶏の群れのように立っている女性の集団がいます、ご存知のように、“あなたは聖霊を冒瀆しました！”

私は言いました、“私はしましたか？”私は言いました、“聖書の宣言に従って聖霊を冒瀆するにはどうすればよいでしょうか？”ほら？

そしてこの女性は言いました。“私は神から直接メッセージを受け取りました。”

私は言いました、“でも、あなたはそれを間違ったタイミングで与えていました、お姉さん。”私は言いました、“私はそうではありません..”

“それは神のものではないとおっしゃるのですか？”

私は言いました、“言えませんでした、お嬢さん。”私は言いました、“そうだったと思います、ほら。”私は言いました、“あなたの利益のために言いますが、私はそう信じていると言います。そして、あなたは良い女性だと思います。しかし、あなたは秩序を失っていました。”

そしてそこには彼女の牧師が立っていました。彼が彼女の牧師であることはわかっていました、ほら。そして私は言いました、“私が言えることはただ一つ、あなたは生身だったか、聖書について何も知らないあなたを訓練した牧師がいるかのどちらかです。”私は言いました、“彼は来て、聖書について少し話すべきです。”それは間違っています。故障してるぞ。あなたは一昨日の夜、そしてまた昨夜多くの魂を失いました。そして今夜も同じことをしたでしょう。”

するとこの男は言いました、“ブランナム兄弟”言いました、“ごめんなさい。”

私は言いました、“どういう意味ですか？”

言った、“彼女にはそのメッセージを伝える権利がありました。あなたは終わりました。”

私は言いました、“私は壇上にいました、そして預言者の霊は預言者に服従します。私はまだプラットフォームにいます。”

そして彼は言いました、“まあ...”

その木は必ず桃を実らせるからです。

まさにその通りです。

なぜなら、中にある命がその実を生み出すからです。

36 さて、ここでも同じことです。

しかし皆さんが同じことを理解できるように、もう少し説明しておきましょう。

私はこう信じています。

聖霊に満たされた人は、バプテスマによってキリストの中に入るのです。

しかし——

異言を語ることは、そのバプテスマの証拠ではありません。

分かりますか。

バプテスマというものは……

実は、悪魔の力の中にバプテスマされることさえあり得るのです。

そして悪魔の欺く霊のバプテスマによって、異言を語ることもあるのです。

私たちはそれを何度見てきたでしょうか。

私自身も何度も見てきました。

人間の頭蓋骨から血を飲みながら、

それでも異言を語っている人たちさえ知っています。

また、砂漠で蛇を体に巻きつけて踊る人たちを見たこともあります。

彼らは大きな蛇を体に巻きつけながら歩き回り、異言を語るのです。

そして呪術師が出てきて、

その異言を解き明かすのです。

私は魔術の集まりにも行ったことがあります。

そこでは鉛筆をこう置き、本をこのように置くと、
鉛筆がストーブの煙突の上を上下に走り回りながら、

「Shave and a haircut, two bits」

(軽いリズムの合図のようなもの)

という音を出し、

そして未知の言葉で文字を書き出すのです。

すると呪術師がそれを解き明かして、

何が起こったかを正確に語るのです。

これは、私自身が実際に知っていることです。

ですから——

分かりますか。

それだけでは判断できないのです。

37 パウロはこう言いました。

「異言はやむことになり、預言はすたれ、これらすべての賜物もやがてなくなる。」

(この質問については、もう少し後でまた出てきます。)

しかし、

「完全なものが来たときには、部分的なものは取り除かれる。」

とあります。

ですから兄弟たち、

私たちは完全なものを求めなければなりません。

私たちはすでに、

偽物のものをあまりにも多く見してきました。

137 たとえば、例えば。… ビリーはこれを覚えています—カリフォルニア州コストメサ。私が祭壇に呼びかける準備をするたびに、女性が飛び上がって通路を上り下りし、異言を話し、祭壇の呼びかけを粉々に引き裂きました。そして、私はただ立ち去らなければなりません。御霊が悲しんでいるのが見えましたね。神の霊が秩序あるものであれば、何も悲しむことはありません。[テープ上の空白部分。]

…彼女が始める準備をする直前に、どうやって準備をするのか、なぜなら私は彼女を見ていたからです。大臣は、何か秩序を乱しているものを見たら、そうするでしょう。それからこの女性がそこに戻ってきて、ビリーに言いました。そしてビリーは、私がその夜入ってきたときにこう言いました、「“パパ、祭壇の呼びかけを二晩破ったあの女性を知っていますか？”」

“うん。”

言った、“彼女はそこに座っていました。” 彼女は言った、「“神に栄光あれ、ビリー、今夜またメッセージを受け取りました!”」

さて、わかりますか？私は観客越しに彼女を見下ろした。そこには何千人もの人々がいました。そのとき、“リーダーズ ダイジェスト” はドニー マーティンの治癒について次のように書きました“ドニー マーティンの奇跡” それで私はその女性を見ました。そして私が祭壇に電話をかけ始めた頃、彼女は…

さて、彼女は訓練を受けていないだけでした；間違いなく良い女性です。しかし、彼女は周りを見回しました；彼女は髪を直し始めました。彼女は髪をボブにしていました、ほら。ご存知のとおり、彼女は議会、あるいはそれを許可したいくつかの教会に所属していました。彼女は髪を直していた。彼女は手を伸ばしてストッキングを引き上げ、そのように準備しました。

そしてちょうど祭壇を作り始めた頃。… 私は言いました。“さて、ここには何人いるでしょうか。…今、前に出て主イエスに心を捧げたいと思っている人が何人いるでしょうか？”

138 彼女は飛び上がった。私は言いました、“座ってください。” 彼女は始めました。私は言いました、“座ってください!” ほら？そして、皆さん。… 立ち止まっただけ。彼女は私の声が聞こえないかのように振る舞ったので、私は再びそれを叫びました。その時、彼女は私の声を聞いた。なぜなら、私はそこに大きなマイクを立てて建物を揺らすのが好きだからだ。そして彼女は座った。

私は言いました、“さて、先ほども言いましたが、祭壇に来て神に心を捧げ

135 わかりました、そして私は思います。。さて、これがここに到達するまでの最後のものです。

質問: “ブランナム兄弟、これらのどれでもできますか。ブランナム兄弟、これらの質問のいずれか(タイプライターで書かれたもので、ほぼ消し去られています)これらの質問のいずれかができますか。ブランナム兄弟、あなたが答えや約束に至らなかったと感じたり、コメントしたり(ええ)、コメントしたり、脇に置いたりするこれらの質問のいずれであっても、私はまったく気分が悪くありません。聖書によれば、執事の完全な義務は何ですか?”

まあ、彼らはそれを世に出したと信じています。それが私たちの教会の執事の一人であることは知っています。それで、彼らはそこでそれを注文したと信じています。もっとコピーを入手して、入手できない場合は各執事に渡すべきです。ジーン、あなた、レオ兄弟、あるいはその何人かが、そのコピーを入手できるかどうか疑問に思います。そのうち6、8個ほど取って執事に渡してください。これにより、聖書的には執事が何をすべきかが義務として与えられます。

136 質問: “預言や異言のメッセージが順序が間違っている場合、それをどのように修正すればよいでしょうか?”

さて、それは良い緊急事態です。さて、これについて言及した執事よ、祝福してください。なぜなら、これは良いことだからです。ゴム手袋で扱いたいでしよう。さて、もしあなたが..

もし誰かが、私たちの会衆の中に来て、順序が乱れてメッセージや預言をしたら、その人が床に倒れていても、どうすることもほとんどできません。あなたはただ。… 彼らは自分たちが秩序を乱していることを知っており、それがサービスを台無しにするかもしれません。しかし、もしそうなら、執事たちにとって最善のことは、ただ黙っていることです。なぜなら、壇上の預言者は実際にそうであるからです。。あなたは彼の保護者であり、彼の警察官です、ほら。あなたは周りの警備員です、ほら。

さて、もしそれが私たちの会議の誰かなら..それが私たちの会衆の外にある場合、その人は訓練されていません、ほら。彼らは訓練を受けていない。それが私たちがここに到達しようとしていることであり、何をすべきかを知っているということです。私たちは人材を訓練する方法を知っています。しかし、それが私たちの会衆の外にあるとしたら、その貧しい人がどのように訓練されているかはわかりません。

そして、それに誤った解釈を与えてしまっているのです。

ですから、

その人が異言を語るからといって、聖霊を受けていると決めつけてはいけません。

分かりますか。

むしろ、

その人が結んでいる実によって、聖霊を受けているかどうかを見なさい。

なぜなら、イエスはこう言われたからです。

「彼らの実によって、あなたがたは彼らを知るのである。」

そうです。

その実によって分かるのです。

38 さて、ここで誤解してほしくないのですが、

私は神が与えてくださった偉大な賜物を軽んじたいわけではありません。

それは絶対にしたくありません。

そして私はこう信じています。

聖霊に満たされた人——男でも女でも、子どもでも——

神の祭壇のもとに生きているなら、

やがて異言を語るようになるだろうと。

そうです。

その人は異言を語るようになると私は信じています。

しかし、あなたが聖霊を受けたときに、

その瞬間に異言を語らない場合もあります。

それでも構いません。

しかしもしあなたが、
いつも神の御前にとどまり続け、
何度も何度も聖霊のバプテスマに打たれているなら、
何かが起こります。

ある日、あなたはあまりにも満たされてしまって、
普通の言葉で話すことができなくなるのです。

何か言おうとしても、
もうそれ以上言えなくなります。

言葉が出てこなくなるのです。

そして多くの場合、もし人々が
それが聖霊の働きだと気づくなら、
ただ心を開いて、
神が自分を通して語られるままに任せるでしょう。

39 聖書にはこう書いてあります。

「どもる唇と、異なる舌によって、わたしはこの民に語る。」
イザヤ書28章です。

28章18節(※文脈上は11節の引用)ですね。

「どもる唇と、異なる舌によって語る。」

では、「どもる」とは何でしょうか。

それは、はっきり話すことができない状態です。

(ブラナム兄弟が実際にどもる様子を示す)

こんなふうに、

それはわかっています。さて、今夜私たちがここに座って、ああ、神の霊がただ話しに出ているとしたらどうなるでしょうか。まあ、よかった!そして、私たちは…待ってください、教会は数分後に始まります。ほら、私たちは教会の直前に会っているんです。ここと同じように整理整頓しています。

さて、まず最初に、ラデル兄弟が立ち上がって異言を話します。ちよつと待って ほら。ジュニーは飛び上がります、“主はこう言われます、「ある、あること」”またはこの誰か。筆記者は、何が言われてもそれを削除します。早く受け止めましょう、だって…新鮮にしてください、彼が言ったとおりです。よし。拒否された場合は、手放したほうがいいです、ほら、引き裂いてください。しかし、拒否されず、2人に受け入れられた場合は、ここに書き出されます。彼らはそこに自分の名前に署名します、ほら。それはあなたの教会のためです。皆さんの利益のために話しています、ほら。彼らが最初にそんなことをしたかどうかはわかりません。

133 そして最初にわかるのは、ホリンがジャンプして異言を話すことです。さて、通訳者は同じメッセージを振り回すかもしれません。それは同じことかもしれませんが一緒に起こる特定の事、予言;ほら、起こることを修正しているもの、またはあなたがしなければならないこと。後ろにいるロバーソン兄弟が飛び上がって異言を話します。よし。それは依然として同じメッセージである場合もあれば、同じ解釈を与える場合もあれば、3つのメッセージである場合もあります。

さて、神は一晩で50通のメッセージを出すつもりはありません。それはわかっています、なぜならあなたはそれらを手に入れることができなかったからです。しかし、教会を抑圧しているものは何でも、何かをしているのと同じように、それは教会の啓発のためです、ほら。それなら、それ以上は許さないでしょう、ほら、なぜなら、“3コースでしましょう、”と書かれていたからです。

134 回だけ、私はこう言います“さあ、書き留めて説教壇に置いてください”。それから明日の夜、また会います、ほら。そして、今から明日の夜までに何かが起こるとしたら、神はそれらのメッセージの一つでそれを語られるでしょう。私の言いたいことがわかりますか?3コースでやらせてください。そして今、ウェブスターは予言はできると言っていると思います。

質問: “未来を予言しないメッセージを予言と呼ぶことはできますか?”

いいえ。それが預言であるならば、それは預言であり、実現しつつある何かを予言することです。それも本当です。

いていて、私たちがここに座っているとします。さて、彼に異言を話させるのは何の役に立つのでしょうか、彼は異言を話します、彼は異言を話します、彼...?だって、私たちはみんな混乱しすぎて、自分が何をしているのかさえ分からなくなってしまうんです。3コースで、しましょう。… ホリンと同じように、彼も異言を話しています。もし彼が異言を話すなら。… そして通訳もいなければなりません。

さて、自分の言語を通訳しない限り、通訳者は1人でも構いません。“異言を話す人にも、解釈できるように祈らせてください。”彼は自分の言語を解釈することができますが、これは一部の通訳者と同様に合法です。しかし、舌が話せるようになるには、通訳者が1人必要です。… 異言を話す人がたくさんいて、通訳がいけない場合は、自分の言っていることを解釈できるように祈ってください。

130 さて、自分を膨らませるためにそれをしないでください、なぜならあなたはただ自分自身を啓発しているだけだからです、ほら。そんなことするな。しかし、異言を話してください。そうすれば、神を啓発し、教会を啓発することができます。それはすべて一つの大きな大義のためです、兄弟。これらの賜物は、神を啓発し、教会を啓発し、人々を神の中に導き、神が私たちと共におられることを知らせるためのものです。彼は死んだ神ではありません；彼は私たちの中で働く生ける神です、ほら。

そして、私たちはそれを本当に注意深く見なければなりません。なぜなら、悪魔は、本当の本当の贈り物を見るために、あらゆるものと同じようにそれを嫌うからです。なぜなら。… 贈り物は弱いので、彼は本当にその贈り物に取り組みに行くことができます。ああ、彼は本当に彼ら全員になりすますことができます。だからそれが理由なんです。…

131 さて、預言の賜物と預言者の違いは、わずか100万マイルの違いです。予言の前に。… 預言の賜物を持つ人は教会の前で語られることさえあります。2人か3人がそれを識別して、それが真実であると言わなければなりません。そうだね。しかし、預言者ではありません、ほら。預言者はオフィスです。預言の賜物は賜物です。預言者は生まれ、兄弟を“主はこう言われる”、ずっと持っています。そこには何もありません、わかりますか。それは預言者だ。しかし、預言の賜物、それは賜物です。1つは神の職です。もう1つは神の賜物です。そしてそれが違いです。

132 さて、メッセージでは、たとえば、これがその方法です。さて、今夜、ジュニー兄弟のように、彼は解釈すると言います。私たちはそれを知っています。彼は通訳です。ネビル兄弟は通訳です。一舌を通訳するを参照してください。まあ、

言おうとしてもうまく言えないのです。

あまりにも御霊に満たされているので、

言葉を出そうとしても——

たとえばこうです。

「ブラザー・ジャ…ジャ…」

ブラザー・ジャ…ジャク…」

ブラザー・ジャ…ジャクソン…」

こんな感じです。

言おうとしているのに、

うまく言えない。

わかりますか。

それほど御霊に満たされている状態なのです。

40 兄弟たちに聞きたいのですが、聖霊があなたをひどく揺さぶり、ほとんど何も言えなくなり、しばらく静かに座って、ただそこに座って泣くのを感じたことはありますか？そんなことしたのか？まあ、それは聖霊です。人々が何度も異言を話さない理由は、聖霊に身を委ねる方法を知らず、聖霊が自分に向いているのに、何か遠いものを探しているからです。それが彼らがそうしない理由です。。

そして、感情が高ぶって、意味のない言葉をたくさん言い、まだ聖霊を持っていないのに、異言を話したから聖霊を持っていると言おうとする人もいます。“その実によってあなたは彼らを知るであろう、”見よ。

41 さて、質問はありますか？[ジャクソン兄弟は言います、“ブランナム兄弟？”] そう兄弟。[その質問がなされてよかったです。なぜなら、誰かが何を疑問に思っていたのは間違いありません。..おそらく私は間違ったことを信じて教えてしまったのでしょう。でも、あなたが教えた通りだと思います。“] ありがとう、ジャクソン兄弟。[“何度異言を話しても、あるいは何であれ、私の人生に聖書の言葉の記録がないなら、私は道を歩いている気難しい犬と何ら変わりません。“] そうだね。[“そして、私は洗礼を受けてから6か月後まで、未知の言語で話すことはありませんでした。“] それは私もやった方法です、ジャクソン兄弟。

- 42 私は聖霊のバプテスマを、自分の小さな物置(小屋)の中で受けました。
そして、その後一年ほどしてから異言を語りました。
さらにその一、二年後、私はまた教会で説教していました。
そのとき私は講壇に立っていました。
まだ若かった頃で、今のように年を取って体が固くなる前でしたから、
もっと動き回ることができましたし、説教もとても感情を込めて語っていました。
そのとき私は説教していて、
机の上に飛び乗ったのです。
それはミルトاون・バプテスト教会でした。
そこからそのまま通路に飛び降りて、
できる限りの力で説教し続けました。
そして説教を終えたその瞬間、
何かが私を完全に捕らえ、
知らない言葉で四つか五つ、あるいは六つほどの言葉を語ったのです。
そして自分が何をしているのか気づく前に、
私は自分がこう叫んでいるのを聞きました。
「疲れた地にある岩、嵐の時の避け所！」
(“The rock in a weary land, the shelter in the time of storm.”)
- 43 またある日、私はスコッツバーグのこちら側の鉄道線路を歩いていました。
線路の見回りをしていたのです。
風は強く吹きつけ、
ああ、本当にすごい風でした。

す。さあ、兄弟たちよ、集会でそれを見てください。さて、それが今出てくるのがわかります。多くの人がそれに参加しているのがわかります。そして、今は聖霊を持っていないとは言わないでください。

しかし、ご存知のとおり、パウロはコリント教会を整理するために下って行きました。それはみんな知ってるでしょ？彼はそれを整理しなければならなかった。そして彼は言いました、「“すべてのことはきちんと、秩序正しく行われなさい。”」

128 さて、お気づきかと思いますが、パウロは下山する際に、コリント教会と常に問題を抱えていました。あなたは彼をそんな風に見つけたことはありません。彼はそれについてエペソ教会に何も言いませんでした。彼は彼らに永遠の安全を教えることができた。コリント教会には永遠の安全について何も書かれていません。彼らはいつも赤ん坊で、努力していました、“人は舌を持ち、人は詩篇を持っています。” そうじゃないか？ほら？そして、会衆にそれを始めさせれば...

マルティン ルターのように。彼は異言を話すまで御霊に満たされました。彼は言いました...日記の中で、彼は言いました、“私は異言を話しました。”彼は言いました、“しかし、私が私の人々にそれを教えるなら、” “彼らは贈り主ではなく贈り物を求めるでしょう。” そうだったんだ ほら。彼らは贈り主ではなく贈り物を求めるでしょう。

そして、人々はそうなります。そして、異言などで話させると、みんな慌てて膨らんでしまいます。そして、それが神のものではないなら、それは何の役にも立ちません。でも私たちは...

さて、現代の教会はすべてをひっくり返しますが、私たちはそうではありません。私たちは、それが神の賜物であり、神の御霊によってそこに入れられると信じています。それはどうですか、ロイ兄弟？そうだね。はい、先生、教会に入れてください。それは教会に属します。異言を話すという賜物は、神の教会に属します。

129 さて、ここで彼の質問が何だったのか正確に見てみましょう。言った、それは:

“すべてのメッセージ(そうです)は解釈されるべきであり、それは 3 つのコースによって解釈されるべきだと私は信じています。”

そうです、ほら、もしあなたが許したら... さて、たとえば、あなたが会議を開

125 [兄弟は言います、“イエスが復活の最初の部分で「私に触れないでください」と言ったのは少し難しかったです。彼はまだ昇天していなかった。そして、トーマスがいた部屋に来ると、イエスはこう言われました。「こっちへ来て、私の脇に手を突っ込んでください。」”] そうです、彼はまだ昇天していませんでした。[“そして、両者の違いは、一方はイエスに触れないように言い、あちらはトーマスに来るように言ったことです。”] 彼はまだ昇天したことがなかったのです。彼は.. [“私はまだ父のもとに昇っていないからです。”]

そうです、ほら、彼は復活するまで触れられるべきではありませんでした。彼は地球から出てきたのです。彼は地球から出てきて、男たちの間を歩いていました。しかし、彼はまだ昇天していませんでした。彼は言いました。… 彼はメアリーにこう言いました、「私に触れないでください。」

彼女は言いました、“ラボニ。”

彼は言った、「私に触れないでください。私はまだ父のもとに昇っていないからです。」。しかし、私は私の神とあなたの神、私の父とあなたの父のもとに昇ります。”

そしてその夜、イエスがそうした後、神の前に上って行き、死からよみがえり、神の前に上って行きました。戻ってくると、彼はトーマスを自分の側に触れるように誘いました。ほら、彼は神の前に昇天したのです。そうだね。オーケー。

126 質問: さて、“コリント人への手紙第一 14 章では、「慈善に従って、霊的な賜物を望みなさい。むしろ、預言できるようにするためです。」”

ウェブスターは、「預言:特に神の靈感によって将来の出来事を予言すること」と言いました。メッセージはできますか..?“それがウェブスターの言ったことであり、兄が尋ねたことです。” 将来の出来事を予言しないメッセージを「預言」と呼ぶことはできますか?“

いいえ 先生。預言とは“予言する。” ほら?よし。

127 質問: さて、“コリント人への手紙第一 14:27、私は、すべてのメッセージは解釈されるべきであり、1 つの礼拝で与えられる異言のメッセージは 3 つ以下であると信じています。”

それが聖書です。ここに書いてあります。「もちろん、私たちはそれをよく知っていますし、知っています。」それは…… はい 先生。3コースのみとなります。それはコリント人への手紙第一 14 章でもあります。そうです、3コースで

線路には氷が一面に張っていました。

私は線路を横切って、

自分の担当していた区間——三万三千フィートほどの区間を歩いていました。

反対側には六万六千フィートほどの区間があり、線路と平行に続いていました。

私はその線路の上を歩いていました。

ただ歩きながら進んでいたのです。

そのとき私は歌を歌っていました。

私はいつも歌っていました。

祈るために行く決まった場所もいくつかありました。

それで歌いながら歩いていると、

突然——

気がつくと、私は異言を語っていたのです。

自分が何をしているのか、まったく分かっていませんでした。

異言を語るときというのは、

その人自身が何をしているのかほとんど分からないほどの勢いで起こるものです。

自分が何を言っているのか分からないのです。

解き明かしも同じです。

何を言うことになるのか、

本人には分かりません。

それを語るようになるという考えさえありません。

なぜなら、それは超自然的なものだからです。

もしそこに人間的なもの(自然のもの)が入ってしまうなら、それはもう自然の働きになってしまいます。

しかし、
何かがあなただを捕らえて、あなたをつかみ、
そしてあなたがそれをしている——
そういうときなのです。

44 (ネヴィル兄弟が言います)

「ブラナム兄弟、ここで少し言ってもよろしいでしょうか。」

もちろんです、ネヴィル兄弟。

(ネヴィル兄弟)

「今の説明の仕方だと、異言を語る人が自分で制御できないように聞こえますが、そういう意味ではないですよ。というのは、賜物を持っている人は、それを自分で制御できるはずですから。」

彼は自分を制御できます。

そうです、できます。

ちょうど……。

(ネヴィル兄弟)

「異言を語ろうとしているときには、自分でそれを意識しているはずですよ。」

ええ、その通りです。

(ネヴィル兄弟)

「そうでなければ、最初から秩序を乱していることになります。」

その通りです。

その人はそれを感じているのです。

を知っています。それは細胞です。馬の毛を取って水に入れるのと同じです。キャップオーバーして動きます。そして触るとジャンプします。赤ちゃんはそういうものよ。

しかし、この世で生まれ、最初の息を吸うとすぐに、それは生きた魂になります。なぜなら、地上の体がこの世に生まれるとすぐに、それを掴むための天体、つまり霊的な体が存在するからです。そして、この自然の体が落とされるとすぐに、天の幕屋がそれを待っています。

この地上の幕屋が解ければ、天の幕屋がそれを待っています。赤ちゃんが肉体を持って地上に落ちるとすぐに、霊的な体がそれを受け取るのを待っています。そして、霊的な体が..自然の体が溶解するとすぐに、向こうに霊的な体が待っています、ほら。A “theophany” 私たちはそれを、ほら、theophany と呼びます。

123 [兄弟が尋ねます。“さて、それはこの体の復活を待つ一時的なものですか?”] ええ ほら。うん。ああ、そう。[“これが復活するまで私たちが生きる条件ですか?”] そうだ ほら。

それはまだ人の息子たちには明らかにされていません。信じます。…見たのはわかっている ほら。でも、それがどんな体なのかは分かりませんが、あなたの手や他のものを感じるのと同じように、それらを感じることができました。もちろん、これはテープに録音されているので、私がいなくなってから何年も経ってから再生することになるかもしれません。しかし、それが何であれ、ほら、私はそれらの人々を抱きしめて捕まえていました、そしてそれはあなたが本物であるのと同じくらい本物でした;それでもそうではありませんでした。。彼らは食べたり飲んだりしませんでした。昨日も明日もなかったよ、ほら。それは永遠でした。

124 そして今、その幕屋が..彼らはその体の中でそこに住んでいます。彼らは地球に戻ってきます。そして、彼らが不死化したそのタイプの体。地球の塵は、どういうわけかその神の顕現に集まり、彼らは再び人間になりました。エデンの園で食べたように食べなければなりませんでした。“しかし、この地上の幕屋が解けたら、すでに一つが待っています。”

それで、罪がなかったこれらの小さな子供たち、ほら、まだ罪がなかった、彼らの天使たち、彼らの体(ペテロが戻ってきた体..)が見て待っていました。“天国で父の顔を見て、” それは常に父の前にあります。彼らはそれを知っています。そこです。

同じことが起こるかもしれませんが、ほら。そしてそこに入ってください。それでイエスは言われた、「“さあ、私と一緒に行きなさい。”」

そこでピーターは思いました。“私は今夢を見ているので、この夢が何を意味するのか見てみましょう。”それで彼は警備員のそばを歩きながら、「“うーん”」と思いました。そこで私たちは進みます。ドアが勝手に開いてしまいました。”一人で開けて隣から出ました。城門に行ったら、勝手に開きました。そして彼はまだ夢を見ているかと思っていました。それで彼がそこに立っていたとき。…そして言いました、“そうですね、私は自由です。それで、ジョン・マークの家に行つて、親睦を深めようと思ひます。”

121 彼らはそこに戻っていました、“主よ、あなたの天使を送つてペテロを救い出してください。”

そしてその頃、誰かが行きました[ブランナム兄弟がノックします]。小さな乙女はドアに行つて言ひました、「“誰がそこにいるの?”」小さな格子を上げて言ひました、“なんと、ピーターです!””それで戻つて言ひました、“ねえ、もう祈るのはやめてください。ピーターがそこにいる。”

彼は言ひました、“ああ、さあ!どうぞ。”言つた、“あなたは。…”ほら?

[ブランナム兄弟が再びノックする。]言つた、“開けてください!入つてきます、”ほら。そして彼は言ひました。…

それで彼女は戻つて言ひました、“いいえ、ドアにいるのはピーターです。”

“ああ、”彼らは言ひました、“彼らはすでに彼の首を切り落としました。それはドアにいる彼の天使です、ほら。(彼は天の幕屋をすでに受け取つていた。この地上の幕屋は、彼が天に来るのを天で待つていたため、解散させられた。)

先日、そのビジョンで見たものは、交差しました。“この地上の幕屋が解けたら、私たちはそれを持っています。…”

そして、まだ罪を犯していないこの小さな仲間たち、わかりますか。

ほら?

122 赤ちゃんが母親の子宮内で形成されているとき、それがそこに置かれるとすぐに、見てください。しかし、まずは精神です。そして、その霊が肉体を帯び始めると、小さな生命の芽が肉体を帯び始めます。そしてそれが落ちるとすぐに。…さて、子宮の中では、少し震え、けいれんする筋肉があります。私たちはそれ

聖書にもこう書いてあります。

「もし異言を語る者がいて、
解き明かす者がいないなら、
その人は黙つていなさい。」

ですから——

もちろんそうです。

45 たとえば、こういうことです。

ここに私が立っているとして……

誰でも同じですが——

神の力が臨んできて、叫び出しそうになる感覚を感じたことがありますか。

神の力が来て、思わず叫び出したくなるような感じですよ。

そういう経験をしたことがある人、どれくらいいますか。

ほら、私たちは皆そういうことがあります。

ただ座つていても、

その力が来るのを感じるのです。

しかし、時にはそれを抑えることもできます。

わかりますか。

自分で抑えることもできるのです。

それがふさわしくない場面では、そうします。

たとえば、もしあなたが

アメリカ合衆国の大統領と話しているときだとします。

あるいは、ここで市長と話しているときだとします。

この通りで、人々と普通に会話している最中に――

突然あなたが、

飛び跳ねたり、

叫び出したり、

「グローリー！ハレルヤ！」

と叫びながら、

物を蹴飛ばし、通りを走り回ったとしたらどうでしょう。

人々はこう言うでしょう。

「あの人はおかしい。」

「あの男は気が狂っている。」

46 でも、そのときはそうしてはいけないことが分かっています。

だから自分で抑えるのです。

心の中では、まるで何かが内側から押し上げてきて、

もう抑えきれないほどになっているのですが――

それでもあなたは言います。

「はい、そうです。はい。ええ、ええ。はい。」

内側ではもう爆発しそうなのに、

その場では黙っていなければならないことが分かっているのです。

分かりますか。

ちょうど、少し前に法廷で起きた出来事のようなものです。

あるペンテコステ派の人たちが、

何かの件で法廷に呼ばれていました。

も見ているのだ。

よし。さて、兄弟よ、あなたが誰であろうと――もちろん名前はなく、小さなチケットがあるだけです――誰がこんなことを言ったのか、私は確信しています。

さて、2つの方法があります。しかし、もしあなたが私にこう尋ねたとしたら、“これを説明してください”、私がこれを解釈する方法はこうだと思います。さて、コリント人への手紙第二、誰か、5:1に目を向けてください。そこにはこう書かれています：“もしこの地上の幕屋が解散したら..”それが何であるかはご存じでしょう、見てください。“もしこの地上の幕屋が解散されるなら、私たちはすでに(ご存知のとおり)幕屋を待っています。”よし。

119 今。さて、お気づきかと思いますが、マタイ 18 章 10 節で、イエスは幼い子供を連れて行くことについて話していました。小さな子供たち、小さなトツツ、3歳か4歳がいました。彼はそれらを拾った。“彼らは子供たち(子供)を彼のところに連れて行きました。”“Children”は“child.”の名前に由来します。子供はただの小さな仲間です――幼児ではなく、それと十代の若者の間だけです。まだ自分自身に対して責任を負っていません。

さて、イエスはこう言われました。「“軽蔑しないように気をつけなさい。…”」もしその言葉の解釈を本当に理解するなら、“虐待する、”ほら、そのうちの1つを虐待する、子供を虐待する。決してそんなことをしてはいけません。彼らは子供たちです。彼らは知らない、ほら。

そして今、注目してください、と言いました、“なぜなら、彼らの天使たちはいつも天にある私の父の顔を見ているからです。”分かりますか？言い換えれば、彼らの天使、彼らの使者、彼らの体、彼らが死んだら行くであろう天使の体、“天国では常に父の顔の前にあります”見てください。

120 さて、もしこの地上の幕屋が解散すれば、すでに幕屋が待っています。そうか？それは体です。ここを見ろ。これを経験する時間があつたら！「もちろん、私はそれを受け取るつもりはないことはわかっています。」でも、ここで、テープに貼ってあるように渡しましょう。とにかく手に入ります。

ほら、ある夜ピーターは刑務所にいたんだ。彼らはジョン・マークの家で祈禱会を開きました。そこで主の天使が入ってきて――その火の柱、光――降りてきて、ペテロはこの光が自分に来るのを見て夢を見ているのだと思いました。聖書にはそれが光だと言っていました、ほら。そして、それは私たちと同じだと思います、ほら。彼は降りてくる。私たちも同じトラブルに巻き込まれます、もしかしたら

いるこの男たちは学識がありません。彼らは今夜私たちの中に座っているだけです。この会議をしています。私たちは皆、主について知りたいと思ってここにいます。皆さんはただ異言を話し始めるだけです。誰も何も言わなかった；ただ異言を話し始めてください。“あなたが欲しいです。… それでいいよ、” ポールは言った。“皆さん異言を話していただければ大丈夫です。”

しかし、もしあなた方の中に預言して立ち上がってこう言う人がいたらどうなるでしょうか。“主はこう言われる、「ここに座っている人がいますが、彼は私たちの中で見知らぬ人です」。彼の名前はジョン・ドウです。彼はある特定の場所の出身です。彼は妻と4人の子供をそこに残しました。彼は助けを求めているので今夜ここにいます。彼は今日テネシー州メンフィスで医師と一緒にいました。そして彼は言いました。… 医師は彼に肺がんを患っていると告げた。彼は死にかけている”？

116 彼は言った、「もし全員が異言を話し、無学な人々があなたたちの中に来たら、彼は言うでしょう、『あなたたちは皆狂っているか狂っているではありませんか?』」しかし、もし人が預言して心の秘密を明らかにしたら、彼らは倒れて、「本当に神はあなたと共におられます」と言うでしょう。” ほら、それは…

さて、今、ここです。今、あなたは異言を話しています。しかし、解釈を与えるのは。言ってください、“主は(解釈の下で)こう言われます、「私たちの中に、妻を残して、今日ナッシュビル[またはメンフィス、あるいはそれが何であれ]にいた男が座っていて、彼は肺がんを患っています。」ここに入ってください、そして彼の名前はジョン・ドウです” 誰々、ほら。

117 “…ただし、解釈のためです。” ほら、それから彼は啓発を与えます。すると彼らはこう言うでしょう… するとその男は外に出て、「“ちょっと言わせてください」と言うでしょう。神がそこにいる人々と一緒にいないとは言わないでください。確かに！彼らは私のことをまったく知りませんでした。”

ですから、私たちは預言の賜物と異言の賜物を望んでいます。しかし、異言を話すときは、解釈が必要です。そして、それが解釈されると、それは預言になります、見てください。それは預言です。さて、その質問は後ほどなので、できるだけ早く説明します。[テープ上の空白部分。]

118 質問: “マタイ 18:10。” [兄弟がマタイ18:10を読む。]:

…あなたがたは、これらの小さな者たちを一人も軽蔑してはならない。わたしはあなたがたに言う。彼らの天使たちは、天におられるわたしの父の顔をいつ

たしか、あまりにも大きな声で叫んだとか、そんな理由だったと思います。実際のところ、彼らは本当に正しかったのです。

間違ったことをしていたわけではありません。

しかし、裁判官が何か言おうとするたびに、

彼らは異言を語り始めてしまったのです。

すると裁判官は言いました。

「この気の狂った人たちをここから連れ出さない。」

47 しかし、もしその異言に解き明かしがあつて、

その異言を通して裁判官にこう語られたとしたらどうでしょう。

「主はこう言われる。」

そして、こう続くのです。

「裁判官よ、あなたはなぜここで私を裁いているのか。

あなたは昨夜、売春婦と一緒にいたではないか。

その女の名前はサリー・ジョーンズ。

彼女は〇〇番地のその場所に住んでいる。

なぜあなたは私を裁くのか。

これは主がこう言われることである。

もしこれを否定するなら、あなたはその場で倒れるだろう。」

もしそんなことが起きたら——

おお、兄弟よ、それは全く違う話になります。

しかし、ただ立って異言を語るだけでは、

聖書が言うように、相手にとっては「外国人(意味の分からない者)」のように聞こえるだけです。

分かりますか。

ですから、

いつ黙っているべきか、いつ語るべきかを知っていなければなりません。

それが大切なのです。

分かりますか。

私が言っていることを、

きちんと理解してくださいね。

言いたいことは、そういうことなのです。

48 この質問は、実はこの下の方にも同じ内容が出てくるのです。

それで私は、先ほど少し控えめに答えていたのです。

つまり、

「彼らは黙っているべきなのか」

という質問です。

ですから、あなたが言ったところ以上には答えませんでした。

しかし、今がその説明をする時ですね。

ここで答えておきましょう。

そして、この下の質問でもまた同じことに触れますので、

そのときはここに返って説明します。

この質問、皆さん分かりましたか。

質問

(フレッド兄弟)

「ブラナム兄弟？」

た、“皆さんには異言を話していただきたいと思います。”あのスタントあなた？

ほら、教会が。…使徒 19 章には、約 12 人の会員がいたと思います。ほんの少しの一ミッションです。つまり、それは常に少数派だったのです。そして、そこには十数人の男女がいると書かれていたと思います。

114 さて、もし..ここが見えたら、彼は言いました、“皆さんが異言を話してほしいと思います。皆さんが話してくれることを願っています...全員が異言を話しました。(聖霊に満たされて、ただ異言を話すだけになります。)しかし、”は言いました。“むしろ預言してほしいのですが、解釈のためでなければ、解釈はあるのです。”

それはどのように読めますか？そこにありますか？もう一度読んでみましょう。さあ聞いて。

[兄弟がコリント人への第一の手紙14章5節を読み始めます。“皆さんが異言を話してくださいますように。”] ちょっと待ってください。“皆さんが異言を話してくださいますように。”[“むしろ、皆さんが預言してくださいますように。”] “皆さんが預言してくださいますように。”[“異言を話す者よりも預言する者の方が偉大だからです”] ちょっと待ってください。さて、預言する者よりも偉大なものは何でしょうか？そこで立ち寄ってほしかったんですか？[兄弟が言う、“私はちょうどそれが違うと言っていた(不明瞭な言葉)。”] はい、ほら。ええ ほら。さて、ここが…

さて、例えば、今夜私たちの中には無学な男が二人いる、とあなたは言います。彼らはこのことについて何も知りません。そして私が入ってくると、皆さんも… 私たちはこの会議から始めます。皆さんはただ異言を話し始めます。皆さん一人一人が異言を話し始めます。異言を話し始めます。異言を話し続けます。さて、それは何ですか？ほら、無学な男は言う、“えっ!みんな狂ってるよ!” ほら?しかし、もし人が預言するなら、ほら、彼は理解できることを言っているのです。

115 さあ、残りの部分を読んでください。[兄弟は続けます、“彼が解釈することを除いて..”] そこにいるわ。さて、“を除いて”を参照してください。預言している者は異言を話す者よりも偉大ですが、これが解釈を与えるだけです。さあ、どうぞ、見てください。[“教会が啓発を受けることができるように。”] ほら、教会は啓発されているのです。

さて、言い換えれば、なぜ、教会は。… こいつはここにいる。… ほら、ここに

その人の中には

間違った動機、

間違った目的があるのです。

112 でも、もし彼が優しくて謙虚だったら.. 言ってください、“そうですね、主は私を奉仕に利用したくなかったのかもしれませんが。しかし、それでも、彼は私の魂を祝福してくれるだけです。彼は私を啓発し、私が異言を話すときに私が神に近いことを知ってほしいと考えています。それでリンゴ園に出て行きます。'おお神よ!' そして力が私に降りかかり始め、私は異言を話し始めます。リフレッシュして入ってきましたね。”ああ、“ほら、”あなたは私に話しかけています、主よ、あなたはただ異言を言って私を整理させているだけです、“ほら。そして、”主よ、今日私はその男と話すべきでした。許して主よ。してはいけないものを見落としてしまいました。父よ、どうかお許しください。“そして、直接的に、異言を話し始めます。”ああ、ふう、気分が良くなりました!“

ほら、大丈夫だよ。ほら、あなたの贈り物は教会で使われるべきではありませんが、あなたを啓発するためです。“知らない言葉で話す者は、自分自身を啓発する。”参照。さて、通訳がない場合は... 私の言いたいことがわかりますか?ほら それだ。したがって、彼は自分自身を知らないでしょうが、自分が間違っているときはわかるでしょう。

今はただそれを一緒に放っておけばいいのです。それが分離できるまでできる唯一のことです。それが私がそう思う理由です...

113 質問: “コリント人への手紙第一 14:5 を説明してください。”

誰がすぐにそれを正しく理解しましたか?あなたたちのうちの誰かがそれを手に入れましたか?[テープ上の空白部分。兄弟がコリント人への手紙第一 14:5 を読んでいます]:

...すべては異言を話しますが、それはむしろあなたが預言したことです。なぜなら、異言を話す人よりも預言する人の方が偉大だからです。ただし、教会が啓発を受けるために解釈する人を除きます。

よし。“むしろ... 皆さんが異言を話していただければ幸いです。”ポールはこう言おうとしていた... 教会のように、あなたも私の教会です。パウロの教会の中には、私がここで得た教会ほど大きくなく、会員数も多くなかった教会もありました。そうです、時には10か12です、ほら。ほら?さて、今彼は言いまし

はい、フレッド兄弟。

(フレッド兄弟)

「人が御霊によって語る場合——

たとえばその人がイギリス人で英語を話すとして——

その場合でも御霊が語らせているということになるのでしょうか。」

もちろんです。

そうです。

聖霊はどの言語でも語られるからです。

ペンテコステの日には、

天の下のあらゆる国の言語を話す人たちが集まっていた。

わかりますか。

英語で語る場合でも同じです。

フレディ兄弟、私はいつもこう思っています。

もし私が説教していて、

その説教に本当の油注ぎがあるなら、

それは御霊が語らせているのです。

つまり、

それは御霊が発話を与えているのです。

ですから、英語が分からない人にとっては、

それは未知の言語(異言)となるのです。

しかし——(続く)

49 そして、「未知の舌(unknown tongue)」というのも、

本当の意味で完全に未知の言語というわけではありません。

必ずそこには、それを理解できる人がいるのです。

たとえば、ペンテコステの日のことを考えてみてください。

そこにいた人々——まだ信じていなかった人たちが、こう言いました。

「どうして私たちは、それぞれ自分の国の言葉で聞くことができるのだろうか。」

「どうしてこのガリラヤ人たちが、私たちの言葉で語っているのだろうか。」

分かりますか。

そこには何も“未知の言語”というものはありませんでした。

ペンテコステの日には、

未知の異言などというものは存在していなかったのです。

ですから、

それは聖書的ではありません。

そこにあったのは未知の異言ではなく、言語でした。

彼らはこう言いました。

「どうして私たちは、

自分が生まれた国の言葉で聞くことができるのだろうか。」

そこには何一つ未知のものはなかったのです。

分かりますか。

さて、この点について、

ここを離れる前に質問はありますか。

「どうして私たちは、

それぞれ自分の国の言葉で聞くことができるのだろうか。」

その人は

本当に異言を語る賜物を持っているかもしれません。

しかし、

言語としての異言の賜物を持っていないのかもしれません。

ですから、

その人が異言を語ったとき、

もし解き明かしが来ないなら、

そのときは分かるはずです。

もしその人が、

「自分を目立たせよう」としているなら、

その人は

最初から間違っています。

分かりますか。

その人は

決して正しいところへ進むことはできません。

もしこう思うなら、

「神に栄光あれ!

あの人は私の異言を解き明かしたくないんだ!」

そう思うなら、

その人は

すでに間違っています。

その瞬間、

これらは
教会を完全へと導くために与えられているのです。
私はこう信じています。
霊の賜物は、教会を完全へと導くために与えられているのです。

111 さて、異言で語るこれらの人たちは、

聖霊に満たされている人たちです。

それについては

疑いはありません。

ここに一人の人がいて、

集会の中で異言を語ったとします。

しかもその場には

解き明かしをする人がいます。

それなのに、

解き明かしが与えられない。

その場合は、

どこかに問題があります。

しかし、

解き明かす人を責めることはできません。

分かりますか。

なぜなら、

解き明かしをする人も

語る人と同じように、霊の感動によって解き明かすからです。

分かりますね。

50 (ある兄弟が言います)

「そこに少し誤りが生じるのは、人間の弱さのためです。

人々が他のものを受け入れようとせず、ただこう言うからです。

『私は使徒行伝2章4節の通りでなければ信じない!』と。」

するとブラナム兄弟が答えます。

もし本当に使徒行伝2章4節の通りであるなら、

未知の異言を語ることはないはずです。

(兄弟)

「そうです、言語です。」

そうです。

人々が理解できる言語で語ることになるのです。

なぜなら聖書には、

「人々はそれぞれ自分の国の言葉で聞いた」

と書いてあるからです。

さて、たとえば今ここで私が聖霊を受けたとします。

……ここに、聖霊を求めている兄弟が一人いますね。

ウッド兄弟だったと思いますが、そうでしょうか。

ウッド兄弟、あなたを指名するつもりはありません。

私たちは皆兄弟ですから、例として言っているだけです。

この兄弟は聖霊のバプテスマを求めています。

もしバンクス兄弟がそこで聖霊を受けたとしましょう。

そしてそれが聖書の通りの受け方だったとします。

そのとき彼は立ち上がり――

(彼は英語を話す人ですから)

こう言うでしょう。

「イエス・キリスト、神の御子がよみがえられた!」

そして燃えるような預言の霊によってそれを語るでしょう。

「私はそれが本当だと知っています。

なぜなら、今まさにこの方が私の心の中に来てくださったからです。

この方は神の御子です。

私の罪は取り去られました。

何かが私の中で起こったのです!」

分かりますか。

それが御霊によって語ることなのです。

そしてこうなるのです。

「どうして私たちは、それぞれ自分の国の言葉で聞くことができるのだろうか。」

51 たとえば、こういう場合を考えてみてください。

もしインディアナ州の人たちが、ケンタッキー州の人たちとは違う言語を話していたとします。

そしてバンクス兄弟はケンタッキーの人です。

つまり、言葉が違うわけです。

そこで私たちは知っています。

彼はインディアナの言葉を話せないはずです。

メッセージを受け取るのです。

分かりますか。

110 さて、

この人がもし自分に異言の賜物があると分かっている、

集会に来て、

異言で語ったとします。

しかし、

解き明かしが与えられなかった。

つまり、

解き明かす人がそれを受け取らなかった場合です。

質問

(ある兄弟が尋ねました)

「それなら、こう言えるのでしょうか。

そのような人たちは教会の体を徳づけるけれども、

牧師や教師のような職務(オフィス)は、

体を完全にするためのものなのでしょうか。」

ブラナム兄弟

はい、

その通りです。

それは

完全へと導くために与えられているのです。

分かりますか。

それでも
あなたがたには奉仕があります。
あなたがたは
神の国を助けようとしている。
何かをして
神の国に仕えようとしているのです。
分かりますか。
だから
あなたがた兄弟たちは
一緒に集まるのです。
それは
私たち牧師たちが
こうして集まるのと同じです。
私たちは
共通のものを持っています。
同じように、
あなたがた兄弟たちも
一緒に集まり、
聖書を調べ、
異言で語り、
それを解き明かし、
そして

ところが彼が立ち上がって、
インディアナの言葉で話し始めたといいます。
しかも彼自身は、
その言葉を知らないのです。
それなのに、私たちはインディアナの言葉で彼の話聞くのです。
しかし彼の方では、
自分はケンタッキーの言葉で話していると思っています。
彼はただ証しているだけです。
「神を賛美します！
イエスは死者の中からよみがえられました！
ハレルヤ！」
しかし私たちは、
それをインディアナの言葉で聞いているのです。
それがペンテコステの日に起こったことです。
「どうして私たちは、それぞれ自分の言葉で聞くことができるのだろう。」
「見よ、これら話している者たちは皆ガリラヤ人ではないか。」
言ってみれば——
ケンタッキーの人たちです。
それなのに、どうして私たち——
インディアナ、
オハイオ、
イリノイ、

メイン、
 マサチューセッツ、
 カリフォルニア——
 それぞれの者が、
 自分の生まれた国の言葉で聞くことができるのだろうか。
 分かりますか。
 それは**霊の感動**(インスピレーション)なのです。
 聞く側にも、
 霊の感動が与えられているのです。
 それが彼らにとってのインスピレーションなのです。

52 つまり、これはイエス・キリストの復活を証しすることなのです。
 そうです、その通りです。
 もし神がその命をあなたの中に生きておられないなら、
 どれほどそのことを証ししても、
 まだそれを本当に受けてはいないのです。
 どれほど上手に語ったとしても——
 それだけではだめなのです。
 さて、ほかに質問はありますか。
 (ロイ・ロバーソン兄弟)
 「ブラナム兄弟、私はそれが祈りの列で起こったのを見たと思います。
 あのスペイン人の少女のときです。」
 そうです。

あなたは御使いの異言があると言いましたが……」
 (テープの一部欠落)

私は、
 その人には分からないと思います。
 ただ、
 今私たちがしている方法ではそうです。
 しかし、
 もし私たちが
 本来あるべき形で整えられるなら、
 つまり
 そのための正式な集会があるなら……

109 分かりますか。
 それぞれが一つの奉仕(ミニストリー)なのです。
 たとえば、
 ある人は異言で語り、
 別の人はそのを解き明かす。
 またある人は異言で語り、
 別の人を預言する。
 あなたがたは、
 教会の中では
ただの信徒(一般の会員)かもしれません。
 しかし、

そして私は考えていました。
「預言者たちの霊は、預言者たちに従う……
それはどういうことだろう。」
そのとき、
光がきらめくのが見えました。
そして
御使いがそこを通過して、
私のところへまっすぐ歩いて来たのです。
分かりますか。
そのとき、
あの働きのために
私は任命されたのです。
あの集会の働きのためにです。
さて、
今の質問に戻ります。
メッセージを語る人についてですね。
あなたの質問はこうだったと思います。
「メッセージを語っている人は、
それが主の御使いなのかどうか
分かるのでしょうか。」
(ある兄弟が言いました)
「質問はこうでした。

とても良い例です、ロイ兄弟。
それは……今まさに私が話そうとしている出来事です。
ボーモントでしたね。
ボーモントでしたか。
そうです、その通りです。
祈りの列がいったん止まりました。
そのとき、小さなスペイン人の少女が講壇に上がってきました。
正直に言うと、私はちょうど会場を出ようとしていたところだったと思いま
す。
ハワードが私を外へ連れて行こうとしていました。
そのとき、誰かが泣いているのが聞こえました。
そこにいたのは、
十五、六歳くらいのスペイン人の少女でした。
まだほんの子どもでした。
私は見てみると、
もし祈りの列を続けていたなら、
彼女が次の祈りカードの人だったのです。
そこにはまだ何人も並んでいましたが、
彼女が次の順番でした。
それで私は言いました。
「彼女をこちらに連れて来なさい。」
そこで人々は彼女を前に連れて来ました。
私は次の集会へ向かうところでしたが、

それでも言いました。

「彼女をここへ連れて来なさい。」

そして私は彼女にこう言いました。

「今、信じますか。

もしイエスが、あなたの何が悪いのかを私に示してくださるなら、

あなたはイエスがあなたを癒してくださると信じますか。」

しかし彼女は、

ただうつむいたままでした。

私は最初、

彼女は耳が聞こえないか、口がきけないのかもしれないと思いました。

53 それでもう一度よく見て、私は言いました。

「いや、この子は英語が話せないだけだ。」

そこで通訳が呼ばれてきました。

それで私はもう一度聞きました。

「信じますか。」

すると彼女はうなずきました。

通訳を通してなら、彼女は理解できたのです。

それから私は言いました。

そのとき、私は幻を見ました。

私は言いました。

「あなたが昔ながらの暖炉のそばに座っているのが見えます。

そこには大きな鍋がぶら下がっていて、

分かりますか。

私たちは

アルターコールをととても重く見ていました。

人々を

祭壇へ導くことです。

そのアルターコールが終わると、

そのあとで

病人のために祈ることもありました。

だいたい

そのような流れでした。

礼拝全体は

きちんと整えられて進められていました。

なぜなら、

「預言者たちの霊は

預言者たちに従うものだからです。」

108 今、私が思い出していたのはこれです。

あなたがたは覚えているでしょう。

あの夜、私が幻を見たときのことを。

あのとき、

御使いが私のところへ歩いて来たのです。

私は部屋に座っていました。

夜もかなり遅い時間でした。

ここに記録しています。

そして

自分たちの名前に署名しています。

「これは

神からのものであると記録された。」

その証人は

〇〇兄弟と〇〇兄弟である。

これが、

私はずっと最初に取り扱う部分なのです。

107 それから私はこう言います。

「では、このことのために備えましょう。

皆さん祈りの中にいてください。」

「何か特別な祈りの願いがありますか。」

そう言って、

「では祈りましょう。」

そして立ち上がって祈ります。

それから

すぐに御言葉へ入るのです。

そのまま

御言葉の説教へ進みます。

そして礼拝が終わると、

すぐに祭壇への招き(アルターコール)が行われます。

黄色いトウモロコシの穂がいっぱい入っています。」

(ロイ兄弟、覚えていますね。)

私は続けて言いました。

「あなたはそのトウモロコシを食べ過ぎました。

そしてそれを食べたあと、ひどく具合が悪くなりました。

あなたのお母さんがあなたをベッドに寝かせました。

そしてそのときからてんかんの発作が始まりました。」

「そして、それがずっと続いているのです。」

すると彼女は振り向いて、

自分の言葉で通訳にこう言いました。

「この人は英語しか話せないと思っていたのに……

どうしてスペイン語が分かるの？」

すると通訳が私の方を向いて言いました。

「あなたはスペイン語を話したのですか。」

私は言いました。

「いいえ。」

それで私たちは録音機を確認しました。

録音を止めて調べてみると――

そこには完全に英語で記録されていたのです。

54 すると通訳が言いました。

「では、この人が何と言ったのか、あなたが私に教えてください。」

分かりますか。

解き明かしが必要だったのです。

通訳は言いました。

「彼が言ったことを、あなたが私に教えてください。」

すると彼女は、

私が言ったのと全く同じ言葉を自分の言葉で言い返しました。

そして通訳がそれをまた英語に訳して伝えました。

つまりこういうことです。

私は英語で話していたのですが、

彼女はそれを自分の母国語であるスペイン語として聞いていたのです。

「どうして私たちは、それぞれ自分の生まれた国の言葉で聞くことができるのだろうか。」

そしてその少女は癒されました。

それが神のすばらしい御業なのです。

質問

ある兄弟が尋ねました。

「それでは、聖霊を宿している器というのは、

ただの器にすぎず、

それを満たす方が望むままに満たされる、ということでしょうか。」

その通りです。

その方が望まれるままに満たされます。

まさにその通りです。

そして、その器が何で満たされているかを見てください。

そうすれば、

油注ぎの中で新しくされて

前に出て行きます。

分かりますか。

さて、

その週の間、

教会の中で

小さな集會が開かれていたこともあります。

その日の礼拝が始まる前に、

すでに集會があったこともあります。

そしてそこに、

こう書かれた紙があるとします。

「来週、この地方に大きな嵐が来る。」

とか、

そういう内容です。

そこにはこう書いてあります。

「これは異言で語られ、

そして解き明かされたものである。」

そして

教会の二人の聖徒、

〇〇兄弟と〇〇兄弟が

その証人となっています。

二人の証人が、

中心は御言葉だからです。

もし賛美をたくさん歌いたいなら、
賛美だけの集会というものがあります。

人々がそこに来る理由は
御言葉のためです。

そこは
矯正の家(正される場所)なのです。

- 106 それから、
ジョージ兄弟のような協力者、
たとえば ジョージ・デアーク兄弟が立ち上がって、
祈りをささげます。
その後で、
特別賛美があります。
たとえば
独唱(ソロ)などです。
そして、
いよいよ時間になります。
誰かが私に
「もう時間です」
と知らせます。
そうしたら、
私は

その人が聖霊を持っているかどうか分かります。

器が不純なもので満たされているなら、
それは神の器ではありません。

しかし、もし清いもので満たされているなら、
それは神の器です。

分かりますか。
(兄弟が言います)

「そして、その器が用いられていても、
その時には自分が用いられていることに気づかない場合もあるのですか。」

もちろんです。
(兄弟が証しを語る)

その通りです。
確かにそうです。

私たちは皆、
そういうことを見てきました。
私自身も何度もそれを見てきました。
はい、その通りです。

私たちはそういうことをよく知っています。

55 質問

これは第四の質問だったと思います。

「聖霊に満たされた人は、皆いつかは異言を語るのでしょうか。
パウロは『私はあなたがたの誰よりも多く異言を語る』と言っていま

す。」

では、この兄弟の質問を締めくくるために、この点について私の考えを言います。「パウロは、だれよりも多く異言を語った。」パウロは非常に賢い人でした。そして彼自身、多くの言語を知っていました。分かりますか。彼はさまざまな言語で話すことができました。覚えているでしょう。彼が裁判にかけられたときなど、ある言語で話したり、別の言語で話したりすることができました。そのような言語は、その場の人々にとっては**分からない言葉(未知の言葉)**でした。しかし、それは靈感によるものではありません。それは学んだ言語だったのです。

56 しかし私はこう信じています。神の祭壇のもとに生きている聖霊に満たされた人は、遅かれ早かれ異言を語る経験をするでしょう。なぜなら、それはパウロの説明によれば、賜物の中でも最も小さいものの一つだからです。もし賜物を順番に並べるなら、列の一番最後に来るものが異言なのです。

105 そして私は部屋にいて、祈っていました。その日の午後、二時か三時頃からそこにいたと思います。誰も私を邪魔しませんでした。私はその日のメッセージを持ってそこに降りて行きました。そして、集会を始める時間になると、賛美リーダーが歌を始めます。「賛美歌〇番を開きましょう。」たとえば、「Down at the Cross where my Saviour died (救い主が死なれた十字架のもとに)」のような歌です。そしてそのようにして賛美を始めます。それから特別賛美を二つほど歌います。私たちはあまり長く歌に時間をかけません。なぜなら、

御使いの異言なのか、

あるいはメッセージとして来ている異言なのか

区別することができるのでしょうか。」

さて、ちょっと考えてみましょう。

(テープの一部欠落)

もし彼らがそれを受けたなら、その人はそれを書き留めて、

私の机の上に置くことができるでしょう。

そして私はそれをこうして読み上げることができます。

しかし、あの部屋に入ったときには、兄弟よ、

それだけで十分でした。それがすべてだったのです。分かりますか。

104 そして人々が中に入って来る前には、皆が後ろの方で立ち、

できるだけ静かにしていました。そこでは、

アイリーン姉妹が祭壇のところで「Down at the Cross(十字架のもとに)」を弾いていました。その間、

案内係(アツシャー)が静かに行き来していました。

もし誰かが話しているのを見つけると、「シーツ、シーツ、シーツ」

と注意しました。もし子どもたちが騒ぎそうになると、優しく座らせて、こう言いました。「ここは主の家ですよ。」「だから、そんなことをしてはいけません。」

「主の家では、ちゃんとしていなさい。」そして、男性や女性たちには

コートを掛ける場所を案内し、入口のところには

ドアが開くとすぐに迎える人が立っていました。すべてが整えられていて、

教会がきちんと整えられていたのです。人々はそれぞれ

席に案内され、そしてきちんと座るようにしていました。

さて、まず最初に――

あなたがた一人一人は賜物です。

私は今、外にいますとしましょう。

この部屋には、

一つの扉、そして一つの霊によって入ることができます。

そうでしょう。

私はこの壁から入ることはできません。

あちらから回り込んで入ることもできません。

では、どうやってこの中に入るのでしょうか。

ロバーソン兄弟を通してでしょうか。

いいえ、違います。

では、レオ兄弟を通してでしょうか。

たとえば彼が異言の賜物を持っているとして――

私はレオ兄弟を通して入るのでしょうか。

いいえ、違います。

では、どうやって入るのでしょうか。

一つの扉によって、

そして一つの霊によってです。

御霊はすべてが異言ではありません。

違います。

「一つの御霊によって、私はこの体の中にバプテスマされたのです。」

そういうことです。

57 さて、この御霊があり、あなたがた一人一人は賜物だとします。
 そこでこう言う人がいるかもしれません。
 「神をほめたたえよ！
 あそこにウッド兄弟がいる。彼は奇跡の賜物だ。」
 「私は奇跡が起こるのを見た。
 だから私は聖霊を受けているに違いない。
 奇跡が起きたのだから！」
 しかし、一つの奇跡によって私たちが皆この体に入るわけではありません。
 では今度はジュニー兄弟のところへ行くとします。
 彼は知識の賜物を持っているとしましょう。
 「いやいや、私は聖書の知識がある。
 本当に多くのことを知っている。
 だから私は聖霊を受けているに違いない。」
 いいえ、
 それも体に入る方法ではありません。
 ではどうでしょう。
 レオ兄弟によってでもない。
 ウッド兄弟によってでもない。
 ジュニー兄弟によってでもない。
 では、何によってでしょうか。
 (会衆)
 「御霊！」

聖霊を人に無理に起こさせようとしているようなものです。
 そういうことは
 してはいけません。
 正しいことはこうです。
 その人をそのままにしておくことです。
 そして
 その人が手を上げて、
 聖霊が入って来るまで待たせることです。
 分かりますか。
 ですから、
 それは正しいやり方ではありません。
 いいえ、
 教会の中では黙っているべきです。
 分かりますか。

103 (ある兄弟が言いました)「ブラナム兄弟？」

「はい、兄弟。」

質問

「ある人が集会にいて、
 集会の終わり頃にメッセージが来ることがあります。
 そのとき、
 その賜物を持っている人は
 それが

- 101 質問「祭壇のところで人のために祈っているとき、
解き明かしがなくても、異言で語ることはよいのでしょうか。」
(テープの一部欠落)ちょっと待ってください。
ここに書いてあるものを見てください。「もし解き明かす者がいなければ、その人は黙っていなさい。」第一コリント14章28節です。
誰か聖書を持っていますか。(ある兄弟が読みます)
「しかし、もし解き明かす者がいなければ、教会では黙っていなさい。」
はい、その通りです。もし解き明かす者がいないなら、教会の中では、どこであっても、黙っていなければなりません。
解き明かす者がいない場合はそうです。
- 102 祭壇ではどうかと言うと、
多くの場合、人々が祭壇に来るときに
いろいろなことが起こります。
つい最近も、
ある愛する兄弟が祭壇でしているのを聞きました。
その兄弟は、
誰かの背中をたたいて揺さぶりながら、
自分で異言を語り始めたのです。
まるで
「こうやってするんだ」
と示しているかのようでした。
しかし、それは

そうです。
一つの御霊によって、私はこの体の中にバプテスマされるのです。
そのとき私はこの体の中に入ります。
さて、そこで次に問題になるのは、
父なる神は私をどこで用いられるのかということです。
たとえばレオ兄弟が入口の近くに座っていたとしましょう。
すると最初にそこに行くこともあるでしょう。
しかし必ずしもそうとは限りません。
もし私が御霊においてさらに豊かに導かれるなら、
すべてを乗り越えてウッド兄弟のところまで行くかもしれません。
しかしあなたは私にこう言うことはできません。
「あなたは聖霊を持っていない。」
なぜなら私は
バプテスマによってこの体の中に入っているからです。
しかし神は、私をこの中に入れておいて、
「さて、ここに座ってゆっくりしよう。
どうせ天国へ行くのだから。」
と言わせるために、ここへ入れたのではありません。
分かりますか。
私はここから、
あちらへ行くこともできる。
一つの端から

もう一つの端へ行くこともできる。
 あるいは真ん中に行くこともできる。
 どこに行くにしても、
 何かが起こります。
 必ず何かが起こるのです。
 そしてそれは何でしょう。
 御霊のバプテスマによって、
 私はこの体の中にいることが示されるのです。
 「一つの御霊によって。」
 分かりましたか。
 よろしいですね。

58 質問

「礼拝の中で、異言や預言はどのような順序で用いられるべきでしょうか。」

神の栄光のため、また教会を建て上げるために、礼拝の中で用いるべきでしょうか。

人々は『預言者の霊は預言者に従う』と言いますが……」

ああ、失礼しました。

今読んでいたのは「people(人々)」ではなく、

「Bible(聖書)」でしたね。

聖書はこう言っています。

「預言者の霊は預言者に従う。」

その通りです。

神が何を語っておられるのかを知ろうとしているわけですね。
 分かります。
 そこで、ストリッカー兄弟、
 そのことに関して私はこう言いたいのです。
 あまりそれを理解しようと考えすぎないことです。
 ただ、
 そのままにしておきなさい。
 御霊ご自身が語るのです。
 だから、
 理解しようと無理に努めないことです。
 分かりますか。
 むしろ、
 もっと御霊に自分をゆだねなさい。
 なぜなら、
 あなたはこう考えてしまっているからです。
 「ちよつと待て、今何を言っているんだ？」
 「今、私に話しているのか？」
 え？どうということだ？」
 分かりますか。
 そうやって
 理解しようとしてしまう。
 それが問題なのです。

しかし、
 理解できない言葉でした。
 分かりますか。
 そのようにして
 言葉が与えられたのです。
 それは
 聖霊が語っていたのです。
 私はそれを知る必要さえありませんでした。
 分かりますか。
 私は知らなくてもよかったのです。
 それは
 彼女の御使いだったのかもしれませんが。
 それについては
 もう少ししたら話します。
 その御使いが来て、
 そのメッセージを与えたのです。
 ですから、
 これは確かです。
 異言には二つあります。
 その一つは……(この説明が続きます)。

100 「何か質問はありますか？」

では、

霊による異言や預言は、
 教会を建て上げるためのものです。
 しかし、それにはそれ自身の働きがあります。
 つまり——
 教会に預言者、または導く者がいて、
 集会が秩序の中にあるなら、
 それらの賜物は集会を妨げるために用いられるものではありません。
 決して集会を中断させるものではないのです。
 さて、「預言者の霊は預言者に従う」というところですが、
 これについては別の質問もあります。
 それは少し後に扱いましょう。
 ここではまず、
 これらの賜物がどのように正しく働くべきかを説明します。
 これは多くの賜物についての質問に答えることになります。
 後でそれらの質問に来たときには、
 「これは先ほど答えました」と言うことにします。
 これは第五の質問ですね。
 「礼拝の中で異言や預言は用いられるべきでしょうか。
 それは神の栄光のためでしょうか。」
 さて——
 もし牧師(説教者)が神に油注がれており、
 教会が秩序の中に整えられているなら、

正しい方法はこうです。

多くの人が、私がこれまで話してきた

「秩序を保つこと」について覚えているでしょう。

これらの賜物は、本来――

(主が許してくださるなら)

このタバナクルでもそうしていきたいと思っています。

私は今、様子を見ています。

いろいろなことを見ています。

そしてネヴィル兄弟や、ここにいる他の兄弟たちに

秩序を保つ責任を任せています。

あなたがた兄弟の中には、

まだ若い兄弟たちも多いのです。

59 さて、この点について言えば、私はあなたがたにとって年長の経験者です。

私は三十一年間この働きの中にいます。

あの礎石をここに据えたのも、今からおよそ三十年前のことです。

これまで、起こり得るあらゆることに直面してきました。

ですから、そういうことに向き合うときには、

自分が何を話しているのかをよく知っていなければなりません。

しかも、それだけでは足りません。

最後には、

神ご自身がそれを裏付けてくださる必要があるのです。

さて、これを行う一番良い方法ですが、

神は一つの賜物を地上に送られました。

そして聖霊は、

もう待つことができず、

私の上に来て、私を用い、

ご自身で語り始めたのです。

つまり、

聖霊ご自身が語り、

ご自身でとりなしをされたのです。

それから時間を確認すると、

ちょうどその同じ瞬間に、

彼女が

草の上に横たえられた時刻だったのです。

彼らは、

彼女が死にかけていると分かっていたので、

死亡時刻を記録する必要があると思っていました。

しかし、

まさにその瞬間、

聖霊が私の上に臨み、

そして

とりなしを始められたのです。

それは

言葉となって出て来ました。

私は尋ねました。

「姉妹、その時刻は何時でしたか。」

すると、

それはちょうど

聖霊が私を通して語っていた時刻と全く同じでした。

それは何だったのでしょうか。

賜物です。

99 では、

あのオポッサムはどうだったのでしょうか。

門のところに横たわっていて、

祈ってもらうために置かれていたあの動物です。

あれは無知な動物です。

魂を持っていません。

善悪の区別も分かりません。

分かりますか。

魂を持っていないのです。

ただ霊は持っています。

しかし魂はないのです。

では、

あれは何だったのでしょうか。

それは

聖霊がとりなしをしていたのです。

特別な集会を持つことです。

第一コリント14章で彼らがしていたのも、

そのような形だったと思います。

「ある人に啓示が与えられたなら、

先に話している人は黙りなさい」

とありますね。

私は、それは賜物のための特別な集会だったと思います。

そしてそれは良い方法です。

もし賜物を持っている人たちが、

週に一度集まって、教会に来て集会を持つなら、

それはとても良いことです。

そういう集会を持たせなさい。

その集会では――

説教はありません。

それは御霊の賜物のための集会なのです。

60 それは外部の人や未信者のための集会ではありません。

もし未信者が入って来て座ったとしたら――

一人が立ち上がって

「アー、アー」と異言を語り、

別の人が

「ワー、アー」と続ける。

すると彼らはこう言うでしょう。

「いったいこれは何なんだ？」

彼らは入ってきて、こう言います。

「歌はどこだ？」

他の礼拝はどこにあるんだ？」

分かりますか。

しかし、異言を語る人たちの多くは、

(また解き明かしをする人たちも)

福音においてまだ幼い者たちなのです。

ですから、彼らをつまずかせてはいけません。

その賜物が成長するまで、

成長させてあげなさい。

ただし、その中には、

サタンが入り込もうとしている場合もあることが分かります。

もちろん、長く歩んできた者たちは

それを見たとすぐに分かります。

分かりますね。

私たちはそれを見分けることができます。

そして、よく注意して見ていれば分かるのです。

61 少し前のことですが、

ここに今座っているある牧師が、私のところへ来て話をしてくれました。

そして私を自分の家に招いてくれました。

とても大切な兄弟です。

鼻からも口からも噴き出すほどでした。

彼女はどんどん弱っていき、

ついには、

こう言いました。

「私は車の中で死にたくない。」

「車を止めて、

草の上に下ろしてほしい。」

彼らは彼女を車から降ろしました。

そして皆で彼女の周りに立ち、

祈り始めました。

すると突然、

彼女はこう言いました。

「何かが私に触れた！」

そして彼女は

立ち上がりました。

そしてそのまま、

道路を叫びながら走り出したのです。

できる限り大きな声で

神を賛美しながら。

そして今ここで、

彼女は教会の中を

通路を行ったり来たりしながら賛美していたのです。

通路を行ったり来たりしながら、
力いっぱい叫び、神を賛美していたのです。
後で分かったことですが、
その女性は**結核(TB)**でした。
彼女は
ツインシティーズ(セントポール)から来ていました。
しかし救急車は彼女を運ぶことを拒みました。
なぜなら、
肺が破裂する危険があると思われたからです。
医者は言いました。
「彼女の肺は蜂の巣のような状態になっている。」
「もしそれが破れたら、
それで終わりだ。助からない。」
そこで数人の聖徒たちが、
1938年型の古いシボレーを用意し、
後部座席を外して
そこに彼女を寝かせ、
そのまま車で連れて来たのです。
ところが途中で、
道路の小さな段差か何かに当たったとき、
彼女は出血を起こしました。
血が

彼がここに座っているから言うのではありません。
ここにいる皆さんはみな大切な兄弟たちです。
もしそう思っていなかったなら、私はこう言うでしょう。
「まず、私たち二人でこの問題をはっきりさせましょう。」
その通りです。
私は皆さんを愛しています。
そして私はただ、聖書に対して誠実でありたいという思いでここにいるの
です。
助けたいと思っているのです。
その兄弟は私を家に招いて、
ある女性のことを話しました。
その女性は間違っていました。
私はその女性に直接会ったことはありませんでしたが、
録音テープで彼女の声を聞いたのです。
彼女は異言の解き明かしをしていました。
そして、あることを語っていました。
しかし、
聞いた瞬間にそれが分かりました。
62 ある日、その同じ人物のことについて、
別の牧師と私が切り株に腰掛けてリス狩りをしながら話していました。
ここにいる二人の牧師は、
その結末がどうなったかを知っています。
だから、よく見ていなさい。

牧師であるあなたがたが、
 ある人の賜物について正そうとするとき——
 つまり、聖書に基づいて正しく正そうとするとき、
 もしその人が腹を立てるなら、
 覚えておきなさい。
 それは神の御霊ではありません。
 なぜなら、
 神の御霊は、御言葉によって腹を立てることはないからです。
 御霊は御言葉のもとへ来るのです。
 御言葉に一致するのです。
 いつでも受け入れる心を持っています。
 本当に神に属する聖徒は、
 正しい線に立とうとするものです。
 その通りです。
 私自身も、
 正されたいと思っています。
 聖霊が、
 私の間違っているところを正してくださることを望みます。
 私は代用品など欲しくありません。
 欲しいのは
 本物だけです。
 もし本物でないなら——

もう門のところから出て行こうとしていました。私は叫びました。
 「ちょっと待て！」彼は戻って来ました。
 ちょうどソーダを飲んでいるところでした。
 そして言いました。「お父さん、どうしたの？」
 私は言いました。「ちょっと待ってくれ。
 ほんの少し待て。私も一緒に行く。」それで私は急いで
 顔を洗い始めました。ビリーは言いました。「どうしたの？」
 彼は、集会に行く前に私にあまり話しかけない方がいいことを知っていました。
 それでも言いました。「どうしたの？」私は言いました。
 「何でもない。何でもない。全然何でもない。」「先に集会へ行こう。」
 それで私たちは集会へ向かいました。バクスター兄弟はそこで、
 「Nothing Between My Soul and the Saviour
 (わが魂と救い主の間に何も無い)」を演奏していました。
 私が入って行くと、彼は言いました。
 「ふう！あなたは来ないのかと思いましたよ！」私は言いました。「シーツ。」
 それから前へ進み、そのまま説教を始めました。
 98 私が説教を終える頃、
 その大きな講堂の後ろの方で、
 まるで建物の後ろを吹き飛ばすような騒ぎが起きました。
 そこで延長マイクが後ろに回されました。
 するとそこには、
 一人の女性がいて、

私はそこに泊まっていたのです。
小さな町でしたから。
私は思いました。
「これは不思議だな。」
「まったく……」
「こんな話し方、聞いたことがあるか？」
「ほとんど息もつかずに話している。」
そう思っていたのです。
あまりにも激しく話していたので。
そして私は言いました。
「ちょっと待てよ……」
「あれは私だった。」
それで私は静かにしていました。
何も言わず、
ただじっとしていました。
しばらくすると、
その言葉が終わりました。
するとその瞬間、
私は
軍勢の中を走り抜け、
壁を飛び越えられるほどの力が湧いてきたように感じました。

97 それで私は外へ出ました。するとビリーは、

何も持たない方がいい。
その方がいいのです。
なぜなら、
キリストに恥をもたらすくらいなら、
何も持たない方がよいからです。
63 そして私は、聖書に基づかないことは何も教えません。
また、聖書に裏付けられていないことは何も語りません。
もし、ある兄弟——
クリスチャンの兄弟が、
私が何か間違ったことを教えているのを見たなら、
礼拝のあとで私を脇に呼んで、こう言ってくれたら
私はとても感謝します。
「ブラナム兄弟、
少しお部屋に行ってお話しできますか。
あなたはある点で間違っています。」
そう言ってくれたなら——
兄弟よ、私は本当に感謝します。
なぜなら、私は正しくありたいからです。
それを望んでいるのです。
そして、私たち皆が正しくありたいと思っています。
だからこそ、
こういうことを語るのです。

しかし、それはすべて
 聖書を通して来なければなりません。
 そうしてこそ、
 聖書全体がきちんと一致するのです。

64 さて、異言を語ることについてですが——
 少し後でまた触れますが、
 今はしばらくそのままにしておきなさい。
 あなたがた牧師たちに言います。
 今はそのままにしておきなさい。
 これらの人たちは、
 まだ**靈的に幼い者(赤ちゃん)**なのです。
 だから、もう少し成長するまで待ちなさい。
 もしかすると——
 もしそれがその人を欺こうとする敵の働きであるなら、
 いずれ明らかになります。
 今の時点では、
 まだはっきりとは分からないのです。
 しかし、これを扱い始める前に、
 まず教会の中に必要なのは、
 知恵の靈
 そして
 靈を見分ける力(靈の識別)

「いや。」
 「先に戻って、
 バクスター兄弟に今夜は説教してもらうように言いなさい。」
 それから私は床にひざまずき、
 こう祈りました。
 「主よ、
 私はどうしたのでしょうか。」
 すると突然、
 ドアのところで誰かが他の言葉で話している声が聞こえました。
 私は思いました。
 「ドイツ語かな？」
 「誰かが来て……」
 そう思って、
 祈るのをやめて耳を澄ましました。
 そしてその人が話すのを
 立ったまま聞いていました。
 私は思いました。
 「この人はどうやって
 あれを理解するんだろう？」
 私はそのモーテルの主人を知っていました。
 町から五マイルほど離れた場所にあるところでした。
 人が多すぎたので、

それは、人がどこかで個人的に祈っているとき、
 神に向かって語る祈りの言葉です。
 つまり、
 神に語りかける御使いの言葉です。
 今すぐでも、
 その実例を一つ話すことができます。
 しかし、時間がありません。
 でも、あなたがたは覚えているでしょう。
 あの女性が講堂に来たときのことを。
 あそこは、
 アレクサンダー・ダウイ博士の町、
 ザイオンです。
 覚えていますか。
 私があそこにいたときのことを。
 ビリーが私を迎えに来て、
 集会に行くように言いました。
 私は言いました。
 「ビリー、先に戻りなさい。」
 彼は言いました。
 「どうして泣いているんですか？
 誰かここに来たんですか？」
 私は言いました。

です。
 そうすれば、
 何が起きているのかを見分けることができます。
 まず最初に起こることは、
 「何か少しおかしいな」
 と感じることです。
 それが霊を見分ける働きです。
 そして、その人をしばらく大事に扱いながら様子を見るのです。
 やがて、もしその識別によって
 やはり何か違うと分かったなら、
 そのときに正しなさい。
 そしてもしそのことが
 本当に神から出ているものであるなら、
 その人は
 御言葉による訂正を受け入れます。
 65 たとえば、こういう場合を考えてみましょう。
 ここには賜物を持った兄弟たちが集まっているとします。
 すると、レオ兄弟が立ち上がって異言を語りました。
 そしてこちらのウィラード兄弟がその解き明かしをしました。
 さて、ここで
 ネヴィル兄弟、ジュニー兄弟、そしてウィラード・コリンズ兄弟が
 霊を見分ける役目を持っているとしましょう。

では、レオ兄弟が語り、
 ウィラード兄弟がその解き明かしをしてこう言ったとします。
 「主はこう言われる。
 『水曜日の夜、この教会に一人の女が来る。
 その女は荒れ狂うようになるだろう。
 ブラナム兄弟に、
 彼女を叱ってはならないと伝えなさい。
 彼女は気が狂っているからである。
 しかし彼を、
 彼女をあの隅へ連れて行くように言いなさい。
 なぜなら、
 彼女はかつてその隅で悪いことを行い、
 ある出来事がそこで起こったからである。』」
 さて、
 これはとても立派に聞こえますね。
 そうですね？
 よろしいでしょう。
 66 さて、しかしまず第一に、
 旧約聖書ではこうでした。
 預言者が何を語ろうと、
 また誰が語ろうと、
 まずそれは

あなたが混乱している理由が分かりました。」
 彼は言いました。
 「いいですか、異言には二つあるんです。」
 「それは御使いの異言です。」
 「人が聖霊を受けると、
 そのとき異言で語るのです。」
 「そしてその異言は、
 誰も解き明かす必要がありません。」
 「それは聖霊ご自身が語っているのですから。」
 「しかしそのあとに、
 異言の賜物というものがあります。」
 「それは教会で解き明かしが必要なものです。」
 そこで私は言いました。
 「あなたは順序が逆になっています。」
 「馬の前に荷車を置いているのです。」
 「ペンテコステの日には、
 そんな順序ではありませんでした。」
 「彼らは理解できない異言を語る前に、
 人々に理解される言葉で語ったのです。」
 つまり、本当は……
 96 異言には二つあります。
 一つは御使いの異言です。

私は言いました。

「いいえ。」

彼は言いました。

「兄弟、ちょっと聞いてください。」

私はこう尋ねました。

「あなたが聖霊を受けたと言っている、

インディアナポリスのその教会で、

そのときそこにいた人たちは、

あなたが

英語で復活や神の力について語るのを聞きましたか。」

彼は言いました。

「いや。」

私は理解できない異言で語りました。」

私は言いました。

「それでは、

使徒行伝2章4節の通りではありません。

なぜならそこでは、

一つも理解できない言葉はなかったからです。

彼らはこう言いました。

『私たちは皆、それぞれ自分の国の言葉で聞いている。』」

95 するとその人は言いました。

「ああ、ブラナム兄弟。

ウリムとトンミムによって試されました。

つまり、

御言葉によって試されたのです。

もしその光が輝かなければ、

それはそのまま退けられました。

では、今それを御言葉に戻してみましよう。

この人は異言を語りました。

聞こえはとても良かった。

この人は解き明かしをしました。

それも良く聞こえました。

しかし御言葉はこう言っています。

「二人か三人によって判断されなさい。」

ですから、

それはウリムとトンミム(御言葉)へ持って行かれます。

そこでまず、

ウィラード・コリンズ兄弟が言います。

「これは主からです。」

ジュニー兄弟が言います。

「これは主からです。」

三人のうち二人が認めたこととなります。

それなら、それを書き留めて、

この教会で公に語られます。

そして人々がそれを読んで、
まだ起こる前にそれを知り、
そして実際にそれが起こったとき、
人々はこう言うでしょう。
「兄弟よ、これは神だ！
これは神の働きだ！」
しかし——
もしそれが起こらなかつたらどうなりますか。
分かりますか。
(ここで、もう一つ大事なことに触れることができます。)
すべての預言、
すべての解き明かし、
すべてのメッセージは、預言なのです。
さて、少し待ってください。
もしそれが起こらなかつたら——
レオ兄弟は
間違った霊で語ったことになります。
この人は
間違った解き明かしをしました。
そしてあなたは
間違った判断をしました。
そのときはどうするか。

その人は言いました。
「御使いの異言で語る人というのは、
聖霊の異言のことです。」
そしてこう言いました。
「私たちが聖霊を受けたとき、それが起こるのです。」
そこで私は言いました。
「あなたはどこでそれを受けたのですか。」
すると彼は、
場所も、分も、時間も正確に話しました。
私は、
彼が体験したこと自体は疑いません。
私は彼の裁き手ではありませんから。
彼は言いました。
「その場所で私はそれを語ったのです。」
「確かに何か私に起こりました。」
私は言いました。
「私はそれを信じますよ。
でも、それが
あなたにとって聖霊の証拠だったわけではありません。」
すると彼は言いました。
「いや、そうです！
それこそが証拠です！」

「それは、聖霊の御使いが降りてきて、あなたに語る言葉なんです。」

さて、これは

聞こえはとても良いのです。

いかにも真理のように聞こえるのです。

しかし

それは全部の真理ではありません。

サタンがエバに言ったときも、

「あなたは決して死なない。」

と言いました。

そこには

多くの真実が含まれていました。

しかし、

それでも真理ではなかったのです。

それでその人は言いました。

「人の異言と御使いの異言がある」

そして

「その御使いとは……」

94 では、これが聖書と一致しないことを見てみましょう。

つまり、

聖書と調和していないということです。

言い直しますね。

聖書とうまくかみ合わないのです。

そのものを自分の中から取り除くのです。

あなたはそんなものを持っていたくないでしょう。

それは間違っているからです。

それから離れなさい。

それは悪魔の働きです。

そしてあなたはこう祈るでしょう。

「主よ、

私は説教者ではありません。

しかし私は解き明かしの賜物を持っている者です。

私は説教者ではありません。」

レオ兄弟はこう言うでしょう。

「主よ、私は説教者ではありません。

しかし異言の賜物があります。

しかし悪魔がそれをかき乱しました。

神よ、それを私から取り去ってください。」

そしてあなたはこう言うでしょう。

「主よ、

あなたは私に霊を見分ける賜物を与えてくださいました。

そして私はそれが働くのを何度も見てきました。

それなのに、どうしてこんなことが起こったのでしょうか。

父よ、

私をきよめてください。

何が起こったのでしょうか。」

そのとき——

あなたは本物を持つようになるのです。

67 分かりますか。

これは**聖徒たちの集まり(特別な集会)**の形です。

聖書でもそのようであったと思います。

なぜならパウロはこう言っています。

「もし一人が預言していて、

そこに座っている別の人に何かを示されたなら、

先に話している人は黙りなさい。

そしてその人が先に語りなさい。

そのあとで語ればよい。

そしてあなたがたは

一人ずつ預言することができる。」

しかし、これは分かりますね。

普通の礼拝の中ではあり得ません。

一人一人が順番に語り出したら、

礼拝は成り立たなくなります。

ですから、

それが本当に神から出ているかどうかを確かめる必要があります。

もしそれがただの愚かなものなら、

それは神からではありません。

人の異言と、御使いの異言です。

分かりますか。

パウロはこう言いました。

「たとい私が人の異言、また御使いの異言で語ったとしても……」

つまり、

人の異言もあり、御使いの異言もあるのです。

そのうちの一つは、

人には理解できないものです。

ここで、異言を証拠だと主張するペンテコステ派の人たちが

よく言うところなのですが、

ある人が私にこう言いました。

「ブラナム兄弟、あなたは混乱していますよ。」

私は言いました。

「もしそれを使徒行伝2章4節に従って理解するなら、

その場にいた人たちは皆、

自分が生まれた国の言葉で聞いたはずです。」

するとその人は言いました。

「いや!違います!違います!」

そしてこう言いました。

「ブラナム兄弟、あなたは混乱しています。」

「あなたが言っているのは……」

「御使いの異言があるんです。」

92 パウロもここで、あなたが今質問しているコリント人への手紙の中でこう言っています。

「御使いの異言があり、また人の異言がある。」

さて、御使いの異言とは、

人が神と自分だけで祈っているときのものです。

つまり、

神とその人との間だけの祈りです。

しかし、もしそれが言語として語られる場合は、

教会の中では解き明かしが必要になります。

それは

教会を徳づけるため(建て上げるため)です。

「異言で語る者は自分自身を徳づける。

しかし預言する者は教会を徳づける。」

とパウロは言いました。

それでパウロはこう言ったのです。

「私は、理解できない異言で一万語語るよりも、

理解をもって五つの言葉を語る方を願う。」

ただし、もし解き明かしがあるなら別です。

そのときは、

それは預言と同じように語られることになり、

教会を徳づけることになります。

分かりますか。

93 さて、二種類の異言があります。

もしそれが成就しないなら、

それも神からではありません。

必ず成就しなければならないのです。

こうしていれば、兄弟たちよ、

私たちの教会は堅固な教会になります。

そうすれば誰も、

「何かがおかしい形で語られた」

とか

「間違ったことが行われた」

などとは決して言えなくなるのです。

68 考えてみてください。

私が公衆の前に立っているとき、どんな立場に置かれているか。

見てください。

もしそこで一つでも間違いがあつたらどうなりますか。

分かりますか。

しかし私は主を信頼しています。

私は主に信頼しているのです。

ある人がこう言うかもしれません。

「ブラナム兄弟、あなたは間違いを恐れているのですか？」

いいえ。

いいえ、違います。

私は間違いを恐れてはいません。

私は主を信じています。
 主が私の守りだからです。
 私はこの働きをするように任命されています。
 だから私はそのまますすぐ進むのです。
 もし神があなたに
 何かをするように任命されたなら、
 神ご自身があなたの守りになります。
 神があなたを遣わしたなら、
 あなたの言葉を神が裏付けてくださいます。
 そのときあなたは
大使(アンバサダー)なのです。
 異言の賜物を持つなら
 異言の大使です。
 解き明かしの賜物を持つなら
 解き明かしの大使です。
 霊を見分ける賜物を持つなら
 識別の大使です。
 この三人がそろうとどうなりますか。
 分かりますか。
 そのときあなたがたは
 堅固な教会を持つことになります。
 そうなれば、

その通りです、兄弟。
 それは聖書全体を含めて理解しなければならない。
 まさにその通りです。

91 **質問:**「聖書には二種類の異言がありますか。個人の祈りの中で語られる異言と、教会で語られ、解き明かしが必要な異言とは違うものなのでしょうか。」

ペンテコステの日には、異言はさまざまな国の人々に理解されました。

しかし第一コリント14:2では、“異言は人にではなく神に語る”

と書かれています。また第一コリント13:1では、“人の異言、また御使いの異言”

とあります。」

ブラナム兄弟:

ああ、そうなんですか?さて、兄弟よ、あなたが誰であろうと、
 あなたはもう自分で答えを出しています。
 分かりますか。

「聖書には二種類の異言がありますか。二つの違う異言があるのでしょうか。」

実際には、多くの種類の異言があります。

ペンテコステの日には、天の下のあらゆる国から来た人々がそこにいました。

そして彼らはそれぞれの言葉で聞いたのです。

そして、「個人の祈りの中で語られる異言」と

「教会で語られる異言(解き明かしが必要なもの)」には
 違いがあるのか。はい、あります。

と言うのです。しかし実際には、自分たちがそこにいたことを悔い始めるのです。「あそこにいたこと自体が間違いだった。

私はあんな所にいたことを後悔している。」と言うのです。

そして、自分を聖別した契約の血をまるで

汚れたもののよう扱うのです。そして

恵みの働きを侮るのです。兄弟よ、

その人はもう終わりです。

それで終わりです。

もう終わっています。

しかし見てください。

選ばれた神の子は

そんなことはしません。

絶対にそうしません。

「わたしの羊はわたしの声を知っている。」

もしその声が

カナンから呼んでいるのであれば、

どこからであろうと、

彼らはそこへ行くのです。

「わたしの羊はわたしの声を知っている。」

(ある兄弟が言いました)

「それなら、

使徒行伝2:38も関係してくるように思いますが……」

ブラナム兄弟:

教会が立っていることを

何一つ恐れる必要はありません。

昨日と同じように、

今日も、

安心して立っていられるのです。

69 あるとき、私はこのあたりで集会をしていました。

するとイギリスから来た若いイギリス人の青年がいて、

自殺しようとしていたのです。

バンクス兄弟が私のところへ来て言いました。

「彼はもう四、五日そこにいるんです。」

私はそのとき、

やらなければならないことがたくさんありました。

しかし彼は言いました。

「その青年は自殺してしまいそうなんです。」

下のウォータービュー・ホテルの人たちも、

その青年の状態について私に話してくれました。

それで私は、

その青年のために祈るために部屋へ入りました。

そして外に出てきてこう言いました。

「バンクス兄弟、

私はその人に会ったこともありません。

彼のことは何も知りません。

しかし、
 彼に何が起きているのかを、
 そこへ行く前にあなたに話しましょう。」
 そうでしたね、バンクス兄弟。
 そして私たちがそこへ行くと、
 聖霊がその場に臨みました。
 そしてその青年に
 何が起こったのか、
 なぜそうなったのか、
 彼がどこにいたのか、
 彼の人生のことすべてを
 語られたのです。
 するとその青年は
 ほとんど倒れそうになりました。

70 ある人がこう言うかもしれません。
 「ブラナム兄弟、
 そんなことを人に言って、
 間違うのが怖くないのですか。」
 では考えてみてください。
 もし壇上で、ある人にこう言ったらどうでしょう。
 「あなたは妻に対して誠実に生きていない。
 他の女との間に子どもがいる。」

聖霊にあずかった者たち…」
 つまり、
 この聖霊の働きに触れ、
 それにあずかったのです。
 そして彼らはこう言いました。
 「これはすごい。」
 「ほら、あの人を見ろ。」
 「彼は盲人だったのに、
 今では見えるようになっている。」
 「それから、あの人を見ろ。」
 「いったい何が起こったんだ？」
 「教育もなかったあの若者が、
 今では世界に火をつけるような勢いで立っている。」
 分かりますか。

90 そして彼らは、そこから離れてしまうのです。そしてもう一度
 悔い改めに戻ろうとする。つまり、最初に言われたことの先へ進む代わり
 に、
 また戻って悔い改めだけを説教し始めるのです。あなたも知っているでし
 ょう。
 「死んだ行いからの悔い改めという基礎をもう一度据えること」
 などについてです。そして彼らは言います。
 「神が望まれるなら、そうしよう。」分かりますか。
 「それなら、もう一度この基礎を据え直そう。」

「彼は私たちをこの荒野に連れ出してしまった。
そして今や、私たちの働きは台無しだ。」
「そんなこと、私たちにはできるはずがない。」
つまり、後戻りしたのです。
「一度光を受けた者たち…」
彼らは
信仰によって義とされ、
聖化されていました。
分かりますか。
彼らはこの第二の祭壇のところまで来て、
約束の地を見渡したのです。
「一度光を受け、
天の賜物を味わい…」
分かりますか、
味わったのです。
彼らはそれを持ち帰りました。
そして
「それが本物であることを
私たちは実際に見た。」
と言いました。
確かに見たのです。
「天の賜物を味わい、

もしそれが間違っていたら——
あなたは刑務所に入れられるでしょう。
だから、正しくなければならぬのです。
分かりますか。
もしそれが神からのものであるなら、
恐れる必要はありません。
しかし、
もしそれが神からだと言えないなら、
神だと分かるまで黙っていなさい。
そうでしょう。
確かであることを確かめてから語りなさい。
兄弟たちよ、
これは厳しい教えです。
しかしあなたがたは
私の兄弟たちです。
あなたがたは
これから働きをしていく若い牧師たちです。
そして私は
年を取った者です。
もうすぐこの世を去る日が来るでしょう。
だからこそ言うのです。
必ず、それが正しいことを確かめなさい。

71 その部屋から出て来たときのことですが……

まあ、この話はあとでまた続きに触れるかもしれませんが、
少しだけ今話しておきましょう。

昨日、バンクス兄弟と私はとても忙しくしていました。

本当に、もうできる限り働いていました。

そして私はこうするつもりでした。

この集会のあと、

レオ兄弟やジーン兄弟、そして何人かの兄弟たちと一緒に

向こうへ行って、

「豚狩りに行く」

と言って出かける予定でした。

アリゾナでは、

ジャベリナ(野豚)の狩猟シーズンがあり、

それが五日間あるのです。

私たちの集会が終わると、

フェニックスへ一日行きます。

そして次の集会まで

四、五日ほど時間が空くのです。

ちょうどその時期に、

ジャベリナが解禁されるのです。

それで私は、

自分の小さなライフルの照準が合っているか確かめるために

ヨシュアとカレブは

神の御言葉を信頼していました。

神が

「それはあなたがたのものだ」

と言われたからです。

そこで彼らは向こうへ行き、

大きなぶどうの房を切り取りました。

そしてそれを

担いで引いて戻って来ました。

そしてこう言いました。

「さあ、みんな来い！」

「ここは本当に素晴らしい場所だ！」

「さあ、食べてみなさい！」

そのぶどうは

こんなに大きかったのです。

89 すると彼らはそれを見て、こう言いました。

「いや、とても無理だ。

私たちにはできない。」

そして彼らは戻って来て、こう言いました。

「いや、兄弟たち。

このモーセは私たちを荒野へ連れ出してしまった。」

(モーセはここで聖霊の象徴として語られています。)

羊がいるのに、
山羊を牧することに何の意味がありますか。
分かりますか。
だから私はいつもこう言っています。
「もし必要なら、
四本の柱に向かってでも説教する。
それでも真理を語る。」
そうです。
さて、見てください。
彼らは戻って来ました。
そして
ヨシュアとカレブです。
割合にすれば、
十二人のうち二人、
つまり
十二分の二です。
その二人だけが
それを信じました。
そして彼らは
約束の地へ入って行き、
こう言いました。
「これは素晴らしい土地だ！」

試し撃ちをしたかったのです。
バンクス兄弟も一緒に来ることになっていました。
私たちは門のところまで行き、
外へ出ようとしていました。
するとそこへ、
一人の男が歩いて入って来たのです。
その門の上には看板があつて、
こう書いてありました。
「ブラナム兄弟に面会を求めないでください。」
しかしその男は
その看板の上を越えるようにして入って来たのです。
72 分かりますか。
あの看板を立てている理由は……
病気の人を断るためではありません。
私の家について言えば——
バンクス兄弟に聞いてみてください。
彼は私の隣に住んでいます。
人々は昼も夜も関係なくやって来ます。
病気の子どもを連れて来たり、
いろいろな事情を抱えて来たりします。
しかし私たちは、
そういう人たちを決して断りません。

そして、もし外のトレーラーにいる
レオ兄弟やジム兄弟たちから電話が来て、
「ここに病気の赤ちゃんを連れて人がいます」
とか、
「ここに癌の人が来ています」
と言われたら、
私たちは手にしていることをすべて脇に置いて、
すぐにその人のところへ行きます。

- 73 昨夜も、ある人から呼ばれて病院の部屋へ行きました。
しかし、そこへ着いたあと、その人は私を中に入れようとしませんでした。
どうやら別の誰かが、ただ興奮して呼んだだけだったようです。
しかし、それでも構いません。
私はとにかく行きます。
なぜなら、
誰かを助けようとするのが私の務めだからです。
さて、その看板はそういう人たちのためにあるわけではありません。
その日、私たちは車に乗ろうとしていました。
バンクス兄弟もよく知っています。
私は家の中でしばらく待たされていました。
バンクス兄弟のところにも誰かが来ていて、
彼も引き止められていました。
彼がようやく来たと思ったら、

向こうの地を偵察するために送り出しました。
しかし、その中の何人かはこう言いました。
「ああ、あれは無理だ。
私たちにはできない。」
「なぜなら、
彼らの前では私たちは
まるでバッタのように見えるからだ。」
分かりますか。
88 「もし私が聖霊や、こうしたことを教えたら、
いったいどんな教会に説教することになるんだろう？」
「そんなことを教えたら、
席は空っぽになってしまう。
メソジストの人たちは出て行く、
バプテストの人たちも、
長老派の人たちも出て行ってしまおう。」
出て行かせておけばいいのです。
彼らは最初から山羊だったのです。
あなたが必要としているのは
羊です。
分かりますか。
あなたは山羊の牧者ではありません。
羊を牧する者です。

彼らが……(続く内容の導入です)。
87 彼らはそこに来て、振り返りました。
それは聖化の段階です。
そして彼らはこう言いました。
「ああ、ハレルヤ!
神をほめたたえよ!
神に栄光あれ!
ハレルヤ!」
「昔、私を悩ませていたものは
そこに横たわって死んでいる。」
「私が昔吸っていたタバコはもうない。」
「私が昔飲んでいた酒も、
すべてイエス・キリストの血の紅海の中に沈んでしまった。」
「ああ、神に栄光あれ!
ハレルヤ!」
そして彼らは皆、
今やカナンを目の前にするところまで来ました。
そして彼らはヨルダン川のところまで来ました。
そこでモーセは、
各部族から一人ずつ代表を選びました。
そうでしたね。
そして彼らを

今度は私の方が引き止められたのです。
それでやっとライフルを持って車に乗ろうとしたそのとき——
一人の男が歩いて入って来たのです。
私はちょうどその人に、
「外の看板に書いてある番号
(Butler 2-1519)へ電話してください」
と言おうとしていました。
私は言いました。
「今、急いでいるんです。」
すると彼は言いました。
「あなたは急いでおられるようですね、先生。」
私は言いかけてました。
「私の名前は……」
すると彼は近づいて来て、
「こんにちは。」
と言いました。
その様子から、
彼が私のことを知らないのが分かりました。
それで私は言いました。
「私の名前はブラナムです。」
すると彼は言いました。
「あなたがブラナム兄弟ですか。」

私は言いました。

「そうです。」

すると彼は言いました。

「ブラナム兄弟、

あなたにお会いしたかったのです。」

そしてこう言いました。

「今、出かけようとしておられるようですね。」

私は言いました。

「はい、そうです。」

彼は言いました。

「急いでおられるのですね。」

私は答えました。

「はい、今は急いでいるのです。」

すると彼は言いました。

「少しだけお話ししたかったのです。」

私はちょうど、

「また後で」と言おうとしていました。

そのとき——

聖霊がこう言われました。

「彼を部屋へ連れて行きなさい。

あなたは彼を助けることができる。」

すると、すべてが変わりました。

それから彼らは

紅海(血の象徴)に来ました。

そして紅海を渡りました。

そのとき、

彼らの後ろにいた**すべての監督者(奴隷監督)**は

海の中で死んでしまいました。

分かりますか。

その時点で彼らは、

約束の地まで、わずか三日ほどの距離でした。

距離にして

四十マイル(約六十キロ)もありません。

つまり、

二日も歩けば十分に着ける距離だったのです。

これは、

私が数日後にフェニックスのビジネスマンズの集会で

説教しようとしているテーマでもあります。

題は

「この山にとどまり続けること」

です。

しかし神は、

彼らを四十年間そこに留められました。

なぜなら——

さて、見てください。

ここでも同じことが言われています。

これはヘブル人たちに向けて語られているのです。

そしてその章を読み進めると、

最後にこう書かれています。

「生ける神の手に落ちることは恐ろしいことである。」

ここで語られているのは、

境界線に立っている信者のことです。

つまり、

本当に中に入っていない人のことです。

私の心の中には、

それを説明する非常に分かりやすい例があります。

86 神はイスラエルをエジプトから呼び出されました。

人々は皆、そこから出て来ました。

一人残らず解放され、

紅海を渡って荒野へ入りました。

その通りですね。

彼らはモーセのメッセージを聞き、

行進を始めました。

それは**義とされること(義認)**の象徴です。

そして彼らは振り向き、

エジプトを後にしました。

銃はそのまま置かれました。

他のすべてのことも、

そのままになりました。

神の働きが第一だからです。

それで私は言いました。

「こちらへどうぞ。」

そして言いました。

「バンクス兄弟、

私はあとで戻ります。」

すると彼は言いました。

「ブラナム兄弟、

私の魂の問題なのです。」

私は言いました。

「分かりました。

どうぞ中へ。」

それで家の中へ入りました。

するとメダが言いました。

「まだ出かけていないの？」

私は言いました。

「いや、まだだ。

ここに誰か来ているんだ。」

そして言いました。

「子どもたちは奥の部屋にいてもらって。」

それで彼を小さな書斎(デン)へ連れて行き、
椅子に座りました。

座ったと思ったその瞬間――

その人は、

昨夜の教会に来ていました。

(バンクス兄弟、来ていましたよね?)

ええ、

昨夜来ることになっていた人です。

74 するとすぐに、聖霊が働き始めました。

聖霊は彼に、

彼が誰であるか、

何をしてきたのか、

これまでの人生で何が起こったのか、

そのすべてを語り始めたのです。

バンクス兄弟が証人です。

彼は私に、

ほんの二言三言しか話していませんでした。

それなのに、聖霊が語り始めました。

「あなたはこれまでさすらい人のように生きてきた。

本当はマディソンに住んでいる。

そしてあなたは今、

そこにはこう書いてあります。

「一度光を受け、聖霊にあずかる者となった者が、もし墮落するなら、
再び悔い改めに立ち返らせることは不可能である。」

しかし人々は、その意味を理解していません。

そこではこう言っています。

「一度光を受け、聖霊にあずかる者となりながら、

もし墮落するなら、

再び悔い改めに立ち返らせることは不可能である。

なぜなら彼らは、

神の子をもう一度十字架につけ、

公然と辱めることになるからである。

そして彼らは、

契約の血を汚れたものとみなし、

恵みの御業を侮ることになる。」

しかし私にとっては、

これは啓示です。

その通りです。

これはちょうど

使徒行伝2:38

マタイ28:19

と同じようなものです。

ただ、その意味をつかまなければならないのです。

兄弟：
「それは
予定(神の選び)、
つまり世界の基の置かれる前から定められていること
と関係がありますか。」

ブラナム兄弟：
「その通りです。」
その通りです。

兄弟：
「それなら、その人は
最初からそうなるようには定められていなかった
ということですか。」

ブラナム兄弟：
「その通りです。」
最初からそうではなかったのです。
聖書はこう言っています。

「彼らは私たちの中から出て行ったが、
もともと私たちのものではなかったからである。」
(I ヨハネ2:19)

85 たとえば、ヘブル書6章のところも同じです。
この聖句は、多くの人が誤解して解釈しています。
彼らは「それは不可能だ」と思ってしまうのです。

インディアナ州エバンズビルから来た。
あなたはそこで、
ある聖書学校に行っていた。
しかしそれはカルト的なもので、
そこで混乱してしまった。
そしてほんの少し前に
ルイビルへ来た。
そこで一人の男に会った。
あなたはその男と食事をしながら座っていた。
その男があなたにこう言った。
『あちらへ行って
ブラナム兄弟に会いなさい。
彼があなたを正してくれるだろう。』
そして私は言いました。
「これは主が言われることである。」
その男はただ座ったまま、
目をぱちぱちさせながら私を見て、
「はい、先生。」
と言いました。
私は言いました。
「驚いたでしょう？」
彼は言いました。

「本当に驚きました。」

私は言いました。

「あなたは聖霊を信じますか。」

彼は言いました。

「信じたいです、先生。」

私は言いました。

「では、あなたが今何を考えているか

言いましょうか。」

彼は言いました。

「はい、お願いします。」

それで私は彼の考えを言いました。

すると彼は言いました。

「兄弟、

その通りです。」

私は言いました。

「その考えを変えなさい。」

彼は言いました。

「はい、変えます。」

私は言いました。

「今あなたは、

こう考えているでしょう。」

彼は言いました。

理解できましたか。

今私たちが

どのように信じているか、分かりましたか。

84 (ある兄弟が言いました)

「一つ質問があります。」

どうぞ、遠慮しないでください。

今の話についてですね？

「はい、そのことについてです。

少し躊躇していたのですが……」

遠慮しないでください。

「あなたは先ほど、

説教している人について話されました。

もしその人が

キリストがもたらしたメッセージを説教していないとして、

たとえその働きの中で

いろいろなことが起こっていたとしても、

その人が真理に出会ったとき、

それを拒んだなら、

その人はどうなるのでしょうか。」

ブラナム兄弟：

「その人は失われています。」

ちょっと待ってください……

そこからすべてのバス(魚)を取り出すまで。

分かりますか。

テイラー兄弟、

あなたはもう分かるはずですよ。

あなた自身の経験からも

よく分かるはずですよ。

83 では次の質問です。

質問

「人はいつでも、自分の霊をコントロールして、
いつ、どのように働くかを制御できるのでしょうか。」

答え

はい。その通りです。聖霊は秩序をもって働きます。

聖霊はあなたを支配しますが、同時にあなたもそれを制御することができます。

そして聖霊は決して聖書に反することをさせません。

聖霊は無作法に振る舞うことはありません。

その通りです。そして最後にこう書かれています。

「あなたを愛している者より」はい、分かりました。

では、次の質問に進みましょう。

この質問は今までの話の土台となる内容でした。

さて、今これらを取り上げていますが、

この点について、まだ質問はありますか。

皆さん、

「その通りです！」

まさにその通りです！」

それで私は言いました。

「あなたに必要なのは

幻ではありません。

あなたに必要なのは

正されることです。」

そして私は、

あることを彼に話しました。

それは――

あなたがたには話したくないような内容です。

もしそれがあなた自身のことだったら、

あなたも人に話してほしくないでしょう。

とても恥ずべきことだったからです。

私は、

主が人について示されることを

むやみに人に話すことはしません。

それで私はただ言いました。

「よろしいですか。

あなたはそれを実行しますか。」

彼は言いました。

「します。」

私は言いました。

「では、

安心して行きなさい。」

75 私たちはそこに十分もいなかったと思います。

そうでしょう、バンクス兄弟。

七分から十分くらいでした。

それから外へ出て、

道へ戻り、

私とその男、

そしてバンクス兄弟、

それから私の息子ジョーだったと思いますが、

みんなで車に乗って

道を走っていました。

するとその男が振り向いて言いました。

「先生、

一つ質問してもいいですか。」

私は言いました。

「いいですよ。」

彼は言いました。

「私は少し混乱しています。」

そして言いました。

「どうしてあなたは、

しかし、やがてあるとき、この真理が彼の前に示されるのです。

私はこう信じています。神の子どもはすべて、

必ずそれを見る時が来る。それぞれの時代の中で、

神はその人を必ず見つけ出されるのです。神の御心がすべて成し遂げられるまで、神の国は来ません。その通りです。そして

一人も滅びることはありません。分かりますか。

それが神の方法です。天の御国は、海に網を投げた人のようなものです。

その網を引き上げると、いろいろなものが入ってきます。

その中から魚は取っておき、亀テラピン(淡水亀)

などはまた水に戻します。

そしてまた網を投げます。

またいろいろなものが入ります。

その中に魚が一匹いるかもしれません。

そしてその人は

すべて取り尽くすまで網を引き続けます。

分かりますか。

しかしその魚は最初から魚だったのです。ただ

主人に用いられるために取られただけです。

そしてその魚は

もっと良い、もっと澄んだ池へ移されます。

しかしその間も、

主人はこのカエルの池のような場所で

網を引き続けます。

誠実なのだと思います。
 ここに座っている兄弟が
 自分の歩みを振り返ろうとしていたように、
 その人も
 自分の歩みをたどり直そうとしているのです。
 もしその人が
 神に選ばれた人であるなら、
 そしてその人が
 真理の前に立たされたとき、
 その人は
 それを認めます。
 なぜなら主はこう言われました。
 「わたしの羊は、
 わたしの声を知っている。」
 分かりますか。
 テイラー兄弟、
 あなたが言っているのは
 そういう意味ですね。

82 たとえば、こういう場合を考えてみましょう。ここにクレイス兄弟がいたとします。彼はバプテストの牧師でした。そして彼は

聖霊のバプテスマについて何も知らず御霊の賜物についても何も知らなかった

とします。それでも彼は忠実で良いバプテストの牧師でした。

私についてそんなことを全部知っていたのですか。」
 バックス兄弟がそこに座っていました。
 私は言いました。
 「あなたは、
 私の幻や私の働きのことを聞いたことがありますか。」
 すると彼は言いました。
 「いいえ。」
 「私は一時間ほど前まで、
 あなたの名前すら知りませんでした。」
 「ルイビルで誰かが私に言ったのです。」
 「あちらへ行ってみなさい。」
 それで私は
 橋を渡ってここへ来ました。
 そうでしたね、バックス兄弟。
 彼は言いました。
 「私はあなたの名前も、
 あなたが誰なのかも
 まったく知りませんでした。」
 私は言いました。
 「私の働きの中で、
 それは神が与えてくださった賜物です。」
 すると彼は言いました。

「もしそういうことなら……」

「もう私は大丈夫です。」

彼は言いました。

「すべてがなくなりました。」

そしてこう言いました。

「つまり、

神があなたを通して私に語られたのですね。」

私は言いました。

「その通りです。」

すると彼は言いました。

「私は聖書で読んだことがあります。」

「イエスが弟子たちに語られたとき……」

(彼は弟子と言いましたが、

実際には人々のことを言っていたのですが)

「イエスは、

彼らが心の中で考えていることを言われました。」

つまり、

人の思いを見抜くことのことです。

彼は言いました。

「そしてイエスは言われました。」

「それは父が彼を通して語っているのだ。」

私は言いました。

私たちはあなたの名によって

預言したではありませんか

(つまり説教したではありませんか)。

あなたの名によって

奇跡を行ったではありませんか。』」

つまりその人は

異言を語り

奇跡を行い

解き明かしをし

神の奥義を語った

それでも主は言われます。

「わたしから離れなさい。

不法を行う者たちよ。

わたしはあなたがたを知らない。」

分かりますか。

質問

(テイラー兄弟)

「もし人が間違ったメッセージを伝えていた場合はどうでしょうか。

その人は自分では正しいとっていて、

しかし実際には間違ったことを説教している場合です。」

私はこう思います。

その人は

それについて言えば、
たとえその牧師が
大天使のように御言葉を語ったとしても、
聖書の奥義をよく理解し、
とても良い牧師として
人々を訪ね
世話をし
良い働きをしていたとしても
それでも
失われている可能性があります。
分かりますか。
最終的にそれを示すのは、
その人の実です。
兄弟よ、
いつでもそうです。
その人がどれほど立派でも、
どんな人物でも、
その人生の中に聖霊がなければならないのです。
イエスもこう言われました。
「その日には多くの人が
わたしに言うだろう。
『主よ、主よ。』

「その通りです。」
すると彼は言いました。
「それなら、今……」
「父なる神が、
あなたを用いて私に語られたのですね。」
「そして私にこれらのことを知らせて、
あなたの言ったことが真実だと
信じさせてくださったのですね。」
私は言いました。
「それは真実でしたか。」
彼は言いました。
「はい。」
そして言いました。
「それなら——
それは神に違いありません。」
76 それで私は言いました。
「兄弟よ、あなたは今、
このことについて——」
（私とバンクス兄弟で話していたのですが）
「十年間も集会に通っていながら、
まだ分かっていない人たちよりも、
よく理解しています。」

たった今来たその人が、
それを理解したのです。
分かりますか。
さて、質問です。
「秩序ある形で語られる異言の霊は、
礼拝の中で用いられる預言なのでしょうか。」
答えは——
いいえ。
それは先ほど話した方法で用いられるべきものです。
そしてその内容が、後で礼拝の中で語られるのです。
しかし、今の段階では
彼らに語らせておきなさい。
ただし、もしそれが
手に負えなくなるようなら、
そのときは
注意して見ていなければなりません。
時にはそれが
本当に神から出ている場合もあるからです。
それはちょうど、
小さな子どもが歩く練習をしているようなものです。
小さな子どもが歩こうとして、
四回も五回も転ぶことがあります。

その人の生き方が、
その言葉を裏付けていないのです。
分かりますか。
なぜなら、
その人は最初から
雑草だったからです。
さて、ここで
大きな問題に入ります。
それは
選び(選びの教え)です。
ここは重要なところですよ。
それはそのようであればならないのです。
分かりますか。
あるものは最初から雑草です。
あるものは最初から麦です。
そして干ばつが来ました。
そのとき
正しい者にも、正しくない者にも
同じ雨が降るのです。
分かりましたね。

81 質問

「御言葉を説教している牧師の実はどうでしょうか。」

とげを生やし
いつも争い
人を傷つけ
「フン!」と怒り
意地悪で
不機嫌で
そんな性質を表していませんか。
分かりますか。
それは
御霊の実ではありません。
御霊の実とは
柔和
忍耐
優しさ
などです。
それらすべてです。
その人がこう言うかもしれません。
「私はあなたと同じくらい大きな声で叫べる。
神をほめよ!
聖霊が私にも臨む!」
それは完全に本当かもしれません。
しかし――

私も、この教会に来てから
そのようなことを見てきました。
まあ、そのことは
それくらいにしておきましょう。
しかし、ある人がこう言うかもしれません。
「ブラナム兄弟、
なぜあなたはそれをすぐに正さないのですか。」
いいえ、違います。
私の息子ビリー・ポールが、
初めて歩き始めたときのことを考えてみてください。
彼は立っているより、倒れている方が多かったです。
上がったと思ったら、また転んでいました。
しかし彼は、
まだ歩き方を知らなかったのです。
でも私は思いました。
「この子には歩く賜物がある。」
それで私は、
しばらく歩かせておきました。
そして、
彼の大きな足でつまづくようになったとき、
そのとき私は言いました。
「足をちゃんと上げなさい、坊や。」

どこを見ているんだ?」

分かりますか。

そこが違いなのです。

77 ですから、少しの間はつまずかせておきなさい。

少しの間、よろよろと歩かせておきなさい。

そして、もしあなたが彼らを正さなければならなくなったとき、

もし彼らがそれを腹を立てて拒むなら、

そのときあなた自身で分かります。

それは神からではないということが。

なぜなら、

神の御霊は従うものだからです。

ここにも書いてありますね。

「預言の霊は預言者に従う。」

その通りです。

質問

(ストリックカー兄弟)

「ブラナム兄弟、私は少し正していただきたいのですが。」

はい、兄弟。

「私は礼拝に座っていて、

異言やその解き明かしを聞くことがあります。

しかし多くの場合、

私はそれを聞くととても気分が悪くなるのです。

違いますね。

同じ雨が降るのです。

その通りでしょう。

同じように、

同じ御霊が、

偽善者にもクリスチャンにも降るのです。

同じものです。

しかし、違いはどこにあるのでしょうか。

「その実」によってです。

兄弟たちよ、

このことが分かりましたか。

80 聖霊のしるしとは、

その実です。

つまり、

御霊の実です。

ある人はこう言うかもしれません。

「私は茎だ。」

あの麦と同じように茎だ。

ただ私はコックルバー(雑草)の茎だ。」

しかし問題はここです。

あなたの中にある命は、どんな命ですか。

その中にある命は、

ついには焼かれる。」

というところですよ。

79 すみません、少し空気を入れますね。

皆さん、眠くなってきているでしょうし、疲れてきていますね。

ですから、ここからは少し急いで進めます。

そうしないと、全部終わらなくなります。

もう最後の部分の核心に来ています。

残っているのは、この手元のいくつかの質問だけです。

さて、考えてみてください。

ここに一面の麦畑があります。

その畑の中には、

麦だけでなく

ジムソンウィード(毒草)

コックルバー(雑草)

なども生えているとします。

そして干ばつが起こります。

するとどうでしょう。

毒草や雑草も、麦と同じように渴くでしょうか。

渴きますね。

では質問です。

麦の上には特別な雨が降り、

雑草の上には別の雨が降るのでしょうか。

そして家へ帰ると、

ずっと悔い改めているような気持ちになります。

それは

それが神からではないと感じたからなのではないでしょうか。

それとも

秩序が乱れていたからなのではないでしょうか。」

兄弟よ、

どちらの場合もあり得ます。

両方とも考えられます。

ただし、これは

今はウィリアム・ブラナムとして言っていることです。

まだ聖書を開いて説明しているわけではありません。

ですから、

これは私自身の意見になります。

ストリックカー兄弟、

その原因はいろいろ考えられます。

それが

秩序から外れていたのかもしれませんが。

あなた自身の中に何か問題があったのかもしれませんが。

語った人に何か問題があったのかもしれませんが。

メッセージそのものに問題があったのかもしれませんが。

どれであっても、

あなたがそのように感じる原因にはなり得ます。

78 さて、ストリッカー兄弟、

ここで少し助けになることを言いましょう。

決して、物事を“感じ”で判断してはいけません。

判断するなら、

その性質(実)によって判断しなさい。

つまり、

どんな実を結ぶかを見るのです。

時には、

確かに何か不気味な感じを受けることがあります。

私もそれを感じるがあります。

そういうときは、私はそっと距離を取ります。

静かにその場を離れるのです。

しかし、何も言いません。

なぜなら、

それが何なのかまだ分からないからです。

分かるまで、

ただそのままにしておくのです。

多くの人がこう言います。

「うわあ!兄弟よ!

私は聖霊を受けました!

ハレルヤ!

神をほめたたえます!」

しかし、

それでも聖霊を持っていないことがあります。

人は

異言を語り

叫び

御霊の中で踊る

ことさえできます。

それでも、

聖霊を持っていないことがあるのです。

なぜなら、

雨は正しい人にも、正しくない人にも降るからです。

ですから、

それは感情によって決まるものではありません。

その実によって決まるのです。

私が見たあの幻を覚えていますか。

ヘブル書6章のところです。

「たびたび降る雨を受ける地は、

それを耕す人のために実を結ぶなら祝福を受ける。

しかし、

いばらやあざみを生じるなら、

それは捨てられるに近く、